昭和24年3月19日　第3種郵便物認可　昭和42年1月20日印刷　昭和42年1月25日発行　第48輯第1号（毎月1回25日発行）

建築と社会

'67 1

国立劇場



日本建築協会

ARCHITECTURE AND SOCIETY

"鉄をつくり 未来をつくる"住友金属



同じ建て坪なら　倍ぐらいには使えます

事務所・工場・倉庫など、中型構造物の建築をご計画中なら、ぜひ、住友のプレハブ骨組《スミフレームV》をご利用ください。中柱が不要で、間口、屋内スペースが広くとれ、同じ建て坪なら、まず、倍ぐらいに活用でき、合理的です。強靱で耐久性に富み、建築も簡単。 360種以上の標準設計を用意しています。

住友のプレハブ骨組

スミフレームV

住友金属

住友金属工業株式会社

大阪 ── 大阪市東区北浜5の15(新住友ビル) 電(203)2201
東京 ── 東京都千代田区丸の内1の8(新住友ビル) 電(211)2211
営業所 ── 福岡・広島・岡山・高松・名古屋・富山・静岡・新潟・仙台・札幌

謹賀新年

祝　日本建築協会

創立５０周年

（創立1917年・大正6年）

本誌の大型化について

日本建築協会は本年でもって創立50周年を迎えました。

この光栄ある50年の歴史を祝い、かつ50周年を契機として、本誌の版も、本号より、国際的サイズであるA版サイズにきりかえ、A４変形版（223㎜×297㎜）の大型版にいたしました。「建築を通じて社会に貢献する」という気宇壮大な創立当初の精神にのっとって、本誌も皆様の要望にこたえて一層の刷新をはかっていく所存であります。



大阪郵政局

設　計	郵政省大阪郵政局建築部
施　工	株式会社　大　林　組
所在地	大阪市東区京橋3丁目22番地
建築面積	778㎡
延面積	7610㎡
構造規模	鉄骨鉄筋コンクリート造、地下1階、地上8階、塔屋2階
工　期	昭和40年3月24日～昭和41年9月30日

株式会社　大林組

昭和41年中に竣工した新建築

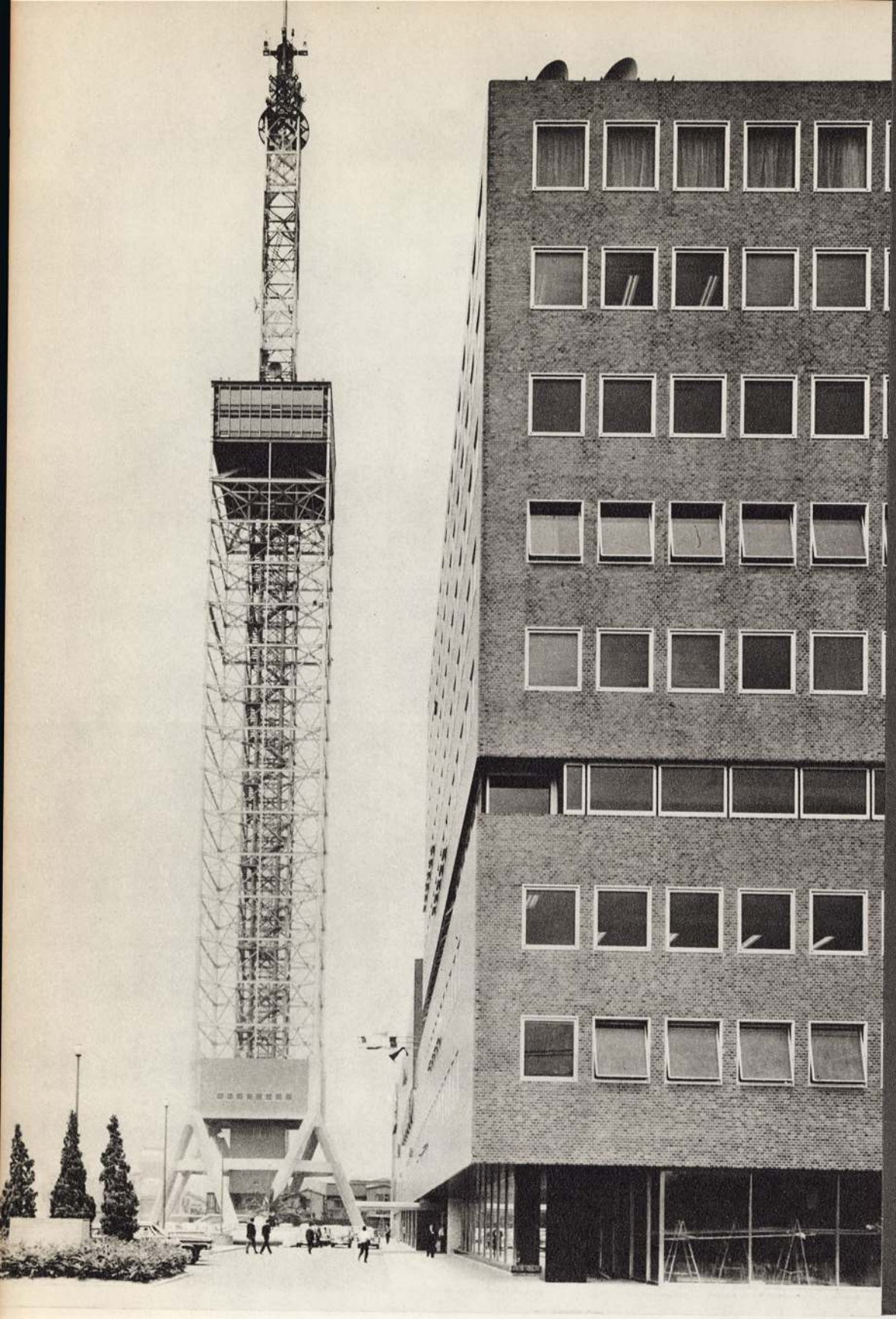


イトウビル

設計施工	株式会社　竹中工務店
所在地	大阪市東区南本町4丁目47
建築面積	2,039.12㎡
延面積	26,307.79㎡
構造規模	鉄骨鉄筋コンクリート造、地下4階、地上9階、塔屋4階
工期	昭和39年9月～昭和41年11月

株式会社 竹中工務店

昭和41年中に竣工した新建築



朝日放送本社

設計施工	大成建設株式会社	構　造	社屋　鉄骨鉄筋コンクリート造 大阪タワー　鉄骨造、脚部鉄骨鉄筋コンクリート造
所在地	大阪市大淀区大淀町南2丁目2番地	階　数	社屋　地下2階、地上9階、塔屋3階　大阪タワー　地上5階
工　期	着工 昭和39年9月27日 工 昭和41年5月31日		
面　積	敷地面積 14265.190㎡ 建築面積 6104.853㎡ 延面積 社　屋 29552.834㎡ 大阪タワー 756.847㎡ 合　計 30309.681㎡		

大成建設株式会社



船場電話局

設　計	日本電信電話公社建築局
施　工	株式会社　藤　田　組
所在地	大阪市東区博労町3丁目6番地
建築面積	1,555.75㎡
延面積	11,636.61㎡
構造規模	鉄骨鉄筋コンクリート造、地下2階、地上6階、塔屋1階
工　期	昭和39年6月～昭和41年7月

株式会社 藤田組

昭和41年中に竣工した新建築



帝塚山学院大学

設　計	株式会社 A.R.I建築事務所
施　工	株式会社　鴻　池　組
所在地	大阪府南河内郡狭山町高祖ヶ原
敷地面積	72,453㎡
延床面積	9,393.96㎡
構造規模	鉄筋コンクリート造、一部鉄骨　地下5階、地上4階、塔屋2階
設　備	電気、給排水衛生、空調、昇降機
着　工	昭和40年7月
竣　工	昭和41年7月末日

株式会社　鴻池組

昭和41年中に竣工した新建築

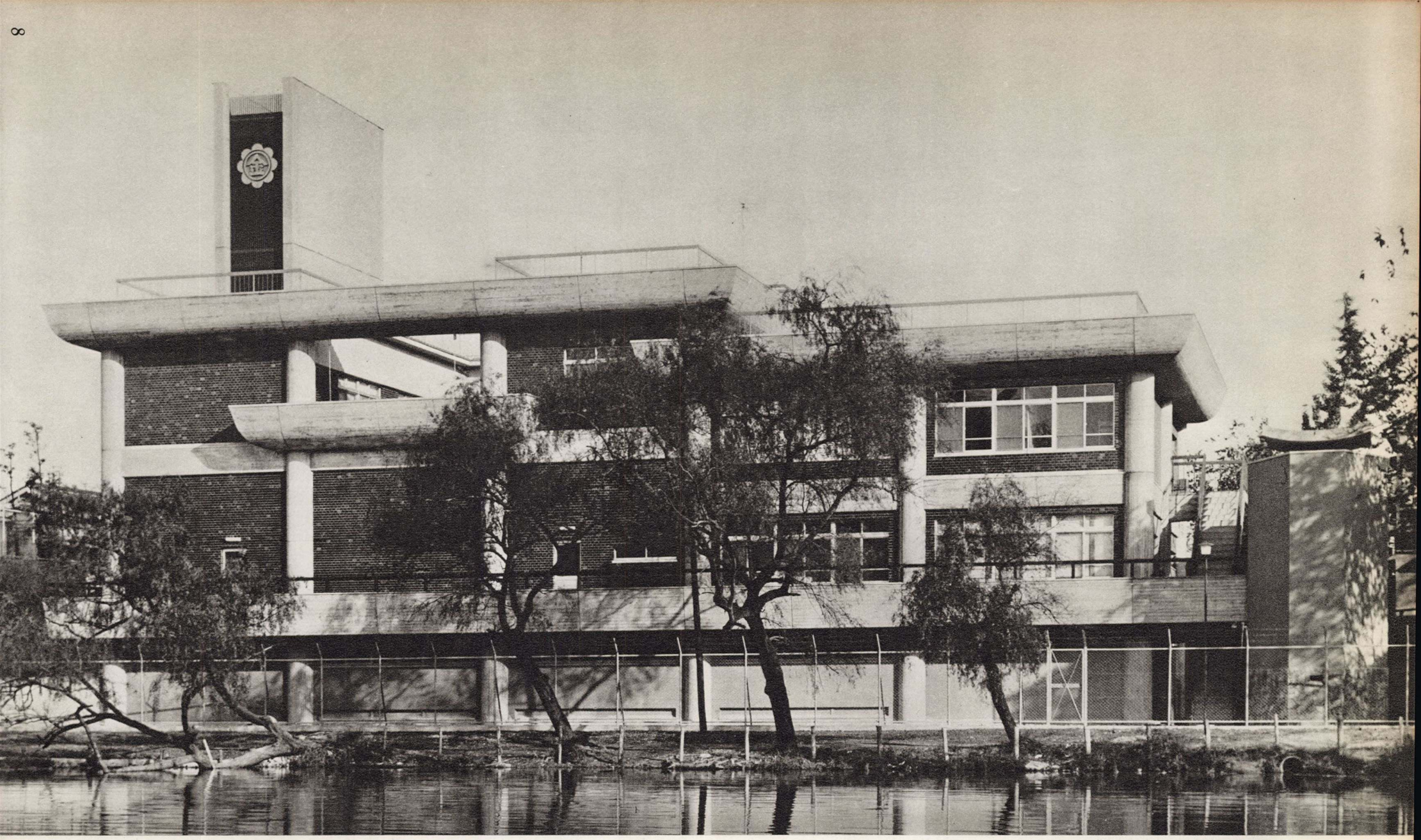
昭和41年中に竣工した新建築

株式会社　淺沼組

宝塚市民会館

設　計	坂本鹿名夫建築研究所
施　工	株式会社　淺　沼　組
所在地	宝塚市川面下の池
建築面積	2,067.80㎡
延面積	4,568.85㎡
構造規模	鉄筋コンクリート造、地下1階、地上2階、塔屋4階
工　期	昭和40年5月～昭和41年9月





株式会社　松村組

昭和41年中に竣工した新建築

金光教天王寺教会

設計施工	株式会社　松　村　組	構造規模	主体　鉄筋コンクリート造、地上3階、塔屋1階、別棟納骨堂　鉄筋コンクリート造、地上2階
所在地	大阪市天王寺区茶臼山38		
建築面積	650.880㎡		
延面積	1,743.547㎡		

昭和41年中に竣工した新建築

株式会社 東畑建築事務所

徳島市民病院

設　計	東畑建築事務所
施　工	鹿島建設株式会社
延面積	13,500㎡, 500㎡
規　模	地下1階、地上6階、塔屋3階
工　期	昭和41年10月竣工

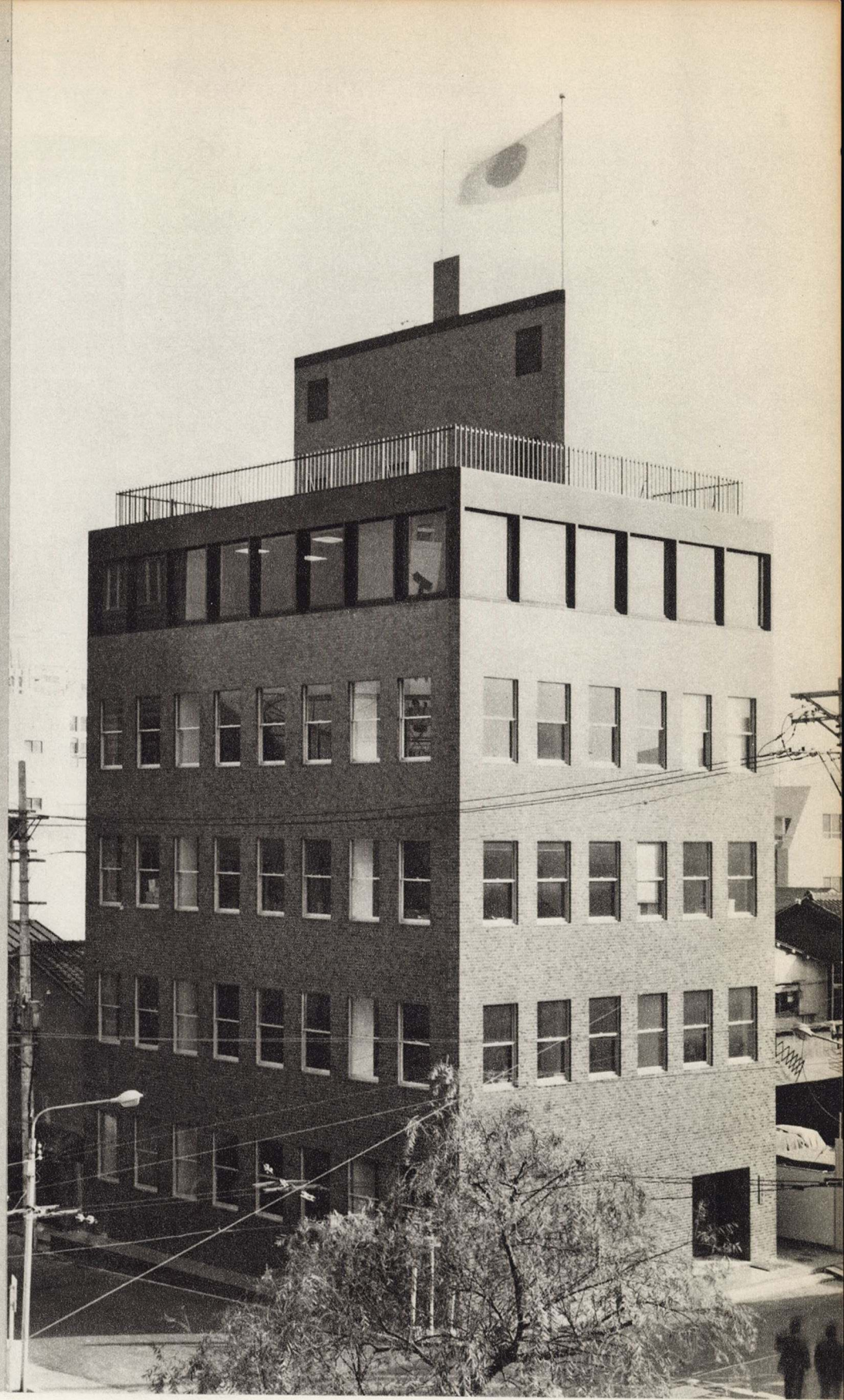




永田町ビル

設　計	株式会社東畑建築事務所
施　工	不二建設株式会社
所在地	東京都千代田区永田町2の1
構造規模	鉄骨鉄筋コンクリート造、地下1階、地上9階、塔屋2階
延面積	7,325.44㎡
建築面積	637.045㎡
工　期	昭和40年1月20日～昭和41年4月30日

Z　不二建設株式会社



株式会社　大和商店社屋

設　計	小林得志建築事務所
施　工	株式会社　竹中工務店
所在地	大阪市南区北炭屋町19番地
敷地面積	236.9㎡
建築面積	153.6㎡
各階面積	地下1階　174.4㎡
	1階～5階　153.6㎡
	塔　屋　42.4㎡
延面積	984.4㎡
規　模	鉄筋コンクリート造、地下1階、地上5階 GL－5.300 ＋18.300（軒高） ＋5.850（PH）
工　期	昭和41年3月13日　着工 昭和41年10月31年　竣工
外　装	窯変小口タイル　パラペット部　鉄板O.P
内　装	1～5階　床：ゴムタイル カベ：モルタル ゾラコートソフト 天井：ミネラートン（1階）、吸音テックス 地　階　床：フクビエース カベ：モルタル、L.P　天井：耐メボード、V.P 階　段　天井：ゾノライト

小林得志建築事務所

昭和41年中に竣工した新建築



株式会社 大阪建築事務所

昭和41年中に竣工した新建築

尼崎市立労働福祉会館

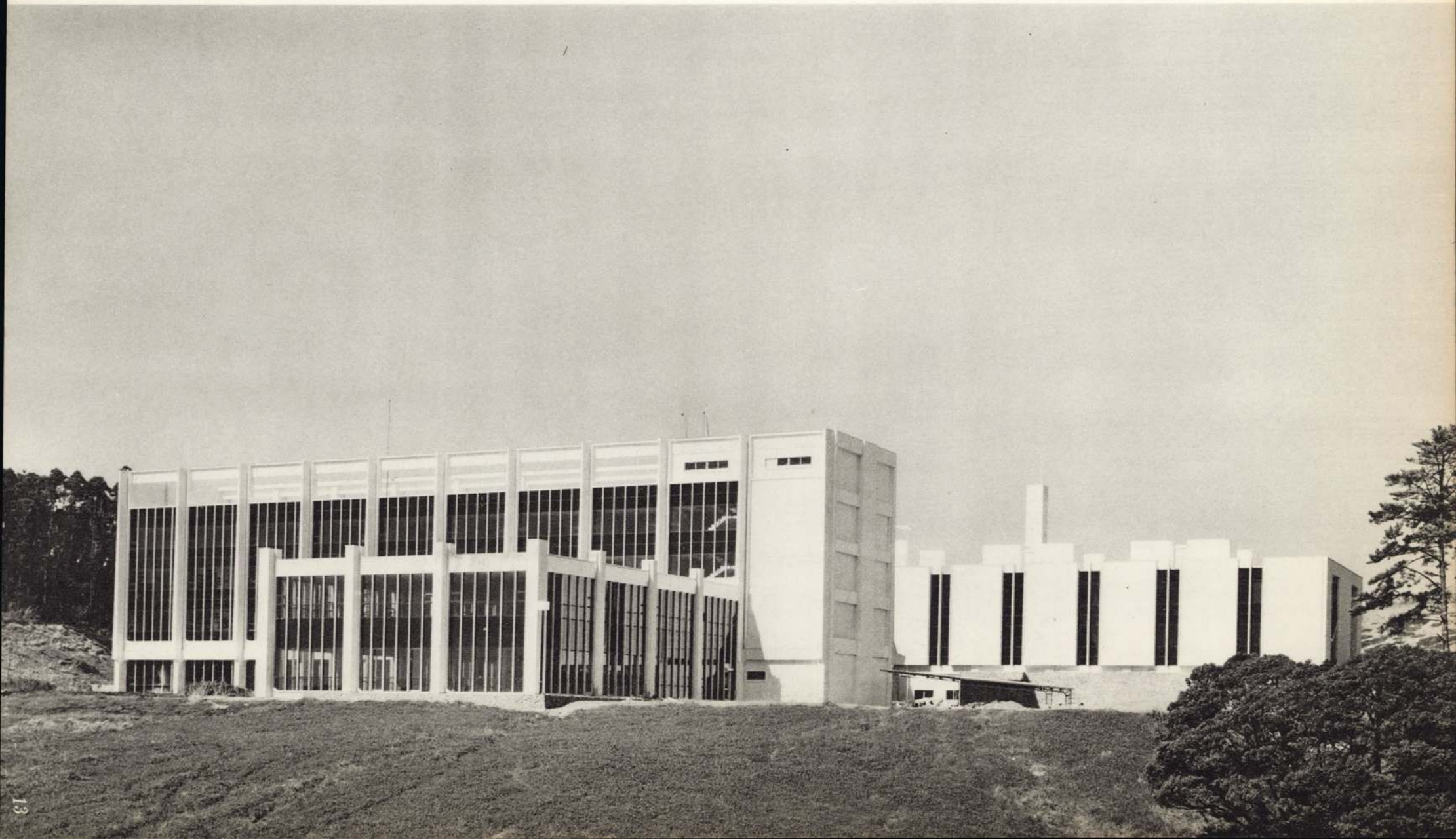
設計監理	尼崎市建設局土木部建築課 株式会社　大阪建築事務所	延面積	5,477.472㎡
施工	株式会社　大林組	構造規模	鉄筋コンクリート造、地下1階、地上4階建、塔屋2階建、ホール部、鉄骨鉄筋コンクリート造
所在地	尼崎市難波新町1丁目		
敷地面積	3,992.157㎡		
建築面積	1,636.642㎡	工期	昭和40年12月～昭和41年11月

昭和41年中に竣工した新建築

株式会社 安井建築設計事務所

野村総合研究所

設計監理	株式会社 安井建築設計事務所	建築面積	2,396.13㎡
施　工	株式会社 竹中工務店	延面積	7,600.26㎡
所在地	神奈川県鎌倉市梶原1600番地	構造規模	鉄筋コンクリート造、地上4階
敷地面積	178,975.91㎡	工　期	昭和40年5月~昭和41年11月





日建設計工務株式会社

昭和41年中に竣工した新建築

阿波鉄行本店

設　計	日建設計工務株式会社
施　工	鹿島建設株式会社
所在地	徳島市西船場町
敷地面積	2,049.33㎡
建築面積	1,769.27㎡
延面積	11,065.71㎡
構造規模	鉄骨鉄筋コンクリート造、地下2階、地上9階、塔屋3階
工　期	昭和39年10月～昭和41年7月

昭和41年中に竣工した新建築

株式会社 竹内建築事務所

千里中央地区中学校

設計監理	竹内建築事務所
施工	村本建設ＫＫ大阪支店
建築位置	千里ニュータウンＪ地区
建築面積	1,512.05㎡
延面積	3,552.75㎡
構造規模	鉄筋コンクリート造、3階建
工期	昭和40年9月～昭和41年3月



床材のハイファッション マチコカラー…

●美しいファッションの色 米国連邦規格合格の丈夫さ

美しい色でがぜん注目されたマチコカラー！きびしい規格にも余裕の合格をした丈夫さアメリカはもちろんドイツやイタリヤでも定評のあるマチコタイルは国立京都国際会館や東京新八重洲ビルなど有名ビルに続々採用されています。

美しい色が26種 まねのできない国際的なフロアタイルの色です。オートメ工場で量産していますからいついかなるご注文にもOKです。

■床材のハイファッション
マチコV®
ビニールアスベストタイル

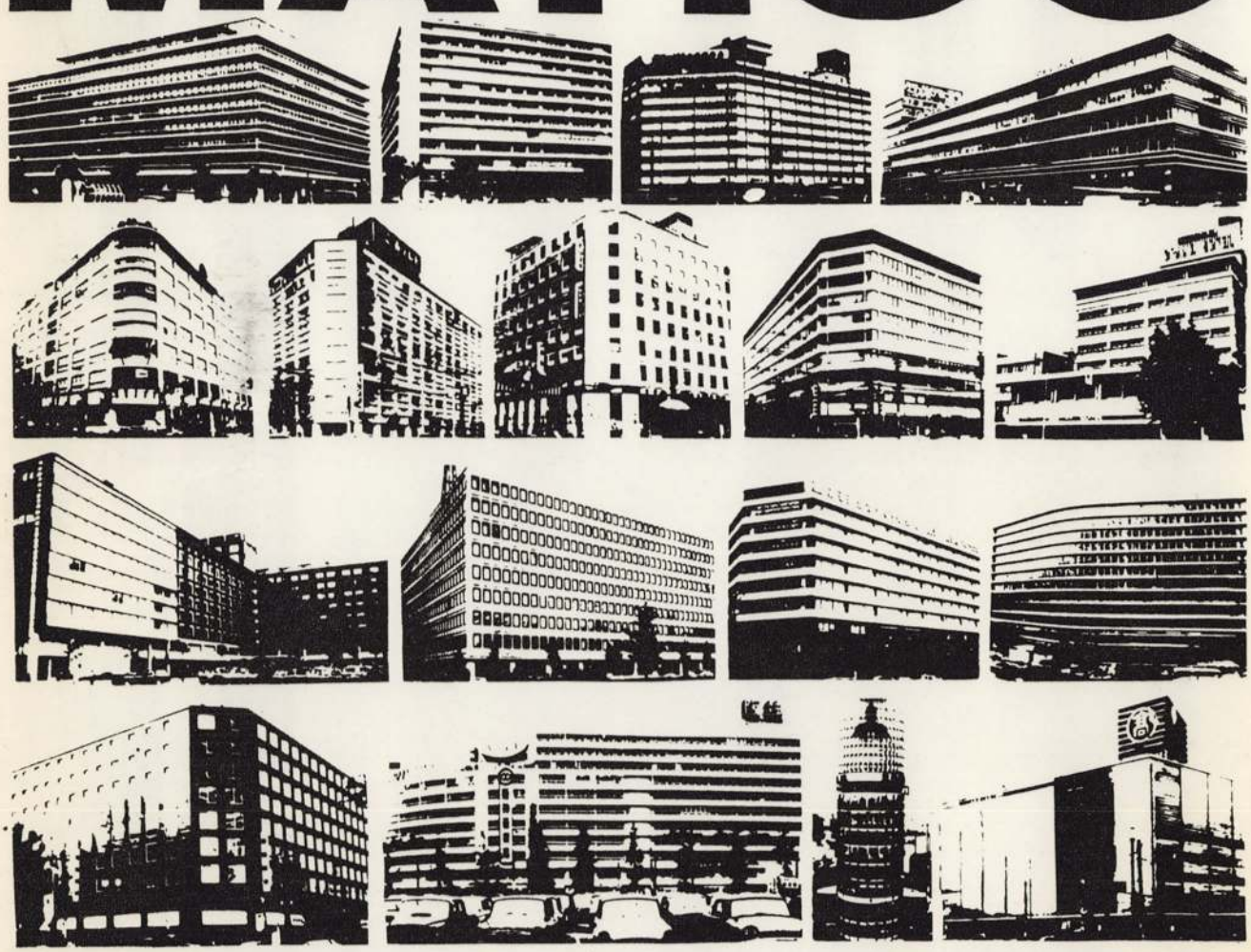
リノリューム・リノタイル・ビニラートタイル・マチコタイル・ナイアンリノタイル総発売元

東洋リノリユーム株式会社

床材の総合メーカー

大阪市南区順慶町通り4－25　三和ビル　■TEL (252) 2921
東京都中央区銀座4－1　三和ビル　■TEL (567) 8341
名古屋市中区錦2－2－13名古屋センタービル　■TEL (231) 5380
福岡市大手門1－4－12　■TEL (75) 0425
出張所・札幌．仙台．長野．広島

MATICO



《米国バレーメタル社と技術提携》

素晴しい美しさ

現代建築を彩る
カーテンウォール

すぐれた品質で定評あるダイケンサッシの各種製品は有名建築物に数多く採用されその実績を誇っています

サッシの綜合メーカー

dsk

ダイケンサッシ

本　社
堺市松屋町１－６　ＴＥＬ代(38)１１４１
鳳工場
堺市平岡町４８　ＴＥＬ代(7)５５４１
営業所
大阪・東京・名古屋・福岡・金沢・長野

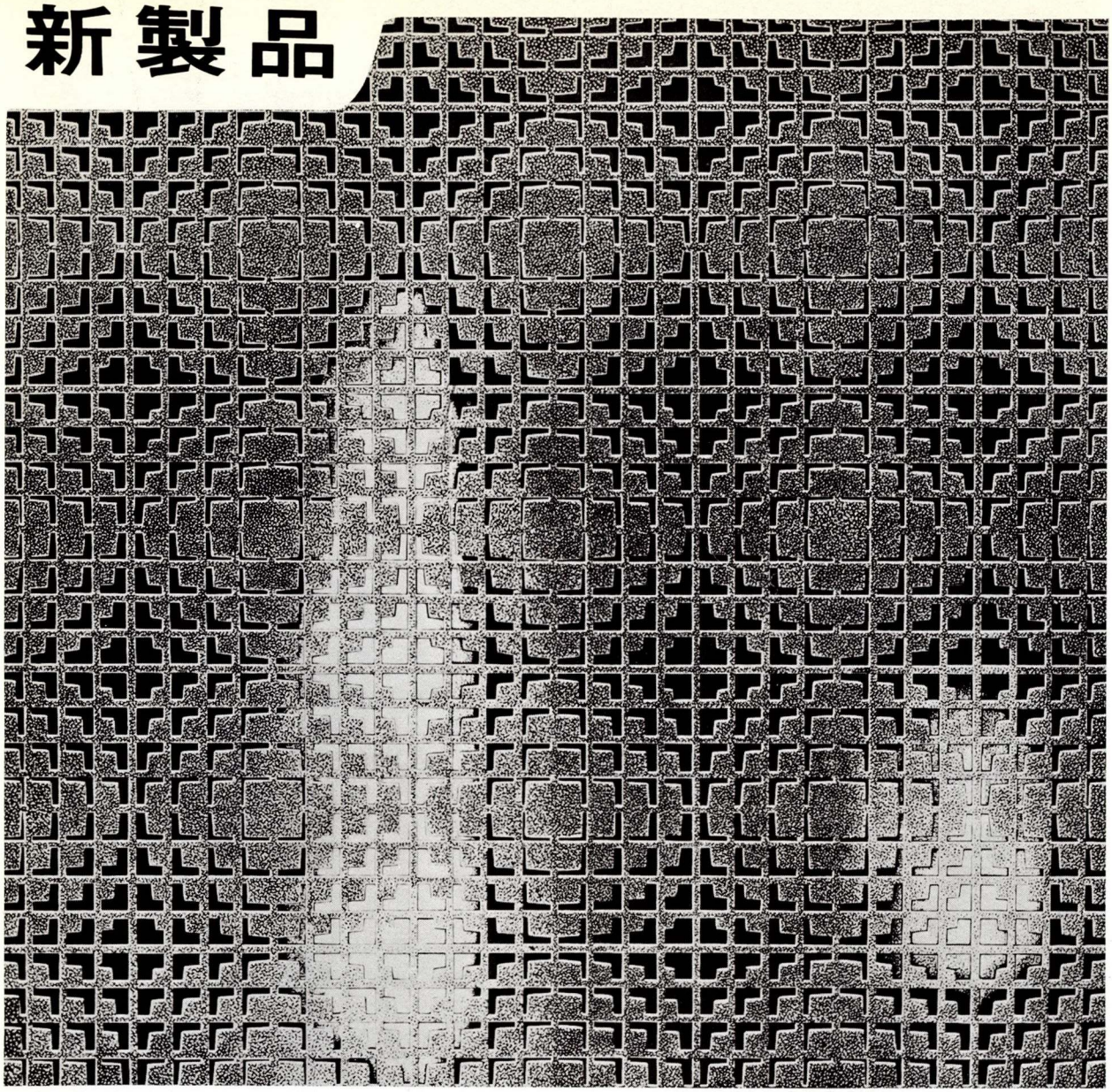
●営業品目

アルミサッシ・ドア
ステンレスサッシ・ドア
スチールサッシ・ドア
住宅用アルミサッシ〝エリート〟
アルミレディーメード
サッシ・ドア



京都産業会館

新製品



《みやこ》は 自信をもっておすすめできる型板ガラスです

- ●新しい感覚の型模様です。
- ●縦・横の区別がありません
- ●和室にも、洋間にも明るく調和します
- ●すぐれた装飾性があります

光のレース編み

みやこ

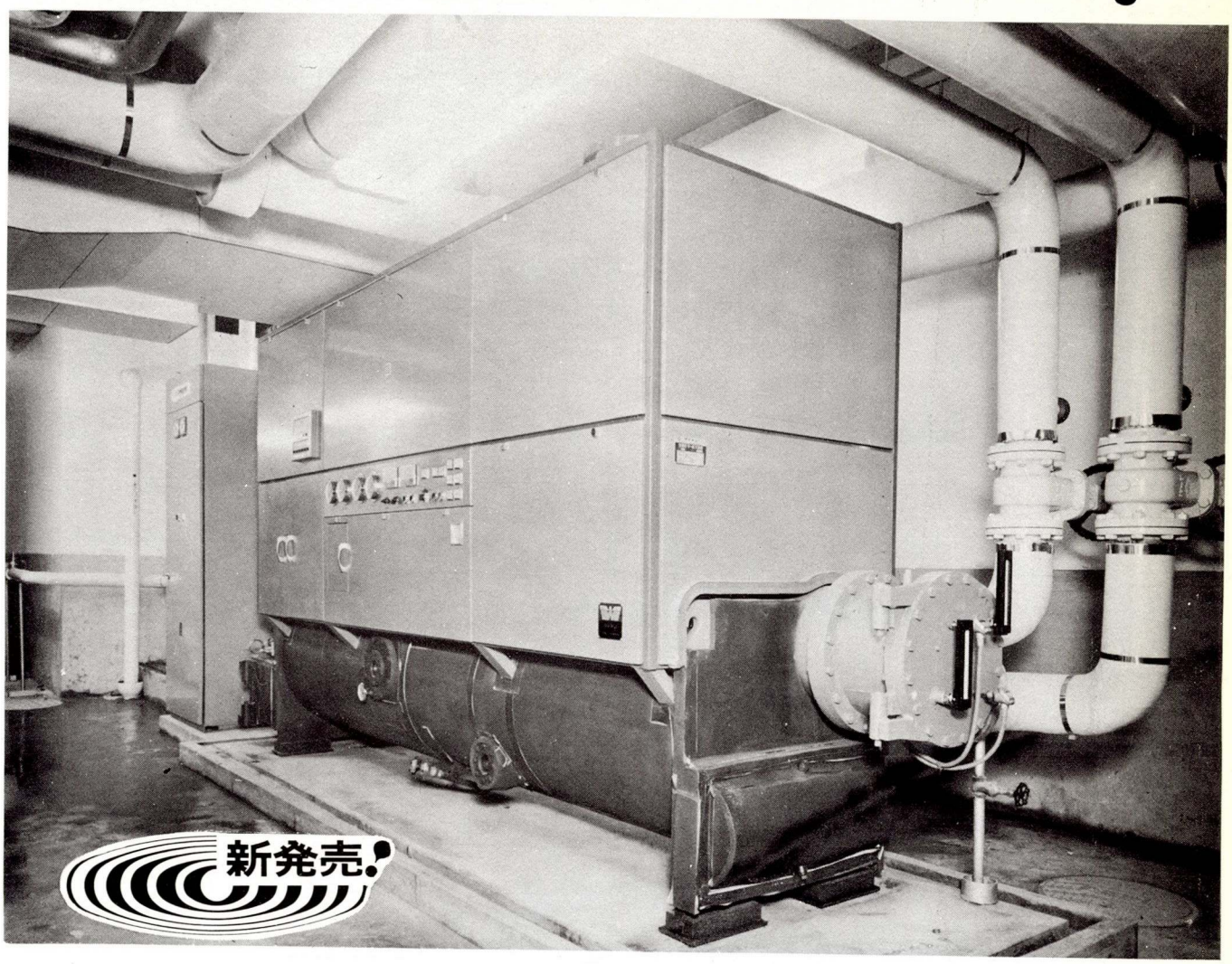
薄型 2 mm

旭硝子

本　社　東京都千代田区丸の内2－14
大阪支店　大阪市北区堂島船大工町53　電話(363)1121大代表

米国ウォーシントン社との技術提携

これ以上小形軽量形はありません！



国産唯一の太陽遊星歯車増速装置付単段式

ダイキン密閉形ターボ冷凍機

米国の著名な冷凍機メーカー《ウォーシントン社》の技術とダイキン技術陣の結集によって完成した画期的な新製品です。

■国産随一の小形軽量形です。しかも、スッキリとしたパッケージ形ですから、機械室のスペースはわずかですみ、据付工事も簡単です。

■機械室が静かになります。運転部分を完全に密閉した上にケーシングでおおっていますから、運転音がグンと静かになりました。

■性能が安定しています。工場で完成して、充分テストした上で搬出されますから、性能にムラがありません。

■密閉モーターの完ぺきな保護特殊絶縁電線の採用、コイル温度の監視、冷媒含水量の指示、独特の冷媒液による冷却、逆転・単相運転・過負荷の防止など、あらゆる面から密閉モーターを保護しています。

■冷却管の凍結事故がありません。冷却管に直接感温管を挿入する方法で、温度ムラを早期に発見して、凍結破損を防ぎます。

☆詳しくは、誌名ご記入の上、資料をご請求ください。

ダイキン工業株式会社

本　社　大阪市北区梅田8（新阪急ビル）　TEL（312）1201

東京支店　TEL（272）3211　福岡支店　TEL（74）8631
名古屋支店　TEL（961）6351　広島営業所　TEL（47）4471
札幌営業所　TEL（26）5556



電気工事★計装工事
設計・施工

近畿電氣工事株式會社

取締役会長 佐藤 太
取締役社長 大森 久司

本店 大阪市北区南扇町11電話(大代表)大阪 312－1281
支店＊支社 大阪北 大阪南 京都 神戸 姫路 奈良
和歌山 滋賀 ＊名古屋 広島 東京



大屋根にビニロイド防水を施工した国立劇場

どんな地域でも　どんな構造の建物をつくっても完全な防水ができたら——それを実用化して　すでにすぐれた数々の実績を示しているのが〈**ビニロイド２号**〉です
防水下地にキレツができても破れず　寒冷地の冬にも丈夫で　どんな場所に使っても腐りません　それは弊社が合成繊維による不織布を独特な方法で加工した　技術の成果です
国立劇場の屋根も**ビニロイド２号**による防水工事をご採用いただきました

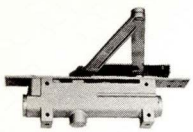
営業品目　●ビニロイド防水工事　●アスファルト防水工事　●三星ソフトンタイル貼工事　●保温・保冷工事　●三星プラスオール　●三星コーキン販売・工事　●シポレックス工事

三星産業株式会社

東京都千代田区岩本町３－11－13
ＴＥＬ〈866〉0271～６・6121～９
出張所／札幌〈72〉6031.　仙台〈21〉5366－７　名古屋〈941〉3751
〈971〉4574　大阪〈443〉9721－３　福岡〈76〉2076〈75〉0298

NEW★STAR

NEW★STAR



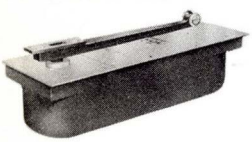
ドアチェック 60シリーズ



ドアチェック 70シリーズ



ドアチェック 80シリーズ



フロアヒンジ

その他
ラバトリヒンジ
ピポットヒンジ
ドアハンドル

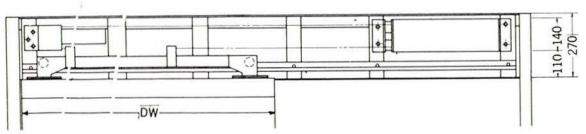


品質・性能ともに定評ある

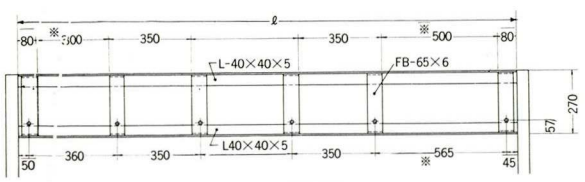
●スイング式・スライド式

ニュースタードアオペレータ

片引き戸内観図



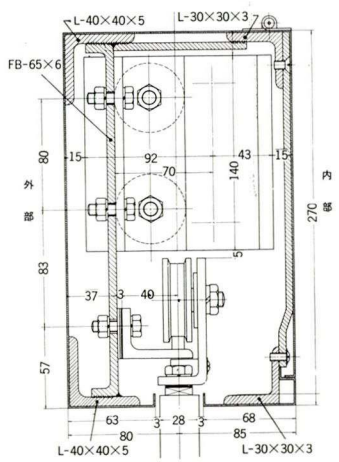
エンジン及ドア関係要領



レール取付板例図

※印寸法は守って下さい。
※印寸法NSL-4の場合は535/600に変更されます。

上枠断面懸吊要領



※斜線部は客先工事分

■ニュースタースライド式ドアオペレーターの特徴

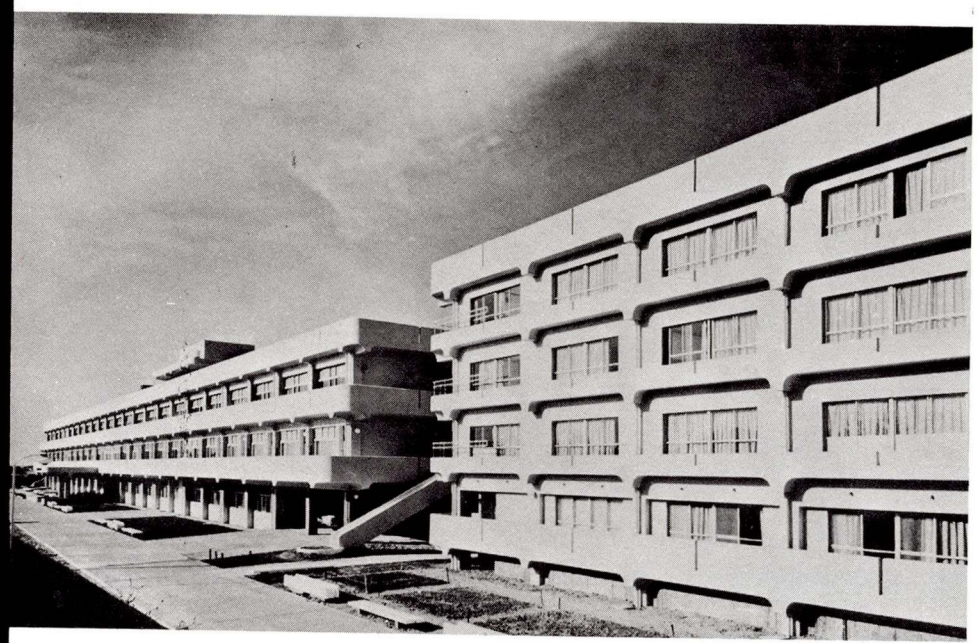
●油圧の長所と電気式の利点とを組合せた新製品です。●油圧装置がついているために閉る速度が「ゆるく」「なめらか」です。●バルブの調整で閉る速度が自由に変えられます。●閉る手前で一旦止って、その后ゆるく閉ります。●停電の場合、すぐに手で軽く開閉が出来ます。●価格が安く、別途工事がほとんどない。●取付工事、保守が非常に簡単です。

生産高;日本一

日本ドアーチエック製造株式會社

本社工場 大阪市生野区巽矢柄町222 電話(758) 1251(代)
東京支店 東京都千代田区神田小川町2—12(信愛ビル) 電話(293) 4831～5
札幌出張所 札幌市月寒中央通り月寒314—1 電話(86) 8255～6
名古屋出張所 名古屋市東区高岳町1—11 電話(961) 5771～3
広島出張所 広島県安佐郡佐東町緑井205 電話(広島八木局)106
福岡出張所 福岡市天神4丁目4番24 電話(74)2372・3312





●特許建築用内装・外装化粧材
砂粒状陶磁器の吹付

セラスキン

●建造物の内外部に!!
粉状陶磁器の吹付

セラコート

●粗粒状陶磁器の吹付

セラカット

セラスキンとは陶磁器の皮（CERAMIC SKIN）と云う意味で砂粒状の有色陶磁器と結合剤とを混合、液状としたもので、これをスプレー（コンプレッサー使用）ガンにて建造物の内・外、壁面、天井etc に吹付け、防水性と装飾を目的とする建材です。

特　徴

- ●色　彩　高熱焼成（1250℃－1350℃）にて発色した陶磁器を主材料にして顔料、色素を使用しない為雨風、太陽光線による色彩の変化は起りません。
- ●防水性　通気性、防水皮膜を形成します。
- ●耐薬品性　弱酸、弱アルカリに対しては変化を起しません。
- ●耐寒性　－20℃に４時間冷凍しても亀裂その他の異常は認めません。
- ●下　地　コンクリート打放し、モルタル、ベニヤ板、和壁、ブロック、スレート、テックス類etc.
  鉄類の場合は錆止塗料を塗って下さい。

山本窯業化工株式会社

大阪市東淀川区西淡路町３－１７６　TEL（322）4851～4
東京出張所・東京都港区西新橋２－２１－６　TEL（431）7106～7
瀬戸工場・愛知県瀬戸市大字山口字南山138　TEL（82）８８４７

マルエス

永久防水材
マルエス印
ルーフィング

信用第一
最高の品質

日新

メルタン
ルーフィング

国内の気温較差の著しい所に於ても能くその苛酷な条件に抗して老化せず　特に寒冷地に於ける技術的困難は殆んど解決されたと云っても過言ではありません

マルエスの
ビニエス
タイル

お部屋のポイントは床材から

明るい配色……
落ちついたムード

マルエスルーフイング製造元

日新工業株式会社

大阪支店　大阪市西区新町北通１—18　ＴＥＬ（531）５２８１～３
本　　社　東京都足立区千住東町９３　ＴＥＬ（888）２１０１～９
出張所　名古屋（741）６２５７～８・広島（21）１０１９・６０６１
福　岡（74）３４６１～３・札幌（51）６８８５・５６５９

完全責任施工 | 年限保証

BK 日本アスのアスファルト防水

■シグマートによるウエルドシステム防水工法
■特殊絶縁防水工法（特許出願中）
■メルタン防水工法

■全国に配置された組合員の強力な連繋と技術
で完全な施工工事をお引受けいたします。

地区別	会社名	代表者	住所	電話
北海道地区	日本スレート株式会社 日新建工株式会社札幌出張所	仲川 憲吉 大木 久俊	札幌市北三条東４－１ 〃 南大通り西13丁目	(22) 3458・4426 (23) 8016 (22) 5015
東北地区	日新建工株式会社仙台出張所	滝沢 慶則	仙台市二日町１－２	(25) 5431代
関東地区	伊藤建材株式会社	伊藤 豊吉	東京都台東区西浅草２－15－９	(841) 5646・5729
	北条瀝青工業株式会社	北条 弘太	〃 中央区湊町３－７	(551) 2676・4382
	有限会社金岡興業	金岡辰次郎	〃 新宿区柏木５－1172	(363) 4341代
	瀝青建材株式会社	山中喜代治	〃 千代田区神田佐久間町河岸51号	(866) 6993・2892
	日新建工株式会社	荻野 英夫	〃 荒川区南千住６－42	(803) 2411～５
	日本綜合防水株式会社	山崎 慎二	〃 千代田区神田猿楽町１－９	(292) 2661代
	マサル瀝青工業株式会社	西田 勝治	〃 台東区北上野２－21－10	(842) 6311代
	藤井工業株式会社	藤井 喜昌	〃 文京区林町94	(941) 0271・2582
	富士工材株式会社	小島 英夫	〃 江東区深川住吉町１－14	(634) 0950・0900
	鶏田工業株式会社	鶏田 武	〃 千代田区富士見町１－12	(263) 4861代
	木下工業株式会社	木下 一	〃 墨田区江東橋４－32	(634) 0821代
	野口工材株式会社	野口 伝八	〃 渋谷区下通り３－15	(441) 3751 (444) 0405
	大和工業株式会社	楡井 喜重	〃 荒川区南千住６－151－２	(802) 4751代
	協立工業株式会社	関谷 克巳	〃 大田区南蒲田１－14－２	(731) 0358 (738) 3401
	株式会社奈良屋商店	市橋 祐造	水戸市泉町1009	(３) 0171～６
	石田建材工業株式会社	石田 想吉	高崎市八島町117	(２) 3301～２
	同和建業株式会社	徳永 昭二	新潟市流作場宮浦１－1711	(45) 2251代
北陸地区	島屋建設株式会社	島 勝人	金沢市此花町５－７	(21) 0085 (31) 6420
	有限会社折橋政次郎商店	折橋彌一郎	富山県高岡市二番丁	(２) 0999
	有限社会小島工業所	小島 一公	〃 〃 志貴野２５	(３) 0391
	大和工業株式会社富山営業所	島田 真一	富山市堀川小泉町７７６	(31) 4385
東海地区	株式会社三井工業所	三井 辰雄	静岡市大和町１－20	(85) 9151～３
	協和建材工業株式会社	渡辺 亘	清水市渋川５２０	(２) 2221代
	中央建材工業株式会社	木下 作二	名古屋市中区南久屋町３－12	(251) 3541
	日本建材興業株式会社	伊藤 隆造	〃 西区南押切５－３	(571) 代5541～４
	宮崎建材店	宮崎 勇	〃 中区伊勢山町１００	(321) 1311・1331
近畿地区	日新工材株式会社	井場 績	大阪市西区新町北通１－17	(541) 3785～６
	マルエス工業株式会社	山崎 達夫	〃 福島区上福島南１－152	(458) 4841～３
	株式会社新光商店	松本 重治	〃 南区塩町通２－13	(261) 7195～７
	清水興業株式会社	清水 実	〃 北区鶴野町３４	(371) 0251～３
	マサル瀝青工業株式会社大阪営業所	勝見 勲	尼崎市水堂加茂６４	(481) 7355
	中村瀝青工業株式会社	中村秋太郎	神戸市生田区北長狭通６丁目神織共栄ビル	(34) 5884・5658
	棚田建材有限会社	棚田 秀吉	〃 葺合区上筒井通８－221	(22) 9182代
	フタバ興業株式会社	友長 保男	大阪市福島区上福島北４－49	(458) 0267・0277 (451) 6089
	石橋建材株式会社	石橋 節雄	福井市松ケ枝町６２	(23) 0775
中国地区	豊永建材株式会社	木村 豊	広島市若草町１０６５	(61) 6371～４
	大和工業株式会社広島出張所		〃 庚午南町１－２	(71) 4687
	株式会社三洋技建	谷岡 肇	広島県大竹市小方町小方２４５５	(２) 3543
	東中国防水工業有限会社	馬場 久	岡山市磨屋町７－18	(23) 1181代
四国地区	株式会社山本商会	山本 進	松山市三番町７－８－１山本ビル	(３) 6261～３
	大三工業株式会社	飯間 浅吉	高松市本町２－17	(51) 6811～５
	高知瀝青株式会社	横井 良一	高知市塩屋崎町２－20	(２) 3244
	徳島大三工業株式会社	柴田 秋男	徳島市矢三町東野181－１	(４) 4161
九州地区	日新興業株式会社	河野 孝義	延岡市本小路７４	4305・4306
	株式会社工材社	竹村 藤一	北九州市門司区大里東通10丁目	(38) 1468～９
	株式会社大二商会	戸高 藤雄	宮崎市和知川原３６５	(２) 5001
	株式会社北原建材商会	北原 正	鹿児島市草牟田町３９８０	(３) 9395～６
	安藤工事株式会社	川勝 正之	福岡市大浜１－新町９５	(28) 5207～９
	日建工材株式会社	進藤 博一	〃 大手門２－８－６	(75) 7752

■建設省東計第240号認可

日本アスファルト防水工業協同組合

東京都足立区千住東町９３　日新工業株式会社内　電話（888）２１０１（代）
関東支部　東京都足立区千住東町93　日新工業株式会社内　電話（888）２１０１（代）
関西支部　大阪市西区新町北通1－18日新工業株式会社大阪支店内　電話(531)5281－３
九州支部　福岡市大手門１の６　日新工業株式会社九州出張所内　電話（74）３４６１



			6尺間用		
居間・寝室	1050	1037	NS—1710	三五高窓	
居間・食堂	1355	1342	NS—1713	四五ひじかけ窓	
居間・縁側・廊下	サッシ1840	シャッター1827	NS—1718	9尺間用 NS—2618	六尺テラス
適用場所	高	巾	サッシ 1705	2615	呼称
			シャッター 2030	3110	

ホームシャッター

レディメード サッシ付

従来住宅の窓には台風時や盗難の予防のために雨戸を別に取付けておりますが、このホームシャッターは工場でサッシとシャッターを一体にして製作されていますので雨戸を別に設ける必要がなく、現場取付も一度ですみます。またシャッターは折りたたんだ時そのまま化粧となりますので、戸袋をつける必要がありません。

■特　長

1．お子さまでも手軽るに開閉できます。
2．外観は優美です。
3．戸袋はいりません。折りたたんだスラットがそのまま化粧となります。
4．火災・台風・盗難すべて安心です。
5．施工は簡単です。
6．安価です。

株式会社 日本シャッター製作所

本社・工場　大阪市東淀川区田川通6丁目38番地
TEL（301）代表3656～9
営業所　東京・名古屋・金沢・神戸・岡山
広島・高松・福岡・北九州

年頭所感　想い出多き年となるように

(社)日本建築協会　会長　東畑謙三

新しき年を迎えて毎年心の引きしまる想いがする。昨年度は最近数年間のわが国の経済界の大発展の後をうけ一時的とは言え不況の年であった。年間を通じて整理すべきことは整理され，改革さるべき構造は改革されて，ようやく不況をのり越え，新らしき前途に明るさを見出し得られる年を迎えることとなった。とくに建築界は他の産業に比して引き汐の引ききらない中に新しき満汐がおしよせようとしている年でもある。

建築界にとって待望久しかった万国博の工事も，本年度中には敷地の整地工事を略完了，上部に建つ種々の施設の設計も着手の年となるだろうが，それに加えて関連工事が先きがけて着工される年でもある。これに対して鉄鋼，セメント等の建築材料や，トラック，ミキサー等の建設機械は近年長足の進歩をきたし，統計によれば，これらの生産量は世界の第3位といわれているが，万国博受入に充分な態勢であることは，まことにうれしきことである。

ところが問題は労務関係である。元来わが国の産業は欧米に比して原材料の不足と労働力の余裕との関連において発展してきたのであるが，こんにちにおいてはそれは昔のこと，特に建築界においては，技能者，建築労務者の不足が本年度における最大の問題となろう。好むと好まざるにかかわらず，大量生産，機械化，プレハブ式工法等，生産性の向上に努力すべき年である。

日本建築協会も本年をもって創立五十周年を迎えることとなった。既往の半世紀を振り返ってみると，全く業界の歴史そのままをうつした様である。五十年目の良き年は業界もまたまれにみる良き年でありたいものである。そして会員の皆々様と共に，本会を通して公共奉仕に一層の力をそそぎ想い出多き年としたいものである。

日本建築協会会告

日本建築協会創立50周年記念事業実施予定

事業	日時（昭和42年）	会場
記念式典	3月30日（木）午後2.00～2.20	太閤園
表彰式	3月30日（木）午後2.20～2.50	太閤園
祝賀会	3月30日（木）午後3.00～4.30	太閤園
展覧会	3月30日（木）～4月4日（火）	阪神百貨店
運動会		
懇親ソフトボール大会	5月中旬予定	（未定）
懇親ゴルフ大会	3月29日（水）	鳴尾ゴルフクラブ
ボーリング大会	4月中旬	
慰霊祭	5月20日（土）予定	中央公会堂
講演会	6月23日（金）	（未定）
見学会		
モントリオール万国博視察団	5月24日（水）～6月6日（火）	
東京見学団(仮称)	3月下旬　予定	
淡路四国方面見学団(仮称)	4月下旬　予定	
阪神地方見学団(仮称)	5月下旬　予定	
京都地方見学団(仮称)	6月中旬　予定	
中国地方見学団(仮称)	6月上旬　予定	
信州路の民家見学団(仮称)	10月　予定	
記念出版図書	（未定）	
50周年記念号	建築と社会3月号	
50周年記念物建造	（未定）	

謹賀新年

昭和42年元旦

(50音順)

青盛繁男

青盛建材株式会社　取締役社長
広島市鉄砲町5番16号　電話(21)2281代
自宅・広島市翠町1507の10　電話(51)6730

青山正義

株式会社二葉建築積算事務所　大阪支所長
大阪市西区江戸堀1の104(東江ビル)　電話(443)2423
自宅・京都市左京区修学院中林町89　電話(78)6051

赤崎尚信

赤崎建築事務所所長
大阪市北区南森町29-1新南森町ビル　電話(361)8388・0982
自宅・西宮市田代町50　電話(67)7129

明石一夫

高岡建設株式会社　取締役社長
大阪市西区新町通1の77　電話(532)4951代
自宅・西宮市甲子園洲鳥町9番9号　電話西宮(41)2717

東輝夫

株式会社三国タイル店　代表取締役
大阪市東淀川区十八条町3の7　電話(393)1951
自宅・吹田市藤白台2の28-13

網野栄

株式会社研文社　代表取締役
大阪市北区堂山町66　電話(361)2091代

荒木芳邦

株式会社荒木造園設計事務所　代表取締役
池田市鉢塚2の8-21　電話池田(6)1298・8874
自宅・池田市鉢塚2の9-8

荒田芳夫

麻生商事株式会社大阪支店　取締役大阪支店長
大阪市東区釣鐘町4の26　電話(941)1652
自宅・吹田市大字佐井寺124　電話(388)5608

安藤俊雄

安藤俊雄建築設計事務所　所長
大阪市東区常盤町2の30(高木産業ビル)
電話(941)1331～3(942)4603
自宅・大阪市住吉区長居町東6-113　電話(691)9969

安藤芳雄

大日本土木株式会社　専務取締役

井上正一

名古屋建築設計事務所所長
名古屋市中村区椿町4の28(国鉄会館内)　電話(571)1271大代
自宅・名古屋市千種区下方町4の30　電話(711)9400

井上福蔵

株式会社井上組　代表取締役
大阪市都島区東野田町2の15　電話(351)0530(352)4031～4
自宅・枚岡市石切山荘1727　電話(072981)2526

井手新太郎

日本合成化学工業株式会社　取締役社長
大阪市東区安土町2の11　電話(261)0171
自宅・尼崎市西富松字新林217の27　電話(401)5582

井手正雄

社団法人日本建築協会京都支部　支部長
京都市中京区押小路通柳馬場東入橋町645
京都建築会館内　電話(21)2857

五十嵐芳雄

株式会社大林組　取締役副社長
大阪市東区京橋3の75　電話(941)0861
自宅・芦屋市打出翠ケ丘町148　電話芦屋(2)5431

伊丹久吉

株式会社藤木工務店　専務取締役
大阪市東区両替町1の13　電話(942)1461大代

伊東正也

伊東建築設計事務所所長
大阪市浪速区幸町通2の6　電話(562)0443代0434～4
自宅・西宮市松宮町129　電話0798(22)3598

社長 **飯田精次郎**
専務 **中村綱**
共同設計株式会社
大阪市北区富田町9　電話(364)5836～9・5830
社長(飯田)豊中市本町2の56　電話068(52)5775
専務(中村)京都市左京区下鴨北園町20　電話075(78)2597

生田重政

日本建設株式会社　取締役社長
大阪市東区安土町4の5　電話(261)7591～6
自宅・芦屋市朝日ケ丘町258番地の2　電話芦屋0797(3)0657

池田宮彦

株式会社池田宮彦設計事務所　代表取締役
大阪市南区瓦屋町三番丁68　電話(761)0360
自宅・堺市上野芝向ケ立町4の1405　電話堺(78)0034

諫早信夫

不動建設株式会社　常務取締役
東京都中央区銀座西4の1　電話(567)1751
自宅・東京都世田谷区烏山町453の5　電話(300)3705

謹賀新年

昭和42年元旦

(50音順)

石川寛三

石川建築事務所　所長

大阪市天王寺区茶臼山町111　電話（779）9491
東京都豊島区駒込1の28　電話（946）5431
自宅・宝塚市切畑長尾山2の317　電話池田(5)2963

石川良興

日本冷熱工産　株式会社　取締役社長

大阪市西区土佐堀通1の16　電話(443)3661～5
自宅・豊中市蛍ケ池東町4の187　電話豊中(52)3941

石原季夫 通称 **達偉**

株式会社石原建築設計事務所　代表取締役所長

大阪事務所　大阪市北区宗是町(大ビル916)　電話(441)7826
東京事務所　東京都千代田区内幸町2の3(新日比谷ビル)
電話(502)8921～4
自宅・神戸市生田区中山手6の38　電話（34）2073

一宮能和

日泉化学工業　株式会社　常務取締役

大阪市西区立売堀南5の1(住友銀行ビル)　電話(541)3352代
自宅・神戸市灘区篠原南町2の23　電話(87)3479

今西壽雄

株式会社　今　西　組　取締役社長

大阪市天王寺区上本町7の2-1(上六ビル内)　電話(772)1251
自宅・大阪府高石市羽衣2の4-1

岩佐直則

有限会社岩佐建築設計事務所　代表取締役

本　　社　尼崎市西本町7の268　電話大阪(411)3094
東京事務所　東京都新宿区四谷4の23　電話東京(351)3256
自宅・西宮市上甲子園2の11-23　電話西宮（41）5753

岩崎甚太郎

社団法人　日本建築協会　参与

大阪市東区北浜3の37　電話（231）9640
自宅・兵庫県川西市栄根字豆阪1の11　電話池田(5)6484

岩元熊雄

岩元工業　株式会社　取締役社長

大阪市東成区東今里町4の40　電話(981)0616～8
自宅・西宮市甲風園2の162　電話西宮(67)2210

宇賀一郎

宇賀一郎建築設計技術研究所

大阪市北区若松町28(尾崎ビル12号室)　電話(364)5178代

上田良治

株式会社ユーエー建築事務所　代表取締役

大阪市浪速区新川2の667　電話（633）4745
自宅・寝屋川市本町17-18　電話0720(21)0320

内田成之

須賀工業株式会社

大阪市西区土佐堀通1の14　電話（441）5171

置塩章
置塩光

置塩建築事務所

大阪市北区堂島上1の2　電話（341）6724
神戸市生田区京町70　電話（39）3515

浦辺鎮太郎

株式会社浦辺建築事務所　代表取締役所長

大阪市北区梅田8(新阪急ビル)
電話(361)1351(341)1680・1727

江川好巳

山下寿郎設計事務所大阪事務所　所長

大阪市東区北浜5の11(新立川ビル)
電話(231)4217・7321

遠藤誠

株式会社遠藤建築設計事務所　代表取締役

大阪市南区順慶町3の51(麻綱ビル)　電話(251)2146
自宅・西宮市里中町2の3-13　電話西宮(41)1845

小川正

株式会社　竹中工務店　取締役
開発計画本部長　設計管理部長

大阪市東区本町4の27　電話（252）1201

小河吉之助

小河建築設計事務所　社長

大阪市南区瓦屋町4の8　電話(761)6957代
自宅・寝屋川市郡1100の3　電話神戸(31)2609

尾亀清四郎

株式会社　三晃商会　会長

大阪市北区富田町16　電話（364）7031

大井弘次郎

株式会社大井建築設計事務所　代表取締役

大阪市北区宗是町44(第1ビル)　電話(444)4521～2
自宅・箕面市百楽荘4の4-11　電話（21）4113

大澤幸平

大幸建設　株式会社　取締役社長

大阪市東区今橋5の2　電話（203）0065代
自宅・豊中市玉井町1の8-18　電話豊中068(52)3237

大下順三郎

平和建設株式会社　取締役社長

大阪市城東区関目町1の40　電話(939)4741～5代
社長室（939)4744
自宅・大阪市旭区新森小路中3の94　電話(952)1240

謹賀新年

昭和42年元旦

(50音順)

大林芳郎

株式会社 大林組

加納秀雄

戸田建設株式会社大阪支店 取締役支店長
大阪市北区真砂町32 電話(364)1651
自宅・吹田市千里山松ケ丘6 電話(388)0244

河内義就

有限会社河内義就設計事務所 代表取締役
広島市上幟町2番37号 電話(28)2271代

大森久司

近畿電気工事 株式会社 取締役社長
大阪市北区南扇町11 電話(312)1281
自宅・奈良市今辻子町12 電話(22)2390

梶本秀尾

八千代電設工業 株式会社 取締役社長
大阪市東区森之宮東之町392 電話(941)6531代
自宅・堺市大美野107-4 電話登美丘(7)2548

河津喜之助

河津装飾 株式会社 社長
大阪市北区堂島上1の24 電話(341)1351～3
自宅・豊中市服部本町1の88 電話(62)6865

岡三郎

株式会社 岡組 取締役社長
大阪市北区堂山町89 電話代(312)0777・0456
自宅・箕面市桜ケ丘205 電話(21)2264

神谷新一

竹中工務店 専務取締役
大阪市東区本町4-27 電話(252)1201
自宅・神戸市灘区五毛通3-17 電話神戸078(86)0596

河東義方

大和ハウス工業株式会社東京支社
取締役副支社長
東京都渋谷区上通4の19 電話(463)6161
自宅・東京都練馬区下石神井1の358-9 電話(929)2488

岡橋作太郎

日建設計工務株式会社

辛木貞夫

東海興業株式会社 (大阪駐在)常任監査役
自宅・芦屋市宮川町77の2 電話(2)0328

木下國男

株式会社 内外写真 代表取締役
大阪市北区堂島北町16 電話(361)9055代
自宅・大阪市西区京町堀2の102 電話(441)2503

岡本行善

株式会社 昭和設計事務所 取締役社長
大阪市西区阿波座南通2の58 電話(532)0415
自宅・芦屋市打出大東町74 電話(2)7102

柄谷吉太郎

株式会社 柄谷工務店 取締役社長
尼崎市玄番南之町4 電話(411)1451
自宅・西宮市甲子園浦風町9番14号 電話西宮(41)0700

木下光雄

株式会社 木下謹三商店 代表取締役
大阪市西区江戸堀5の5 電話(443)0115～8
自宅・豊中市上野6の12

沖口生二

株式会社沖口電機工業所 代表取締役社長
大阪市西区京町堀1の128 電話(441)1862
自宅・吹田市青山台1の2C24 204号

川崎敬三

株式会社 近畿建設 代表取締役
大阪市西区靱本町4の103 電話(532)0081～5

木戸口信義

大洋建設工業 株式会社 取締役社長
大阪市天王寺区北河堀町54 電話(771)2672代・3880
自宅・堺市浜寺元町6の807 電話 堺(6)1370

沖田誠一

日本建築学会近畿支部 事務局長
大阪市西区靱1の118 大阪科学技術センター
電話(443)0538
自宅・大阪市住吉区苅田町9の21公住3号204
電話(691)2368

河井覚弘

河井建築事務所 所長
大阪市北区兎我野町15 電話(341)3339代
自宅・奈良市登美ケ丘4 電話奈良(45)4378

栗林一馬

栗林建築士事務所 代表
和歌山市和歌浦鶴立嶋527 電話和歌山(44)3623

謹賀新年

昭和42年元旦

(50音順)

黒川巳喜

黒川建築事務所　所長
名古屋市昭和区小針町4の2　電話052(861)0281代
自宅・愛知県海部郡蟹江町大字蟹江新田字鹿島
電話(05679)2255

小泉善重

株式会社　栄和設計事務所　取締役社長
大阪市福島区堂島浜通4の14　電話(458)1727(451)2175
自宅・羽曳野市南宮180の3　電話　阪南　(55) 4416

小島栄

三精輸送機株式会社　社長
大阪市城東区今福中2の36　電話(939)1221代～8

小西岬

株式会社田中小西建築事務所　取締役社長
大阪市西区阿波座南通2の60　電話(532)4051大代
自宅・大阪市東住吉区平野西脇町373-4　電話(701)0297

小林清

株式会社　新住宅社　代表取締役
大阪市北区堂島上2の11　電話(341)2609
自宅・大阪市阿倍野区北畠西1の11　電話(651)1594

小林得志

小林得志建築事務所　所長
大阪市北区堂島北町20(藤田ビル)
電話(362)5658～9(直)　(341)6251～5(交)
自宅・西宮市丸橋町31　電話(66) 2394

小林三甫朗

小林住宅株式会社　社長
大阪市東区御堂筋難波神社前　電話(251)1134・8371

古林義敦

日本建築協会中国支部　支部長
広島市鉄砲町5番17号　電話(21) 5469
自宅・広島市翠町1488　電話(51) 2570

後藤典夫

大阪府　建築部長

鴻池藤一

株式会社　鴻池組　取締役社長
大阪市此花区伝法町北3の67　電話(462) 1631
自宅・京都市北区平野鳥居前町86　電話(44) 1526

金剛利隆

株式会社　金剛組　代表取締役
大阪市天王寺区椎寺町66　電話(779)7731～5

佐々木新一

株式会社佐々木建築事務所　代表取締役
大阪市西区京町堀1の15(東亜ビル)　電話(443)0675～8

佐藤音松

株式会社　今西組　取締役会長
大阪市天王寺区上本町7の2-1(上六ビル)　電話(772)1251
自宅・芦屋市六麓荘町97　電話芦屋0797(2)2226

佐藤太

近畿電気工事株式会社　取締役会長
大阪市北区南扇町11　電話(312) 1281
自宅・箕面市桜ケ丘341　電話箕面(21)2167

佐野正一

株式会社安井建築設計事務所　代表取締役社長
大阪市東区淡路町2-34　電話(202) 3836

佐原忠雄

株式会社　浪花組　取締役副社長
東京都港区赤坂4の14-17　電話(584)1571～91
自宅・東京都世田谷区野沢3の23-22号　電話(421) 4330

雑賀孝夫

株式会社雑賀建築設計事務所　代表取締役
和歌山市8番丁3の4　電話和歌山(31)1371～5
大阪市西区土佐堀船町15　電話　(443)7018
自宅・和歌山市小松原通り5の1　電話和歌山(23)5888

坂内幾三郎
坂内幾男

株式会社　坂内建築設計事務所
大阪市西淀川区野里東3の13　電話(472) 0631

坂本承明

阪神建鉄株式会社　取締役社長
河内市大字中野214　電話(781) 0054
自宅・大阪市生野区大友町1の56　電話(752) 5608

酒井辰三

三光金属工業株式会社　取締役社長
大阪市南区鰻谷仲之町80　電話(271)6234代
自宅・豊中市本町10-98　電話(52) 3888

桜井正美

関東電気工事株式会社大阪支社　支社長
大阪市東区今橋1の10(朝日生命ビル内)　電話(203)0321代
自宅・西宮市天道町186の1　電話西宮(67)5518

謹賀新年

昭和42年元旦

(50音順)

貞永直義

貞永建築士事務所 所長

豊中市曽根東1の41 電話豊中(52)3172
自宅・川西市加茂字柚木谷5-1 電話池田(5)3607

菅野栄

株式会社 大阪城口研究所 常務取締役

大阪市北区高垣町1 電話(371)7151代
自宅・京都市左京区下鴨西梅ノ木町50 電話(79)4728

田淵誠也

株式会社 田淵建築設計事務所 代表取締役

和歌山市下町19 電話和歌山(22)7547

清水和彌

株式会社 清水和弥設計事務所

大阪市北区神山町26(富国信用ビル) 電話(312)7278・4616
自宅・豊中市桜塚東通5の8 電話068 (52) 7056

菅谷三郎

大阪電気暖房株式会社 取締役社長

大阪市西区江戸掘1の60 電話(441)8231大代

高須洪一郎

株式会社 朝日工業社 取締役社長

大阪市東淀川区加島町357 電話(302)2271
自宅・西宮市甲子園町3番8号 電話西宮(41)0494

庄野勝

不動建設株式会社 取締役社長

大阪市南区鰻谷仲之町57 電話(271)4771
自宅・大阪市住吉区帝塚山西5の18 電話(671)5014

隅田正美

第一工業株式会社大阪支店 取締役支店長

大阪市北区富田町30 電話(364)0977

高橋誠義

株式会社 大林組 取締役設備部長

大阪市東区京橋3の75 電話(941)0861(942)2291
自宅・松原市高見の里1の9-20 電話河内松原(8)1020

白井徳蔵

三建設備工業株式会社大阪支店 取締役支店長

大阪市都島区都島本通り6の14-2 電話 (922) 6251
自宅・宝塚市川面字下の池北13 電話宝塚0797(86)1437

銭高輝之

株式会社 銭高組 取締役社長

大阪市西区阿波座上通3-2 電話(531)6431代

高橋慶夫

株式会社 大阪建築事務所 取締役社長

大阪市西区京町掘2の75 電話(441)9351
自宅・大阪市東淀川区相川中通2の2-4 電話(328)0935

白石登喜男

東洋不動産株式会社 専務取締役

大阪市南区順慶町4の2(三和ビル内) 電話(251)2474
自宅・大阪市住吉区墨江中1の68 電話(671)3792

田阪朋美

株式会社 田阪建築設計事務所 代表取締役

大阪市東区森ノ宮東之町545(大阪紙器会館ビル)
電話(941)9648直

財田文夫

自宅・芦屋市業平町20 電話芦屋(2)0072

城口庸平

株式会社 大阪城口研究所 取締役社長

大阪市北区高垣町1 電話(371)7151代
自宅・西宮市相生町97-2 電話西宮(33)1013

田中功

株式会社 生建社 代表取締役

大阪市西区京町掘2-82 電話(443)4921
自宅・堺市大美野149-37 電話(07237)5171

竹中錬一

株式会社 竹中工務店 社長

大阪市東区本町4-27 電話(252)1201大代

須賀豊治郎

須賀工業株式会社 取締役社長

大阪市西区土佐堀通1の14 電話(441)5171

田中政二

大島応用化学工業株式会社 取締役社長

河内市大字新庄114 電話(782)4171~3・6734~8
自宅・大阪市城東区野江東之町4の99 電話(931)3506

谷口尚武

株式会社 大林組
常務取締役 大林組万博本部長

大阪市東区京橋3の75 電話(941)0861

謹賀新年

昭和42年元旦

(50音順)

地頭政人

小俣シヤッター工業株式会社大阪支店
取締役支店長

大阪市北区若松町30　電話(364)9004・9016・4825

栃木政昭

株式会社矢橋大理石商店大阪営業所
取締役所長

大阪市東区高麗橋2(野村ビル5階)　電話(231)4257・4258
自宅・芦屋市打出春日町24　電話　(2)　7983

中原茂

安宅エンヂニヤリング株式会社
取締役建築部長

大阪市東区今橋5の14(安宅ビル)　電話(231)8461代

塚本猛次

日建設計工務株式会社
大阪市東区横堀2-38

内藤一真

株式会社　竹内建築事務所　代表取締役
大阪市浪速区元町1の742　電話(641)5089・1156

中村金三

中村金三商店　店主
京都市下京区梅通烏丸西入北側
電話(35)1002・1184・8380

恒成一訓

合名会社　つねなりすたじお　代表者
大阪市東区北浜3の40　電話(231)0141・7781
自宅・豊中市玉井町2-8-20　電話　(52)　6435

内藤資忠

株式会社　内藤建築事務所　代表取締役
京都市左京区田中大堰町189　電話075(78)6196～7・2716

長井策一郎

鹿島建設株式会社大阪支店　常務取締役支店長
大阪市東区瓦町5の71(瓦町ビル)　電話(202)7461代・8166代

土居一雄

新建築事務所　所長
大阪市西区千代崎町2の24-2　電話(541)2570・8425

中川匠

中川匠建築設計事務所
大阪市北区浪花町38(新興ビル505号)　電話　(371)　3651

長尾正大

日本エレベータ工業株式会社　代表取締役
大阪市大淀区天神橋筋6(天六阪急ビル)　電話(351)4927代
自宅・池田市城南町3の33　電話池田0727(5)5579

東畑謙三

株式会社　東畑建築事務所　代表取締役
大阪市東区伏見町5の19　電話(202)0391
自宅・神戸市東灘区住吉町諏手下1680　電話神戸(85)5043

中川真佐吉

アポロ印刷株式会社　代表取締役
大阪市東区北新町2の23　電話(942)代2951～4

西島修吉

協同金属工業株式会社　取締役社長
大阪市東成区大今里北之町4の127　電話(971)8731代

栂野正春

栂野建築事務所　所長
和歌山市五番丁4　電話和歌山(22)2826

中澤誠一郎

中澤建築事務所　所長
大阪市北区富田町38(新日清ビル)　電話(363)3881
自宅・守口市滝井元町3の27　電話(991)1848

西嶋徳太郎

株式会社　大阪建築事務所　専務取締役
大阪市西区京町掘2の75　電話　(441)　9351
自宅・箕面市桜ケ丘320　電話0727(21)2432

徳永正三

株式会社　三座建築事務所　代表取締役
本　社　大阪市北区中之島4の33　電話(443)0051代
東京事務所　東京都中央区日本橋兜町2-38(共同ビル)
電話(668)3056代
自宅・芦屋市三条町53　電話芦屋(2)4953

中野順次郎

株式会社中野建築事務所　代表取締役所長
大阪市北区堂島上2の39　電話　(341)　3561
自宅・豊中市岡町南7の10　電話豊中(52)4145

西田義郎

株式会社　西田工務店　取締役社長
岸和田市加守町626の1　電話岸和田貝塚(3)2881代

謹賀新年

昭和42年元旦

(50音順)

日本建築協会和歌山支部

和歌山市卜半町　電話和歌山(23)2562

浜口幹三郎

株式会社 淺沼組 専務取締役
大阪市天王寺区東高津町8の1　電話 (762) 0251

原田富一

昭和アルミニウム株式会社 取締役社長
堺市海山町6の224　電話堺(3)1181大代

原田守

株式会社 新日本技術コンサルタント 支配人
大阪市南区長掘橋筋1(丸善石油ビル内) 電話(271)1251代
自宅・吹田市古江台1の21-10 電話千里局068(72)7711

原田守蔵

株式会社 原田商店 専務取締役
大阪市西区北堀江通5の57 電話(541)6551～7
自宅・大阪市西区西長堀南通3の8 電話 (538) 3735

伴秀雄

株式会社 西原衛生工業所大阪店

久田良吉

株式会社 東洋建築設計事務所 代表取締役
天王寺区上本町6の3-26(阿部ビル) 電話(768)2020・2029
自宅・八尾市山本町南4-73 電話八尾(2)3095

平田作太郎

株式会社 平田タイル 副社長
大阪市西区阿波座中通1の5　電話(532)1234
自宅・京都市下京区綾小路大宮東　電話 (81) 1203

平山京平

平山工業株式会社 取締役社長
大阪市西区江戸堀2の2　電話 (441) 1994代
自宅・豊中市上野2の107　電話豊中 (63) 1744

福田好雄

ダイケンサッシ株式会社 取締役社長
堺市松屋町1の6 電話堺(38)1141大代
自宅・大阪市住吉区帝塚山東3の37 電話 (671) 3254

福中定三郎

代団法人 日本建築協会 常務理事
大阪市東区北浜3の37

福永薫

株式会社 福永建築設計事務所 代表取締役
大阪市南区順慶町通4の61 電話(251)3102
自宅・大阪市南区順慶町通4の61 電話(251)5189

福頼圭蔵

株式会社 新興建材工業所 代表取締役社長
大阪市西区西長堀南通1の5 電話(541)5757代
自宅・大阪市住吉区住吉町242の22 電話(671)1705

藤木正一

株式会社 藤木工務店 取締役社長
大阪市東区両替町1の13　電話 (942) 1461代

藤田邦昭

RIA建築綜合研究所 大阪事務所
大阪市北区大融寺町33(大阪合同ビル506号) 電話(312)9154
東京 (270) 5861・名古屋 (231) 5511

藤本庄之助

株式会社 工盛社 代表取締役
大阪市城東区西鴫野6の43 電話(961)4460(962)1288

藤本久次

株式会社 藤本組 取締役社長
大阪市生野区猪飼野中1の5 電話(716)0607代

星廣文

平和建設株式会社 常務取締役
大阪市城東区関目町1の40　電話(939)代4741～5
自宅・門真市城垣町12-16　電話0720(81)0667

本庄弘樹

株式会社 三晃商会
大阪市北区富田町16　電話 (364) 7031
自宅・箕面市桜ケ丘375　電話箕面 (21) 2655

本田史郎

本田工業株式会社 取締役社長
大阪市北区芝田町65 電話(341)0831～6
自宅・京都市東山区山科御陵平林町2 電話075 (58) 2217

本田令三

千代田工芸株式会社 代表取締役
大阪市浪速区恵美須町3の14　電話(631)4416～7
自宅・奈良市百楽園町1　電話奈良(45)1971

謹賀新年

昭和42年元旦

(50音順)

馬島一郎

日軽アルミニウム工業株式会社　大阪営業所長
大阪市東区高麗橋5の1　電話(203)6831代・7965代
自宅・茨木市西駅前町6の22

松村雄吉

株式会社　松　村　組　取締役社長
大阪市北区空心町1の70　電話（352）1131

室谷山水

室谷商事株式会社　取締役社長
大阪市北区絹笠町50(堂ビル)　電話（364）2031

前川敬蔵

株式会社 東畑建築事務所 取締役大阪事務所長
大阪市東区伏見町5の19　電話(202)0391
自宅・京都市下京区西木屋町松原上ル　電話（35）2083

松本大平

田島応用化工株式会社大阪営業所　所　長
大阪市西区京町堀1の74　電話（441）5951
自宅・大阪市東淀川区下新庄町2公団住宅22-4
電話（328）0029

毛利泰三

株式会社 安井建築設計事務所東京事務所 所長
東京都千代田区平河町1の1　電話東京(261)5101～5
自宅・東京都大田区北千束2の23-16　電話東京(729)9234

前野慶太郎

株式会社　あめりか屋　取締役社長
大阪市北区堂島上2の11　電話(344)8231代
自宅・芦屋市翠ケ丘町166　電話（2）2005

三宅康介

八幡エコンスチール株式会社大阪支店
大阪支店長
大阪市東区平野町5の40(長谷川第11ビル)
電話（203）5371代

元吉勇太郎

株式会社　大末組　専務
ODO プレハブ 株式会社　社長
大阪市南区大和町1　電話（211）0555
自宅・大阪市旭区橋寺町417　電話（951）8716

政岡基次

日新ビルダーズ株式会社　取締役会長
大阪市南区久左衛門町60　電話（211）6843

南長吉

斎久工業株式会社　代表取締役支店長
大阪市北区常安町11　電話(443)5041～8
自宅・尼崎市塚口町6-20　電話(481)5136

森忠一

村野，森　建築事務所

増井敏克

株式会社　新工務所　常務取締役
大阪市北区曽根崎中1の43　電話（341）9151

宮飼克二

日本建築協会　兵庫支部長
自宅・明石市人丸町亀ノ水　電話明石(911)2298

森川喜代之助

森川一級建築士事務所
池田市住吉1の1-20　電話0727（6）8149

松井邦彦

耐酸化学工業株式会社　取締役社長
大阪市北区高垣町80　電話(361)0178代(341)4957代
自宅・豊中市本町5の82　電話068(52)3951

宮後健

株式会社　宮後建築事務所　代表取締役
大阪市天王寺区上汐町6の35　電話(771)0393
自宅・大阪市東住吉区山坂町1の5　電話(622)5130

盛道雄

株式会社　盛工務店　代表取締役
大阪市旭区赤川町2の560　電話（921）3471
自宅・宝塚市切畑字長尾山12番地の53　電話宝塚(86)2431

松田昌平

株式会社　松田設計事務所　代表取締役
福岡市網場町2番1号(明治屋ビル)　電話(28)0982(29)2497
自宅・福岡市今泉町4の127　電話　(74)　2497

村上秀二

株式会社　村上工務店　取締役社長
大阪市北区太融寺町73　電話(341)8651～3
自宅・西宮市仁川町2の68　電話西宮(51)230

藪本芳一

和歌山市東長町10の13　電話和歌山(22)9930

謹賀新年

昭和42年元旦

(50音順)

山口吾郎

不二建設株式会社 取締役社長
大阪市西区阿波座上通4の8 電話 (541) 5534代
自宅・宝塚市切畑字長尾山2-788 電話池田0727(5)2018

山下密男

合同特許建材工業株式会社 代表取締役
大阪市東住吉区駒川町3の54 電話(702)7814代
自宅・大阪市東住吉区田辺東ノ町3の193 電話(621)9086

山田義行

株式会社 竹中工務店 取締役大阪本店長
大阪市東区本町4の27 電話(252)1201大代
自宅・西宮市北昭和町13の5 電話西宮(67)3561

山本潔

山本窯業化工株式会社 代表取締役
大阪市東淀川区西淡路町3の176 電話(322)4851～4
自宅・豊中市東豊中3の209 電話 (52) 4387

山本良勝

佐藤工業株式会社 大阪支店長
大阪市東区北浜1の25 電話 (203) 7221

山本義樹

西日本建設業保証株式会社

湯原来

株式会社 青山工務店 代表取締役
守口市八雲西2の150 電話(993)3951
自宅・大阪市東淀川区塚本町4の152 電話(301)7417

横田喜一郎

株式会社 工英社 代表取締役
大阪市西成区橘通9の24 電話(661)8861・8862
自宅・大阪市住吉区万代西2の28 電話 (671) 3306

米田良男

株式会社 米田工務店 代表取締役
大阪市天王寺区逢坂上之町7 電話(771)7771代
自宅・大阪市天王寺区逢坂上之町7 電話 (771) 0155

和田真一

株式会社 東和組 代表取締役
大阪市北区梅ヶ枝町175 電話(363)4051代
自宅・芦屋市公光町25 電話芦屋(2)3282

和田治郎市

株式会社 和田組 取締役社長
大阪市北区高垣町61 電話 (313) 2021代
自宅・芦屋市西山町56 電話芦屋 (2) 2860

和田村太郎

浪速建材工業株式会社 取締役社長
大阪市城東区茨田横堤町41 電話(911)1171～8
自宅・大阪市旭区新森小路南1の439 電話 (951) 8250

若林繁吉

二葉屋装備工業株式会社 取締役社長
大阪市大淀区本庄川崎町2の6 電話(371)3321～3
自宅・京都市東山区清水2の232 電話 (56) 6283

鷲尾健三

大阪大学工学部建築工学教室
大阪市都島区東野田9丁目

渡部圭吾

株式会社 渡部建築設計事務所 代表取締役
大阪市東区京橋3の68(北浜ビル2号館10階)
電話 (941) 4623
自宅・箕面市桜井1の5の5 電話 (0727) 2209

渡邊勇

株式会社 間組大阪支店 営業課長
大阪市東区横堀2の70 電話(203)2821代
自宅・京都市中京区西ノ京御輿岡町10 電話 (84) 8697

日本建築協会常設委員会・本年の抱負

事業委員会本年の抱負

事業委員長　増井敏克

全建築界にわたる非常に広い巾の多数会員を擁する日本建築協会において，会員直接のご活用を願う諸事業を行なっている事業委員会は，本年度もなお一層の有意義な企画を樹て，多数のご要望に応えて会勢拡張の原動力としたいと思っております。

特に本年は本会創立50周年に当るので，3月30日当日の記念式典，表彰式，祝賀会などのほか，4月より6月にかけて慰霊祭，展覧会，講演会，特別見学会，運動会などの諸行事を前回45周年の節よりさらに盛大に行なうべく着々企画を進めておりますが，ぜひとも全会員の力を併せた充実した記念事業を行なって，先輩諸氏のご苦労を偲ぶとともに，本会の今後の一段の向上発展を期したい積りであります。ついては諸行事の実施の世話をされる委員諸氏にはまことにお手数でですが，何卒ご奮闘を望むと同時に本会全会員の心からなるご協力をお願いする次第です。

建材委員会の反省と抱負

建材委員長　政岡基次

終戦後この委員会は，建材審査委員会と称し，混乱した建材の中から優良と認められる品を選んで証明を発行して，ユーザーの便に供し，かつまたメーカーへ向って良質建材の供給を促してきた。その後，諸般の事情の安定に伴い，その必要さも薄れて来たので，昭和38年からは建材委員会と改め，問題の多い材料について，メーカーを交えて討論研究を行ない，その成果を「建築と社会」へ発表して，会員に対して正しい知識を与えると共に，メーカー側へは製品の改善などを要望してきた。

近年は，コーキング材料・プラスチックを主とした床材・化学防水・防露対策を採りあげ，コーキング材料は昭和40年11月号に，プラスチックを主とした床材は41年9月号に発表，化学防水は本年早々に脱稿，防露に関しては目下引続き検討中である。

今後進める課題としては，燃焼による有毒ガスと煙，左官用のセメント，人工骨材・砕石を予定している。多分これだけで，本年は終るであろうが，今後，適当な問題を取りあげて一層の研鑽を進める方針である。

今年の教育委員会の作業

教育委員長　岩下久哉

昨年は，神戸・洲本・姫路・豊岡・名古屋・岐阜・金沢・秋田と大阪で延1,000名の受講者で「左官工事講習会」を実施した。本年は，「鉄骨構造講習会」「建築技術者のための設備講習会」「設備技術者のための建築の知識講習会」「建築基礎工法講習会」を，出版委員会の出版図書を教材に，ユニークな企画と内容で大阪を初め各支部を中心に開催して，建築技術者および設備技術者の技術向上に資していきたいと考えていいる。

建築現場での実務に結びついた，初級・中堅・主任技術者を，それぞれ対象にした講習会も，企画と実施方法に独自性を盛り込んで，意義あるものとしていくとともに，支部での開催についても具体化を図ることにしたい。本年は，講座のみに限らず，建築の実務教育についての研究・調査にも委員会を中心に，新しい努力を尽し，新しい企画提案を会員各位からもお寄せいただき，それらを基礎にして進めていく。

出版委員会

出版委員長　田中良太郎

計画にのった企画図書は，その編集委員長を中心に，出版工程が進められている。「鉄骨のデザイン（実例と考え方）」（委員長・鷲尾健三氏），「建築基礎工法と実例」（委員長・山肩邦男氏），「建築技術者のための給排水衛生設備」（委員長・田中良太郎），「建築技術者のための空気調和設備」（委員長・前田敏男氏），「設備技術者のための建築の知識」（委員長・伊藤克三氏），「木造建築・シリーズ企画」（委員長・長沢徹夫氏），「建物および設備の保全1967年版」（委員長・榊弘美氏）では，執筆者・編集委員会の不断の努力が実り，本年は会員の手元にお届けできることと思う。出版委員会では，来年以降の出版図書の企画に着手して一層出版事業の拡大に着手していくことを誓いたい。

法規委員会今年の抱負

法規委員長　佐野正一

昨年末近くになって建築士法改正の動きが急に活発になった。本協会としては，建築基準法改正と併せて一日も早く根本的に改正して新時代の要請に応えるべきだとしているが，改正の細部については，関係業界の意見がまとまらなくてここ2年来足踏み状態にある。年末からの動きはその打開の一つのあらわれなので喜ばしいことではあるが，今年の改正は結局極めて小範囲の修正にとどまる見込で，今後さらに根本的な改正に向っての働きかけをつづけてゆきたい。もう一方の基準法改正の方は今年春に促進するための要望をだすつもりでいる。一昨年改正要望を建設省へ提出したが，その後の動きを整理して第2回目の要望をするわけである。最近市街地の周辺部にますます多い不法建築を阻止するために，なにか手をうちたいのだが，いろいろな事情がからんでいて誠にもどかしい。基準法改正は解決のための方策のすべてではないが最も有力な，そして最も先にやらなければならぬ課題だと考えているのである。

住宅委員会の活動

住宅委員長　岡橋作太郎

日本人の生活がかなり良くなってきているようであるが，住宅を欧米（イタリーを含む）と比べると格段の開きがあるようである。「衣」「食」はほとんど同等であるといえるのに「住」があまりに違いすぎる。これは日本人全体が取組むに値する問題だ。少なくとも先づ，日本人全体の生活に対する価値観の革命を必要とする。この意識革命は実は徐々に行なわれ始めているようにも思える。

一方で商業主義が意外に大きな作用をなすきざしが見えてきたように思われる。給湯あるいは暖房が商業主義の攻撃目標になってきたことである。これはクーラーなどよりも先きにとり上げられてしかるべきものであったのだが，「家庭」の事情もあったことだ。

このような背景が与えられていると考えて住宅委員会はやってきた。今年も同じ背景の前で一層の努力をいたしたい。

編集委員会今年の抱負

編集委員長　長谷川哲之助

今年は日本建築協会の50周年と共に新年を迎えることとなり喜びにたえません。

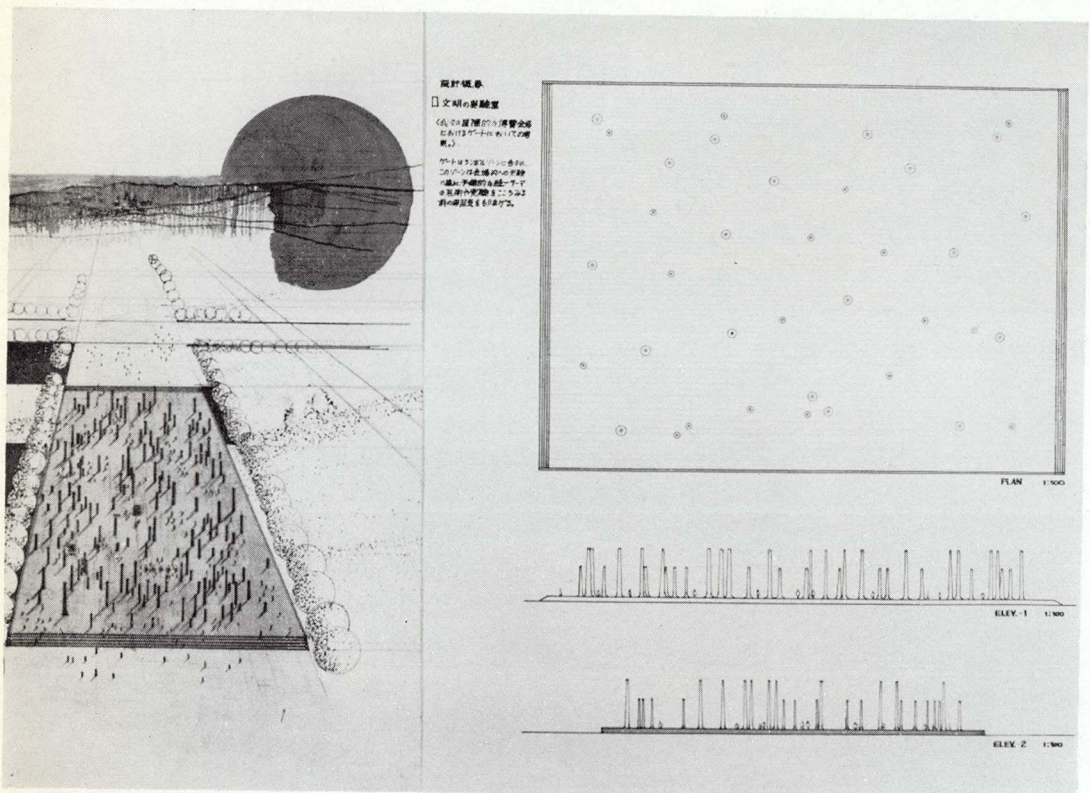
編集委員会としては，かねてよりこの時を機して「建築と社会」の大型化を企画しておりました。幸にも皆様のご賛同を得て，新年より大型化実現の運びとなりました。50周年記念号も今年の3月号として発行されますが，一段と立派になることと期待しております。

何事にも得失は付きもの，大型化に伴い，いろいろの面で問題はあります。その点編集委員一同，心を引き締めて，皆様のご賛同に応えるべく，一層の努力を誓っております。またその内容についても，皆様の声に基ずき，内容の充実を心掛る所存であります。特に特集テーマについては，50周年目よりの新たな出発にあたり，協会の意義を再確認し，それにふさわしいものにすべく努力いたしたいと念じております。

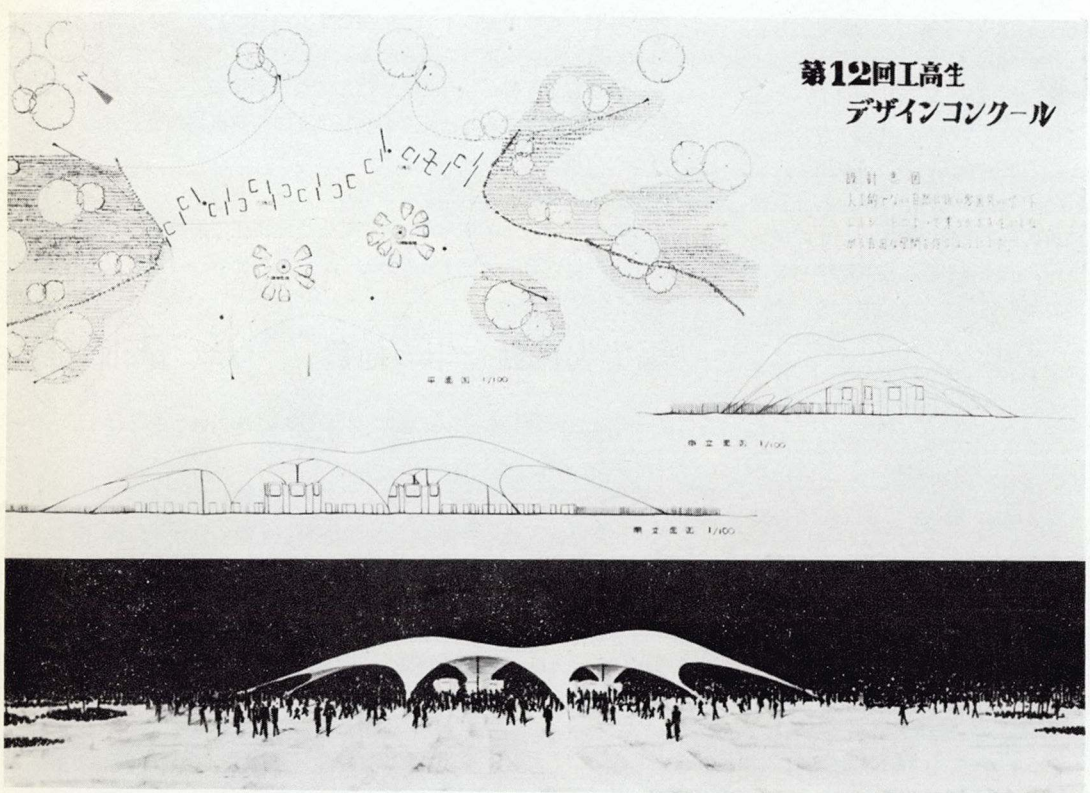
第12回工高生デザインコンクール入選作

設計課題：博覧会場に建つゲート
主　催：日本建築協会

■設計要件　これは国際的な産業博覧会であり，開催場所，敷地を自由に想定し，入場者整理のためのシステム・構造など任意に考えてよい。広く自由な発想を期待する。



最優秀賞　東京工業高校２年　太岐口定男，先崎一郎，高橋一夫，館野幸男，西当修作，栁賢三



入選　早稲田大学工業高校４年　市川博章，吉田新作，平沢和男

審査経過

審査会は，昭和41年10月17日午後１時30分より６時にわたって開催された。出席者は，西沢文隆委員長，伊丹孝，上田光雄，上田稔，角橋徹也，平生舜一，前川道郎，薬袋公明，山本純孝，吉田勇審査員であった。審査は，本会４階集会室に応募作品（19校・106点）を掲示した会場で，書面投票による第１次審査から進められた。第２次審査からは20点の作品により，作品批評とそれにもとずく，書面投票を５回にわたりおこない入選作品を決定した。最優秀作品も書面投票により最多得票を得た作品に決まった。

総　評

まったく自由な条件のもとに，博覧会場のゲートに対する若々しい発想の跳躍を期待した。太岐口定男ほか5名（東京工高）と市川博章ほか2名（早稲田大学工高）がその期待に応えてくれただけで，ほとんどが常識的な解答に過ぎなかったことはまことに残念である。発想という程のものがなければ，博覧会のゲートを考える以上，少なくとも入場者をいかにスムーズに誘導するかを考えてそれに対する創意工夫を考えるべきである。発想も創意もなく，いたずらに奇をてらい，また図面効果にばかり力を集中するごときはまったく邪道である。いわゆる，常識的に器用にまとめ上げたものが多く，10点を選出するためには相当な苦労と努力をした。

選に入れたものは――①発想の確かなもの，②何か創りだしたいという熱意の見えるもの，③常識的ではあるが一応よくまとめているもの――のいずれかである。同じ入選といっても同列に考えないで欲しい。10点満点で採点するとすれば，9点のものから2～3点のものまで含まれているのである。自ら自省し今後一層の精進を望む次第である。

（審査委員長：西沢文隆）

個別評

最優秀作品　太岐口定男ほか5名　　東京工高

発想の確かさと度胸の良さを買う。出札口や改札口等はゆっくりと考えればよい。平らな台地と林立する柱群の構成は会場への序曲を奏でている。ディスカッションを積重ねた末に何もなくなって仕上げられた作品と考える。

入選作品　市川博章ほか2名　早稲田大学工高

出札口と改札口の関係を真剣に考えた唯一の案である。全体を一つの大空間に覆いつくしたいという意図もはっきり出ている。バランスもよく図面のまとめ方もなかなかうまい。構造的には大分怪しいところがあり，発想の確かさでは最優秀作品に劣るが，普通なら一等というところであろうか。

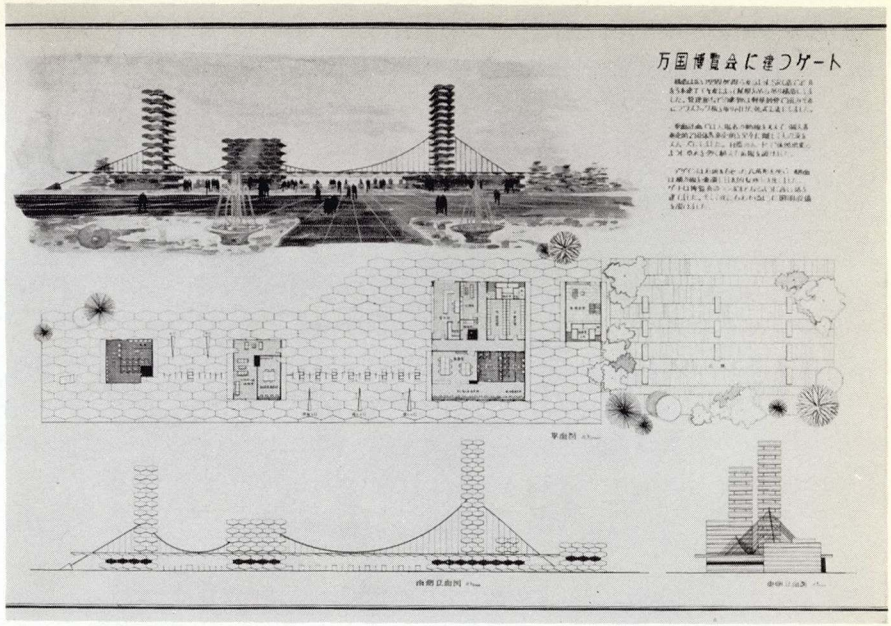
入選作品　前川　清　　名古屋市立工芸高
〃　加藤友夫　〃
〃　北岡俊夫　　大阪市立都島工高

悪い意味で常識的で素直にまとめ上げられた，いろゆる，優等生の作品というところが一番の欠点。入口はいずれも一般者用，関係者用と分離しているが，出札口，改札口の関係は工夫されていない。動線が方向と直角に横に動いて混雑する。工合の悪い市中のターミナルでもこんなに工合の悪い処理はしていないはずである。

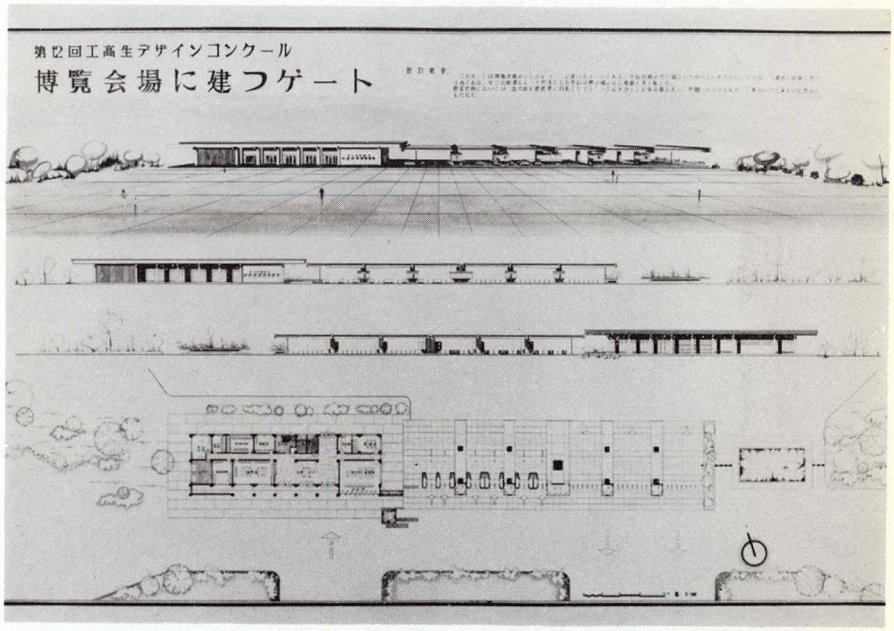
前川清の作品はせっかくのサスペッション構造を発想しながらかんじんのサポートになる塔が六角筒の積重ねで力感がなく，しかもその六角筒が完全にプランと何の関係もないあたり，発想の不確かさを示す。

加藤友夫の作品はなかなか，器用な製図であるが，このプランからエレヴェーションに見るスマートさが出てきそうにない。ことに棟がまったく異質であるのは如何。

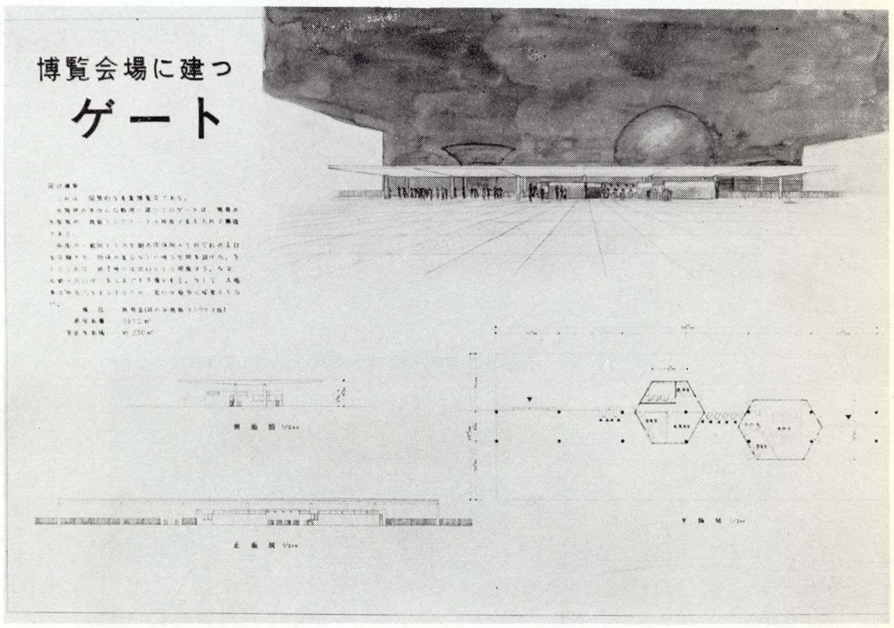
その点，北岡俊夫の作品は何もないだけに一番素直であるといえよう。せっかくの鉄骨屋根を被覆してしまっては意味がない。



入選　名古屋市立工芸高校　2年　前川　清



入選　名古屋市立工芸高校　2年　加藤友夫



入選　大阪市立都島工業高校　2年　北岡俊夫

入選作品　小西久雄　　神奈川県立神奈川工高
〃　　宮原徳文　　鹿児島県立鹿児島工高
〃　　高井　実　　大阪市立都島工高
〃　田中国栄ほか2名　新潟県立高田工高
〃　大崎正直ほか2名　〃　〃

何か空間を創り出したいという熱意を採った。宮原徳文を除いて，前記の前川清，加藤友夫，北岡俊夫よりは少し考えられている。

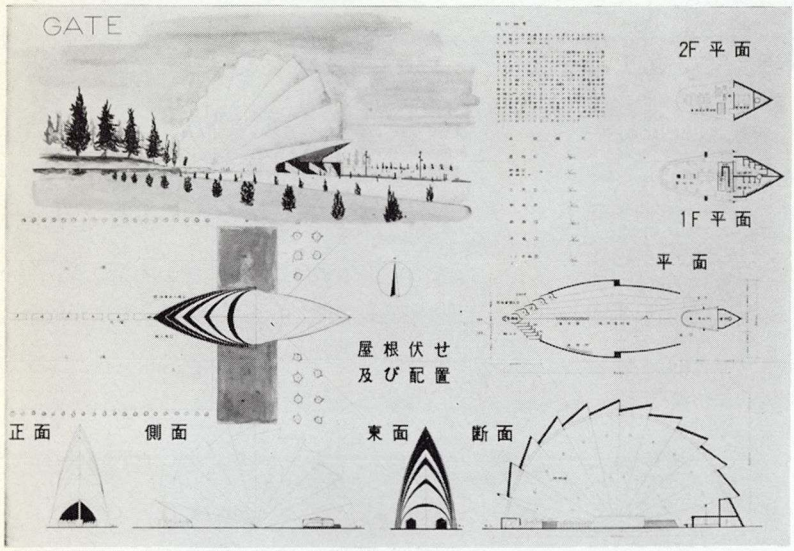
小西久雄の作品はあまりにも細々と入る入口ではあるが，単なるゲートではなく何かの空間を感じさせたいという熱意を買う。

宮原徳文は形をシンプルに，それでいて何とかゲートの観念からぬけ出したいという努力を買う。

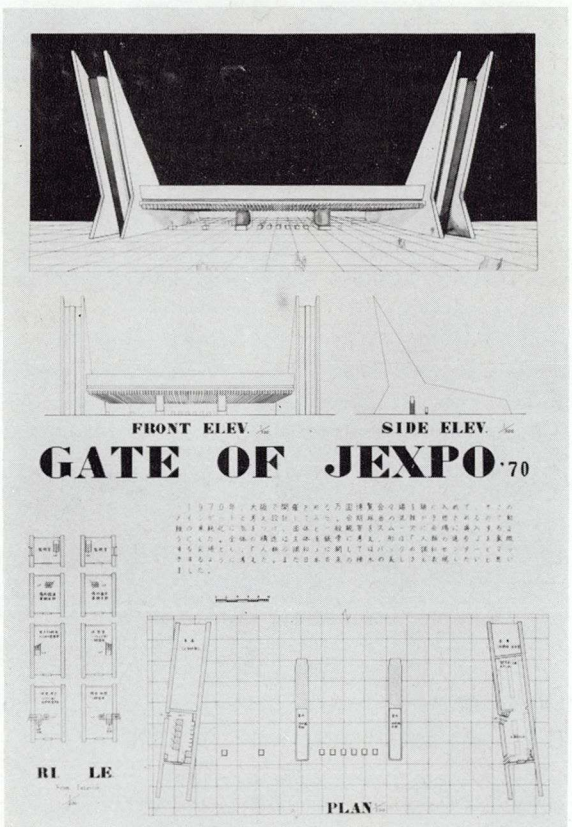
高井実の作品は入口で会場全体を見渡して観客にどこへ行きたいか決めさせる手段にしようという創意を採ったが，それにしては少々狭すぎ展望において余裕などなさそうに思われる。

田中国栄ほか2名のは，万博のメインゲートと称するにはあまりにも小さすぎる。デザイン過剰ではあるが，パースはなかなかうまい。

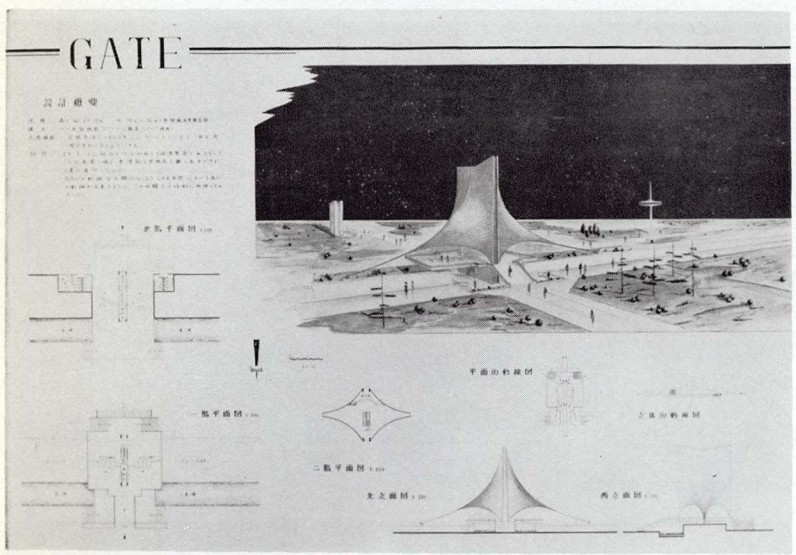
大崎正直ほか2名の作品は，ガラスで輝しい空間を造ろうとした意欲とパースの巧さを買った。通路はいかにも狭い。



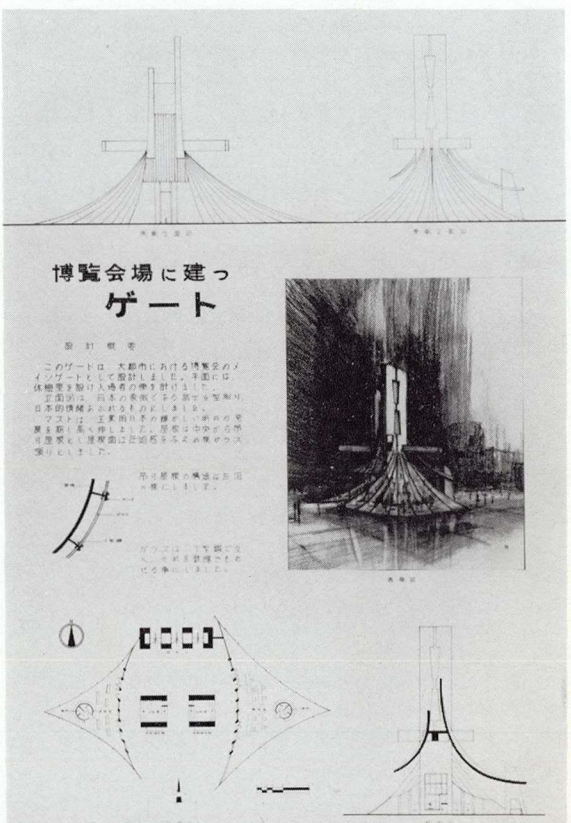
入選　神奈川県立神奈川工業高校　2年　小西久雄



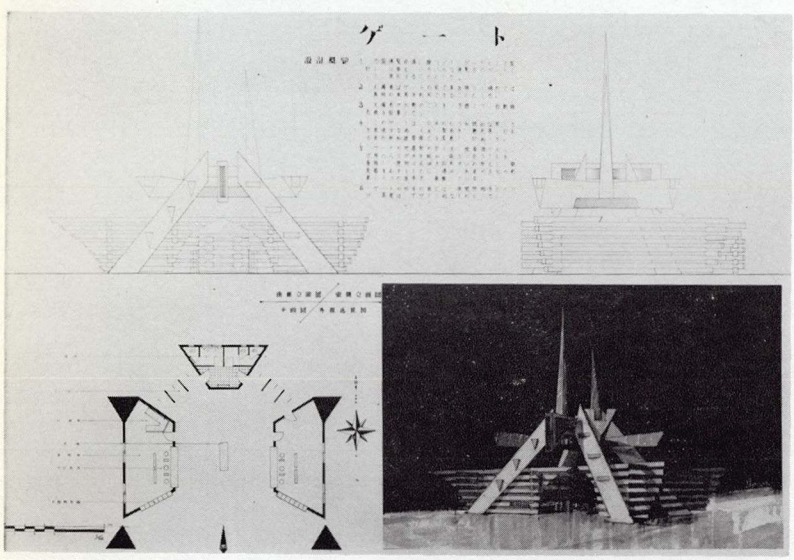
入選　鹿児島県立鹿児島工業高校　2年　宮原徳文



入選　大阪市立都島工業高校　3年　高井　実



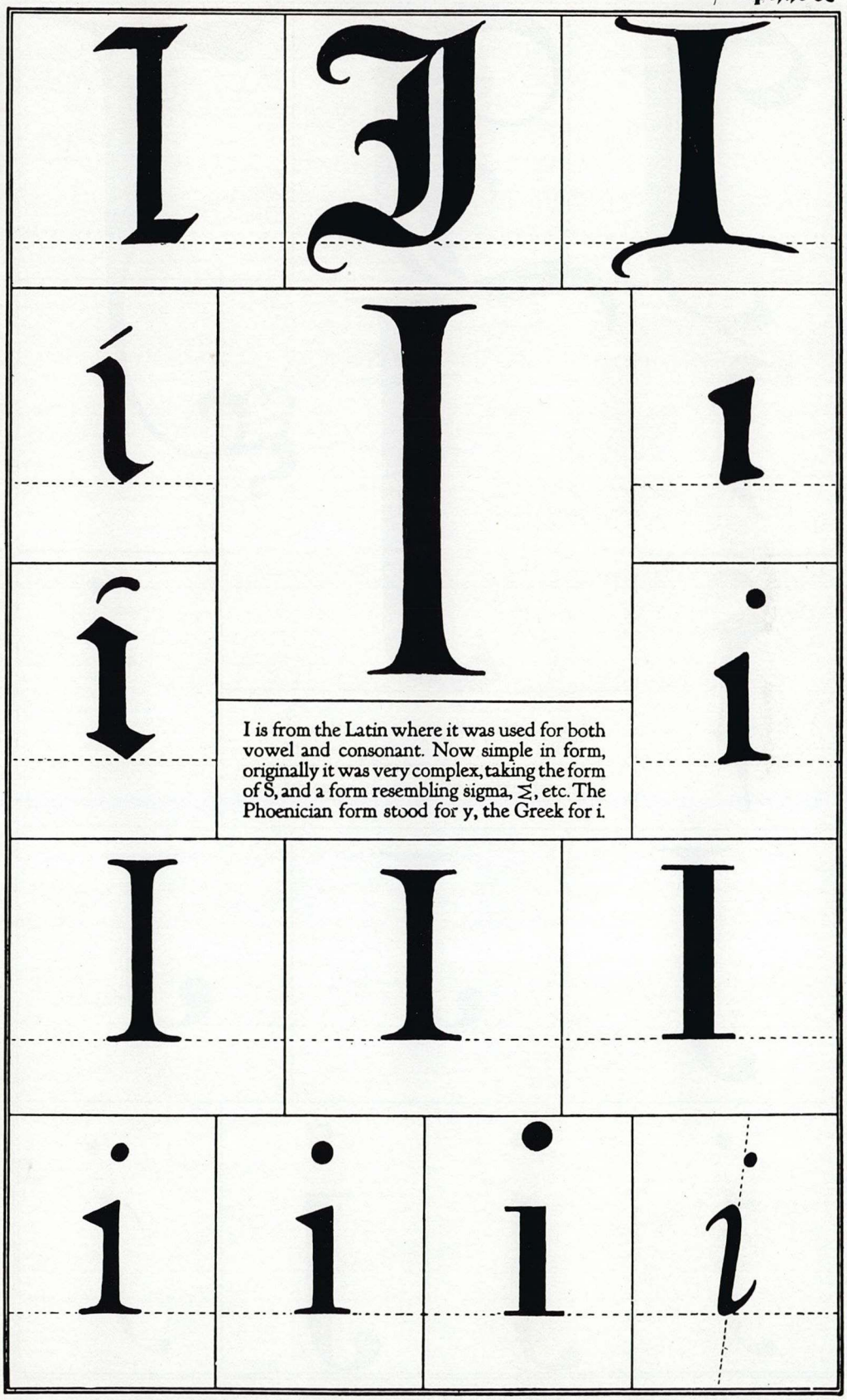
入選　新潟県立高田工業高校　3年 大崎正直，2年 下鳥茂，2年 宮崎弘



入選　新潟県立高田工業高校　3年　田中国栄，2年　塚田　正，1年　高橋正明

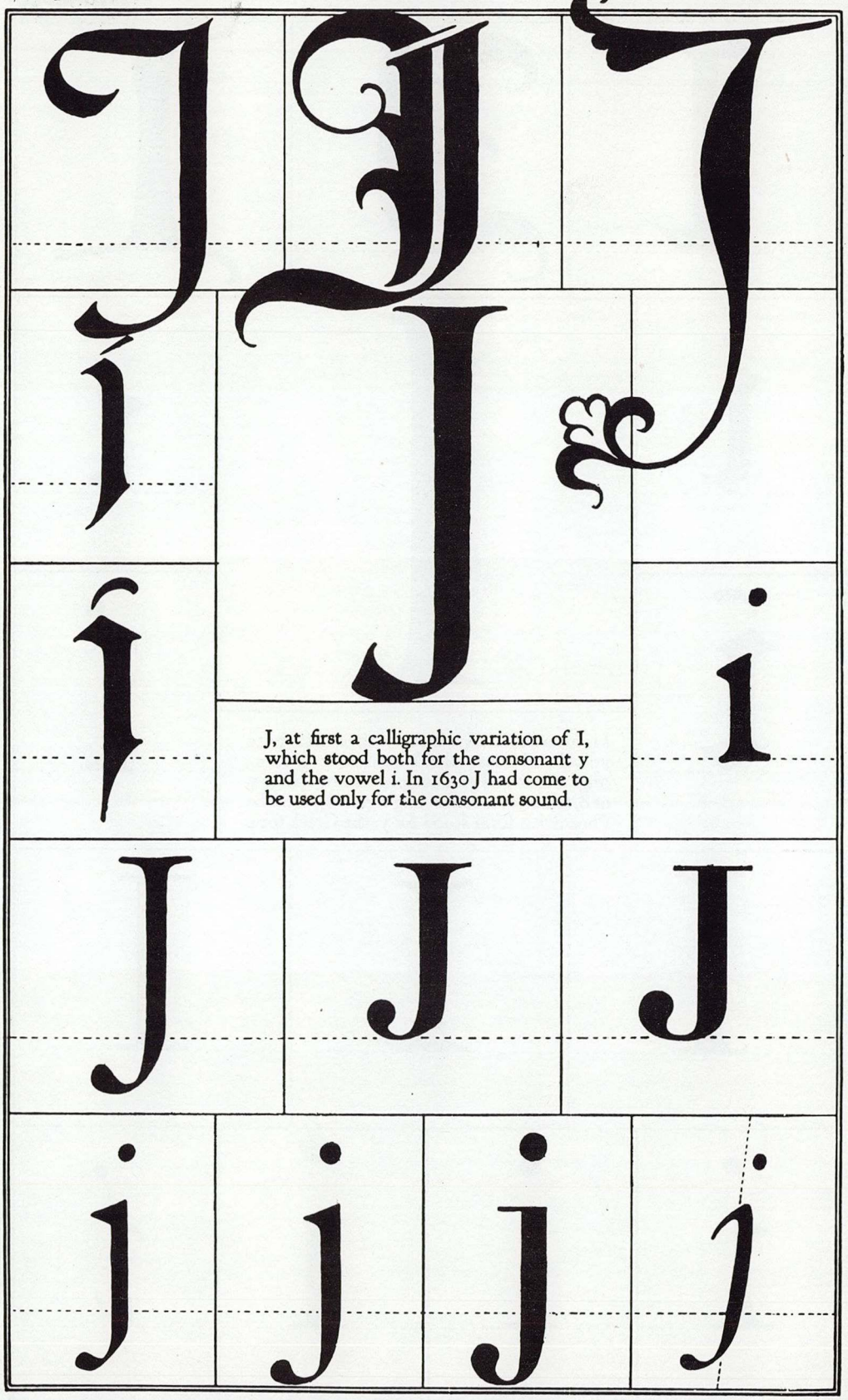
レタリング

I



きりとり線

I．Ｉはラテン語から由来したものである。ラテン語ではこれを母音にも子音にも用いていた。現在はこれは単純な型であるが、もともとは非常に複雑で、Ｓの型をとり、シグマすなわちΣその他に似た型であった。フェニキアの型はｙを意味し、ギリシアの型はｉを意味していた。



J．Jは初めはIの花文字の一変形で、子音yおよび母音iを表わしていた。1630年になって、Jが子音にのみ用いられるようになった。





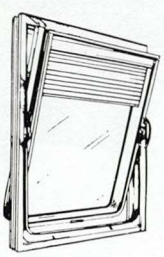
ブラインドを内蔵した　住友の回転式アルミ二重窓

エルミン窓

建築家の夢を実現した理想的なアルミ窓！

◆エルミン窓は、欧米各国で、すでに多くの建物に採用され、その優秀性が実証されています。建物の設計・施工上に要求される条件を、ことごとく満足させる性能をもち、建築家や需要家のご要望にこたえた理想的なアルミ窓です。

◆エルミン窓が、世界各国で使用され好評を博しているのは、優秀な性能のほかにデザインがすぐれているからです。現代の建築工業部品としての新しい感覚は、カーテンウォール、パネルウォール、連窓、単窓プレキャストコンクリート、木造など、どのような形式の建築にも調和します。


標準換気位置(約15度回転)

◆エルミン窓は、わが国の気候・風土に適応するように設計・製作してあり、事務所、病院、ホテル、アパート、学校、図書館などの建物に、もっとも適しています。

◆エルミン窓には8つの特徴があります

①二重ガラスにより熱損失が少ない
②遮音性能がすぐれています
③アルミ形材に挿入された断熱材により熱伝導が少ない
④水密・気密が完全です
⑤ガラスにも枠にも結露を生じません
⑥ブラインドが内蔵されているので冷房負荷をへらします
⑦横軸180度回転し内部から外部ガラスの清掃が可能です
⑧大窓にも適します

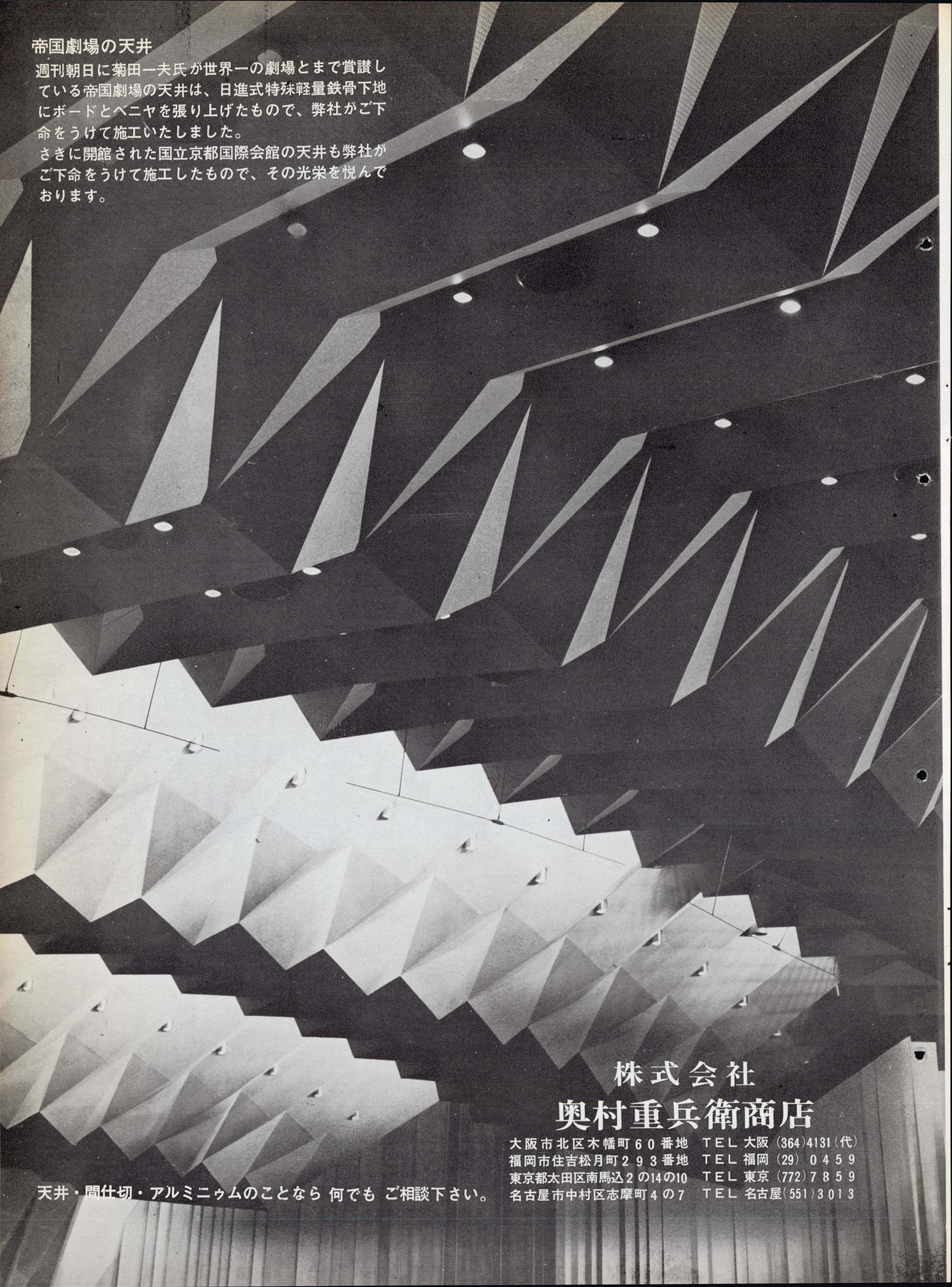
エルミン窓は住友軽金属のすぐれたアルミ形材を使用しています

製造・販売・施工

日本エルミンサッシ株式会社

本　社 東京都中央区日本橋江戸橋3—7(第2三木ビル) 電(272)1841代表
営業所 大阪市西区京町堀1—125(東洋ビル) 電(441)1979直通

住友軽金属工業株式会社



帝国劇場の天井

週刊朝日に菊田一夫氏が世界一の劇場とまで賞讃している帝国劇場の天井は、日進式特殊軽量鉄骨下地にボードとベニヤを張り上げたもので、弊社がご下命をうけて施工いたしました。
さきに開館された国立京都国際会館の天井も弊社がご下命をうけて施工したもので、その光栄を悦んでおります。

天井・間仕切・アルミニゥムのことなら 何でも ご相談下さい。

株式会社
奥村重兵衛商店

大阪市北区木幡町６０番地　ＴＥＬ 大阪（364）4131（代）
福岡市住吉松月町２９３番地　ＴＥＬ 福岡（29）０４５９
東京都太田区南馬込２の14の10　ＴＥＬ 東京（772）７８５９
名古屋市中村区志摩町４の７　ＴＥＬ 名古屋（551）３０１３

読者の頁

投稿をおまちしております。掲載の分には粗品進呈いたします。

□ 明治時代をしのぶ写真 □

別便葉書にて明治建築土木史略年表関西篇その１送りました。（前月号掲載）

必要があっていま明治初期の傍訓（ふりがな）新聞を東大の明治新聞雑誌文庫で調べていますので，その片手間に丁度よい機会なので，かねてやってみたいと思っていた，建築，土木，交通，都市計画，環境衛生に関係のある記事を採集しているのですが，これはじっくり腰を据えてライフワークの一つの積りでずっと修正増補していきたいと思ってます。字数の関係で関西以外の記事も入れていくことがあるかもしれません。

ついでに写真五葉送ります。写真番号１と２は私の曽祖父と大伯父で維新前後の京都か大坂で写した写真です。こちらの一権威者に聞いたところ，江戸と長崎の写真屋はかなり古い所まで解っているが，京，大坂は不明だとのこと。もし御地で詳しいことが解ればと思って送りますが，曽祖父は宇和島藩の京都留守居役，大坂蔵屋敷留守居役。大伯父は維新直後の外国事務局助勤等をつとめており，宇和島藩大坂蔵屋敷→外国事務局→大阪朝日本社と変遷していると思いましたから，直接ではありませんが間接的には関西建築史の一傍資料になるはずです。大坂蔵屋敷のことは朝日の社史編輯室で出している著作物などにはかなり詳しく出ています。

写真３は明治16，17年の大伯父名儀の第二十九国立銀行宇和島支店の銀行通帳。活字は一字もなく，全部墨書してあり，恐らく当時銀行利用者などはあまり大勢いなかったのでそれで足りたと思われます。これも先の権威者に見せたところ，かなり珍らしいものだといっておりました。

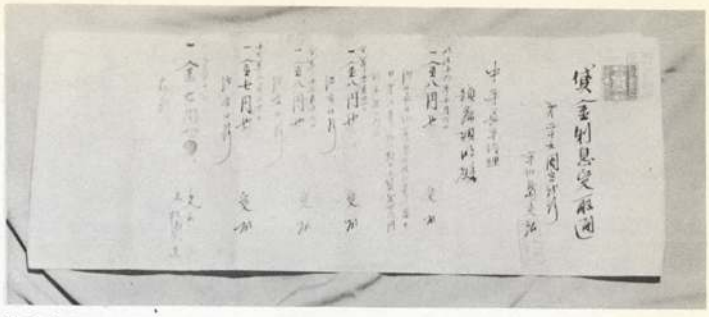
写真４は祖父（須藤南翠。作家―編集註）の関係した三つの新聞の社名入り封筒です。左端の有喜世（うきよ）新聞のには明治11年９月７日の消印が捺してあり，また右端の白封筒の左（向って右）隅下に，大阪市北区中之島３丁目，村山合名大阪朝日新聞會社の紫印（スタンプ）が押してありますが，光線の加減か撮影してもらったらご覧の通り真白になってしまいました。

写真５は明治16年８月19日撮影の祖父の写真で，向って右が祖父，左は不明ですが，当時関係していた開花新聞（有喜世，改進両新聞の後身）の幹部の１人ではないかと思われます。

目下年表は主として有喜世新聞の記事に拠っており，また建築史的にも間接的な傍資料としての価値なら多少はあろうかと思われます。（10月26日。夜）

（東京都北区神谷2―22―13　須藤欣二）

3



4



1



2



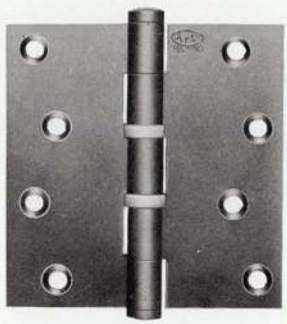
5



Art の製品には……

日本住宅公団指定規格品

DR-844 ヒンジ



●デルリンブッシュ入
平頭角型ギボシ丁番

- ドアーの開閉時に音を立てない。
- 長期の使用にも摩耗する事がない。
- 注油の必要がない。
- 温度の急激な変化にも耐えられる。
- 衝撃にも強い
- 完全防錆のボンデライズ焼付塗装である。

寸法（㎜）

呼名	全長	横巾	板厚	ナックル外径	ブッシュ	SWAGING	取付巾	鋼材	十字穴付木捻子 JIS.B1112			
	A	B	C	D	E	F	G	JIS G3307	H・I	本数	太サ	長サ
89㎜(3½)	89	89	2.5	12.3	4.5	1.6	29	SPH-1	10×6	6	4.5	25
102㎜(4)	102	102	2.8	13.0	4.5	1.6	32	SPH-1	10.5×6.2	8	4.8	25
127㎜(5)	127	127	3.2	14.7	5.0	1.6	39	SPH-1	12×6.7	10	5.1	32

●丁番の取付けが簡単、作業能率の向上！

木ネジの革命 **スパイラー**



- 錐でガイド（下穴）を設ける必要がない。
- 全ネジ式ですから密着が良く振動のために抜けてくるようなことはない。
- 釘状の部分で木部へ安定した嵌合が出来るのでドライバーの横滑りがなく製品を傷めずに固定出来る。
- 表面硬化をしてあるためにネジ山の破損が少なく反復作用によく耐えます。

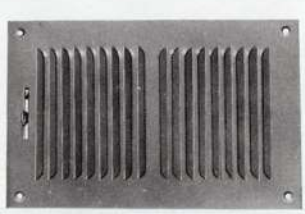
※〝アート〟のヒンジの中級品以上（DR-844. NR-64. ST-84. ST-SL-84-1）にはスパイラーが附属されています。

●最新型ウォールレジスターセット

EWレジスター ●米国FHA規格品

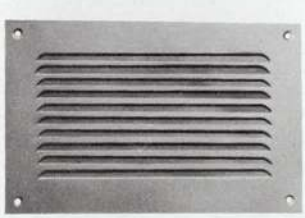
- 自然換気により室内の空気はいつも爽やか。
- 室内冷暖房の保温調節が容易。
- シャッター120°迄自在調節止め付。
- 錆の発生、変色がなく湿度の高い所、バスルーム等にも安心して使用出来る。
- スッキリとしたデザイン中間色の落ちついた色調。
- 風雨の晒す場所でも雨の吹込む心配がない。
- ソフトシートにて取付けの際のガタつきがなく、完全密着取付け施工が出来る。

レジスター No.55—R



取付部分切込み寸法 ㎜（吋） 縦	横	表面板寸法(㎜) 縦	横
150（6″）	260（10″）	195	295
150（6″）	310（12″）	195	345
150（6″）	360（14″）	195	395

グリル No.55—G 防虫網付



取付部分切込み寸法 ㎜（吋） 縦	横	表面板寸法(㎜) 縦	横
150（6″）	260（10″）	195	295
150（6″）	310（12″）	195	345
150（6″）	360（14″）	195	395

※鉄筋住宅のお部屋の換気、冷暖房装置の通風口には理想的な吸入、排気のレジスター、グリルをセットして使用ください。

Art ●JIS規格表示許可工場 日本住宅公団指定メーカー
永和工業株式会社

本社 大阪市生野区巽矢柄町128 TEL 大阪(751)1271～5
工場 大阪府枚岡市布市町50 TEL 枚岡(81)5566
東京 東京都中央区日本橋本町4—4 TEL 東京(663)6748
営業所 （クラウンビル内）

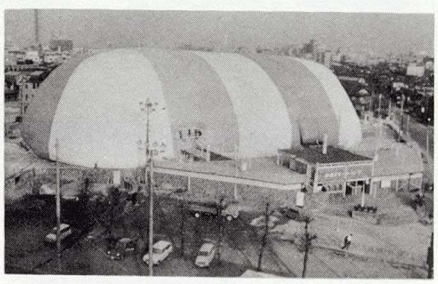
建築と社会
ニュース

ニュース原稿をお送りください。

■ エア・ドームお目見え

大阪市福島区の野田プールセンターが，冬場のプールをスケートリンクにころもがえするにあたって，「エア・ドーム」を採用した。この「エア・ドーム」は倉敷レイヨンが東京のテントメーカーと共同で開発したもので，使ったビニロンの布地は 8 千m²，約 6 トン，製作費は 2,500万円。スケートリングの大きさは約3,000 m²，横88m，縦50m。ドームの高さは 7 階建のビルなみの約22m。設計：倉敷レイヨン営繕部 施工：KK大林組。

このエア・ドームは，ドーム内部に送風機で空気を送り込み，外部より 1 ミリバール程度気圧を高めることにより，膨脹形態を保たせるものでちょうどタマゴを半分に割った楕円形になっている。約 1 時間でふくらませることができて，建設簡単で移動も自由にできるほか 7 年間ぐらいもつという。また25m～30mの強風にも耐えることができるという。価格も 3.3m² 当り，2 万～3 万でできる由。



■ 船場地区建設着工か

大阪の市街地を東西にぶちぬく都市計画道路＝築港・深江線の下につくられるビルと道路の建設工事が，この 2 月から万国博の45年完成を目標にはじめられる。

設計では，有名な井池（どぶいけ）問屋街を中心とした都心部の延長 930m に巾 42m の高架を走らせ，この下にビルをつくって，会社や問屋をここへ収容するというもの。

ビルは，地上 2 階建 2 棟，同 3 階建 1 棟，同 4 階建 7 棟の計10棟で，地下はいずれも 2 階。総面積は延 16万 6 千m²。地上の 1，2 階と地下は主に繊維卸，小売，飲食サービス業の店舗と駐車場，3，4 階は事務所。中央の 4 棟に荷さばき場をつくる。

ビルの屋上には，両側に築港・深江線（無料・各三車線）を走らせ，中央部の六車線は有料の阪神高速道路とし，市内を南北に走る阪神高速道路とも連絡する。またビルの両側には，巾13m 4 車線の車道と 6 mの歩道をつけ，この下には地下鉄 4 号線を走らせる計画である。総工費430億円（うち84億円は阪神高速道路公団が負担）。

■ 工高生デザインコンクール表彰式

「博覧会場に建つゲート」というテーマで募集した第12回工高生デザインコンクールの入選者の表彰式が，去る11月12日（土）午後 1 時より近畿建築会館で行なわれた。



東京，新潟，鹿児島からはるばる参列した入選者も含めて，西沢文隆審査委員長の審査総評，「一の会」より清水和弥氏のあいさつおよび教育委員会副委員長（辛木貞夫氏）より賞状と賞牌（ニケの像）授与があった。表彰式後，懇親会に移ったが，そのあと，大阪ガスビル（増築）大阪化学繊維会館を見学した。

■ 西日本初？の30階建計画へ

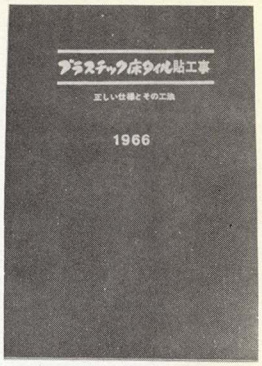
神戸市と神戸商工会議所では，神戸の象徴になる神戸商工貿易センタービル(仮称)の計画をもっている。神戸港の開港 100 年を記念して，42年 5 月に着工，万博の開催される45年度までに完成させるもので，これができると，西日本初の30階建，高さ 100m の超高層ビルの出現となり，早くも話題を呼んでいる。

■ 〝あかり〟作家合同展

現代インテリアの構成要素として，あかり（照明器具）のデザインが，大きなポイントになるが，その〝あかり〟のデザインを追求した展示会がある。その第 1 回の〝あかり〟展は多田美波の作品が展示されたが，今回その第 2 回として，作風の異なる17人の作家（植木未魚子ほか）の合同展として，去る11月25日から12月11日まで，京都ＧＬインテリア相談室（祇園石段下）で開かれた。

■「プラスチック床タイル貼工事」発刊

最近，建築工事のなかでの内装工事で，プラスチック床タイルが使用される度合が多くなってきたが，それだけにコンクリート床か木造床かの床の種類，階段か厨房床か一般床かの使用部所，その他，交通量などによって，適性材料をよく選んで使用しなければならない。その上，床仕上材料としての性能を発揮させるには材料性に合致した合理的な施工法と一体となる必要があるし，維持管理の方法も，その材料に合致したものでなければならない。



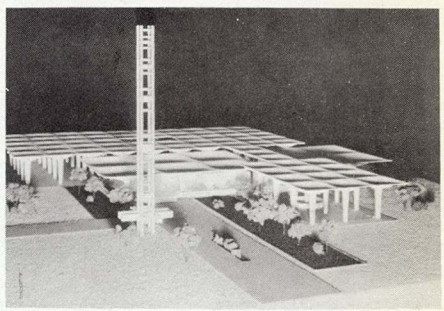
本書は，以上のような意味から，プラスチック系床材の正しい使い方・選び方，工法についてまとまった解説をしている。内容は，新らしい床，床と立地，床と気候，床と下地の乾燥床，床と色彩，床と建物の構造，床材と使用場所，学校・病院診療所・事務所・住宅アパート百貨店……等の床，床タイルの材質，床貼の工法記号と仕様詳細，床材の施工，プラスチック床タイル，接着剤の諸項目に分かれている。

出版：田島応用化工KK（大阪市西区京町堀1-74 電441-5951）。希望者には実費（送料共300円）で頒布している。

■ 大林組の万国博会場特設館モデル案

万国博会場に大林組が数種の特設館模型をつくり，デザイン競争に名乗りした。

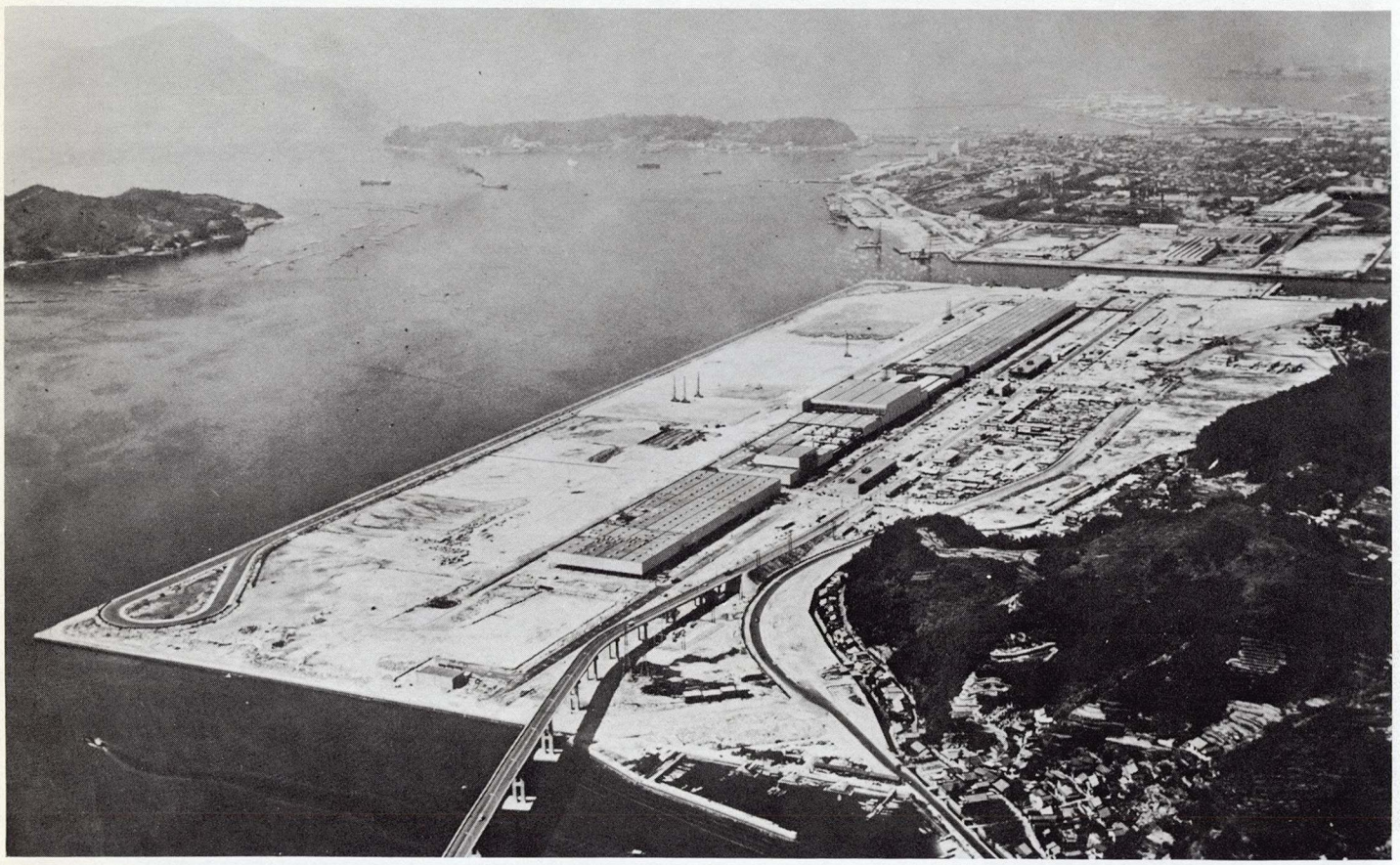
1. 円筒形特設館＝直径42mのアルミかプラスチックの円筒型の薄い壁をつくり，天井を透明な二重のナイロンシートでおおい，そのなかに圧さく空気を入れて屋根とする。内部に同心円に沿って回る移動座席を設け，観客はすわったままで館内の全展示をみることができる。建築面積は1,500m²。
2. スペース・フレーム型特設館＝無数の鋼管を組み合わせて巨大な六角形の構造物をつくり，その下に天井をつりさげ，全体を外側の 6 本の支柱でささえる。同3,600m²。
3. 三角形の集合体特設館＝アルミ板のさまざまな大きさの正三角形建築を組み合わせたもの。同2,700m²。
4. ショックベトン材特設館＝ＰＳコンクリートを振動させてつくった新しいコンクリート板（ショックベトン）を屋根に使い，これを同じコンクリートの「字型支柱でささえる。同2,300m²。（写真）



すぐれた居住性を創造する

軽量気泡コンクリート

シポレックス



東洋工業株式会社宇品工場
設計　白土建築設計事務所
施工　清水建設株式会社
　　株式会社竹中工務店
使用場所　屋根，全面使用

軽　　量（比重 0.5コンクリート¼の重量）

断　　熱（コンクリートの１０倍の断熱性）

耐　　火（法　定　耐　火　材　料）

◆シポレックスは工場、住宅から超高層ビルまで
あらゆる建物の屋根・床・壁・間仕切・耐火被
覆に使用されますが次の建物には特に最適です

1　工期短縮を要するすべての建物
2　空調を要する工場・倉庫事務所住宅等
3　鉄骨大張間の工場・体育館等
4　軽量化を要する高層建築物・軟弱地盤の建物
5　鉄骨耐火構造の建物

SIPOREX

シポレックス販売株式会社

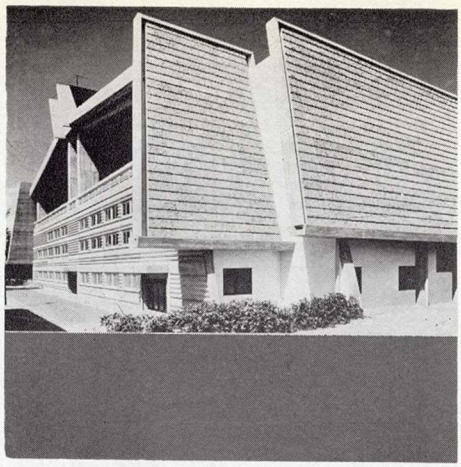
本　　社　東京都千代田区岩本町２ノ１ノ16(森川ビル)
　　電話　東　京（861）代　表　７　２　４　１
大阪支店　大阪市西区京町堀通１ノ125(東洋ビル)
　　電話　大　阪（443）代　表　７　７　４　１
名古屋支店　名古屋市中村区広小路西通３ノ２(大商ビル)
　　電話　名古屋（581）代　表　７　４　２　１

□写真と概要をどしどしお送りください。
凡例：a.所在地　b.建築面積　c.延面積　d.構造規模　e.工　期



190. イヨテツスポーツセンター 屋内スケートプール

設計・監理：KK　三座建築事務所
施工：鹿　島　建　設　KK
a. 松山市福音寺230
b. 3,918.37㎡
c. 4,841.54㎡
d. パラレルワイヤーによる特殊吊屋根方式鋼管構造，一部RC造
e. 昭和41年6月 ～ 昭和41年11月



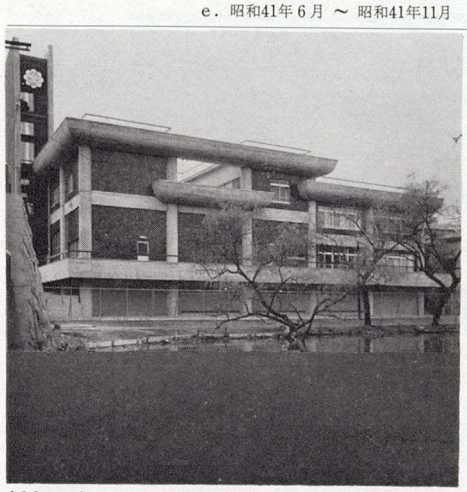
191. 奈　良　県　立　体　育　館

設計：KK　内藤建築事務所
施工：KK　奥　村　組
a. 奈良県橿原市畝傍町川端
b. 本館 3,341.762㎡
c. 本館 5,286.342㎡
d. RC，屋根鉄骨及び鋼管構造
e. 昭和40年10月 ～ 昭和41年8月
特徴：外装・砕石埋込P.C.ブロック鎧貼及び校倉式を形どったP.C.ブロック貼観覧席・P.C.ブロック敷



192. 阪神競馬場スタンド（増改築）

設計：松田，平田，坂本設計事務所
施工：安藤建設KK大阪支店
a. 兵庫県宝塚市鹿塩字堂前10
b. 5,448.78㎡
c. 13,944.76㎡
d. RC,B1,3F,一部屋根のみ鉄骨造
e. 昭和41年5月 ～ 昭和41年11月



193. 金　光　教　天　王　寺　教　会

設計：KK　松村組 大阪本店設計部
施工：KK　松村組大阪本店
a. 大阪市天王寺区茶臼山38番地
b. 650.880㎡
c. 1,743.547㎡
d. RC,3F,P1，納骨堂RC,2F
e. 昭和41年3月 ～ 昭和41年10月
特徴：曲面と直線の構成



194. 浜松シーサイドゴルフクラブ

設計：KK　東畑建築事務所
施工：戸　田　建　設　KK
a. 静岡県磐田市鮫島町
b. 1,750㎡
c. 2,850㎡
d. RC，2F，およびW造1F
e. 昭和41年3月 ～ 昭和41年10月
特徴：海岸強風のため防風のため特に考える。新建材「ストラシット」「アルタップ」を使用する。



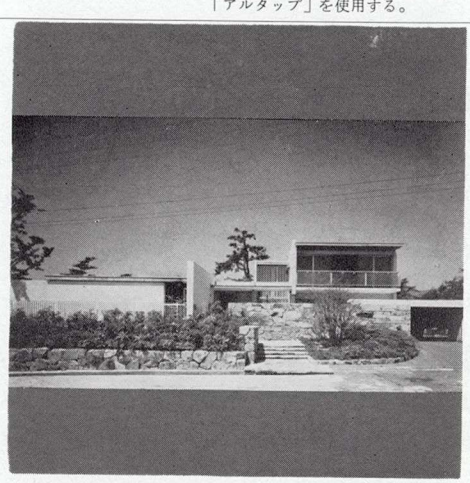
195. 日　本　生　命　静　岡　ビ　ル

設計：KK　東畑建築事務所
施工：清　水　建　設　KK
a. 静岡市御幸町2
b. 1,241㎡
c. 10,180㎡
d. SRC，B1，7F，P3
e. 昭和40年5月 ～ 昭和41年10月
特徴：タワーパーキングを用蔵（28台）



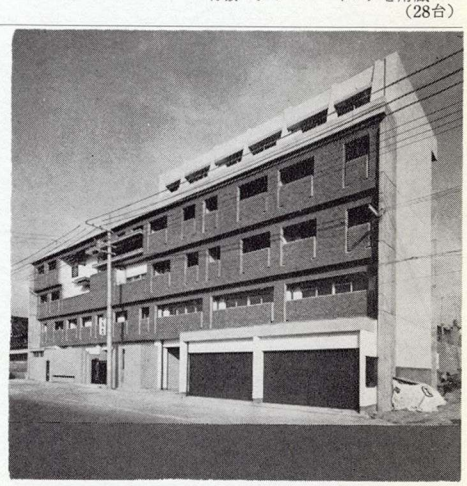
196. 医療法人拓生会桜井病院

設計・施工：大日本土木KK 大阪支店
a. 奈良市今小路町2-1
b. 366.8㎡
c. 1,430.0㎡
d. RC，4F
e. 昭和40年10月 ～ 昭和41年10月
特徴：市街地の救急病院（外科）で遮音効果と最少限の敷地にコンパクトにローコストでまとめた。



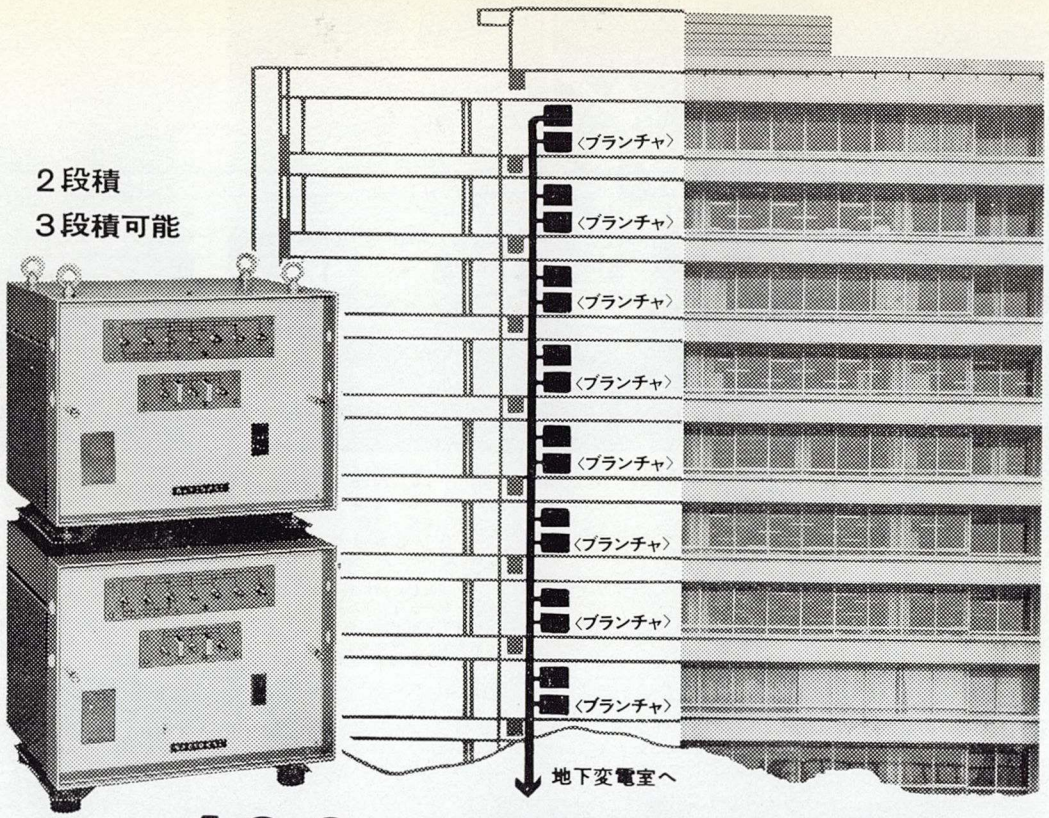
197. D　S　邸

設計：日建設計工務　KK
施工：野村建設工業　KK
a. 西宮市
b. 336.150㎡
c. 411.860㎡
d. RC，2F
e. 昭和40年3月 ～ 昭和41年2月



198. 海　宝　寺　会　館

設計：RIA建築綜合研究所
施工：KK　近畿建設
a. 大阪市南区谷町8の7
b. 328.30㎡
c. 1,374.60㎡
d. RC，5F
e. 昭和41年3月 ～ 昭和41年11月
特徴：仏教会館，寺院庫裡，アパート



大形ビルなどの 400V級配電方式に…

ナショナルトランス〈ブランチャ〉

電源分岐室用乾式変圧器（実用新案・意匠・商標）申請中

■400V級配電の変圧器です。

＜ブランチャ＞は、400V級配電を100V級200V級に円滑に降圧。三相200V級と単相100・115Vの同時使用ができますのでビル・工場・学校・病院などの400V級配電方式の合理化に大きく貢献します。

■積重ね式が特長です。

分岐室を有効に使用するため、難しい条件の積重ね式と結線方式の技術を解決、インピーダンス電圧と位相角を合せて、異種容量〈5KVAと10KVA〉及び〈20KVAと30KVA〉の並行運転ができます。

■諸経費も割引されます。配電方式の合理化により材料費・工事費が減少。また、小形で取扱いが簡単なため設備費・保守費も大へん経済的です。

三相・乾式（H種絶縁）**・二巻線変圧器　容量 5・10・20・30・50KVA**
一次電圧　440V（60%）　415V（50%）　二次電圧　210V－105V
結線方式△－Yノーヒューズブレーカ、防震ゴム取付可能

ナショナル
松下電器

●お問合せは

札　幌（24）9271	東　京（453）3111	富　山（21）8561	名古屋（951）6211	広　島（41）5111	小　倉（53）5221
仙　台（25）8111	横　浜（68）0743	金　沢（61）2125	大　阪（362）5151	高　松（2）1194	鹿児島（3）0671
宇都宮（3）3235	静　岡（54）1241	新　潟（45）6386	神　戸（39）8011	福　岡（28）3331	



クラスメート

20 〔大阪市立都島工業学校建築科昭和13年卒〕



（敬称略）

①上　平　宗　夫
（尼崎市役所建設局建築部　建築指導課長）

②石　橋　久　雄（千代田建設KK　専務取締役）

③岡　本　　豊
（KK京都新聞社施設部　施設部長兼管財課長）

④乾　　亮　三
（大阪府立今宮工業高等学校　建築科長）

⑤奥　山　清治郎
（大阪市立都島工業高等学校　教諭）

⑥三　坂　　実
（一級建築士事務所　創建社　代表取締役）

⑦平　原　鴻　資（不動建設KK　名古屋支店長）

⑧安　川　秀　雄（鹿島建設KK　大阪支店建築部）

大阪・随園（中華料理店）にて

大阪市立都島工業学校建築科昭和13年卒は，幸か不幸か，在学中は同校の黄金時代でしごかれ，卒業すれば戦争たけなわで苦労の連続。今なお苦労が続き，自営組は小企業のつらさをかこち，勤務組は「長」の字のつくパッキング役。師走ともなればその苦労は更に多く，岩崎忠雄（兵庫県自治研修所次長），鹿山冨士夫（大成建設本社設計課長），梶正治（浅沼組資材課長），山本博（銭高組福岡支店長）などは欠席し，出席者８名とはいささか淋しい。

石橋は地味だが機を見るに敏，建設会社を経営するかたわら，セントラルガラスの荷造屋をしている。

乾は頭が切れ，研究心で筋を通す男。国鉄職員から戦後工高教師となり，今や工高における建築教育界のホープ。大阪工大短期大学の講師も勤める。

上平は伊丹，神戸の職業訓練所を経て尼崎市の建築主事に迎えられ，人の好い真面目な本領を発揮している。

岡本は小柄で豪傑型，新聞社の営繕屋としてもそつなく，京都府建築士会理事として活躍する。

奥山は卒業後も母校に残って教鞭をとり，浪速工業会（都工卒全体の同窓会）や青甍会（建築科卒全体の同窓会）の総務役など，高等小使に終始すること35年。

平原は不動建設が滝田建設時代からの子飼の苦労人。在学中から右に出ずる者もなかったアホな話に最近とみに磨きがかかってきたのは支店長の貫録か。

三坂は紳士の旗頭だが，仕事運悪く，満洲高岡組，日建設計工務などを経て今は設計事務所長におさまる。

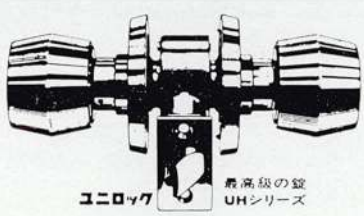
安川は良妻賢母型の真面目一方。卒業後鹿島建設一本で精進をしている。　（奥山記）



豊富な品種と
精密さ、堅牢さ、美しさ、
をそなえたユニロックは
信頼の出来る錠(ロック)です。

有名ビル・ホテルで採用されているのは
完全な品質管理と半世紀にわたる
鍵づくりの技術を高く、評価されて
いるからです。

建設省・日本住宅公団・各府県市庁
有名建築設計事務所ご指定



GOAL IS THE FINEST NAME IN LOCKS AND HARDWARES

株式会社ゴール

本社・工場/大阪市東淀川区三津屋北通4－30 TEL(三〇二)一七七一
九州工場/佐賀県神埼郡三田川町 TEL(神埼)三一七七
営業所/東京・名古屋・札幌・仙台・静岡・金沢・広島・高松・福岡

建築の眼

浦辺鎮太郎
浦辺建築事務所長

金多潔
京都大学教授・工博

矢野豊作
KK藤木工務店常務取締役

桜川貞雄
東洋陶器KK顧問

1月号より6月号まで上記の四人の執筆者で担当してもらいます。

■三笑主義

建築の三役（発注者と設計者と施工者）が，起工式や竣工式のときばかりでなくて，末永く笑顔で友好関係を保っていくというのが三笑主義。その反対は申すまでもなく三泣主義(？)。さて今日の建設界ではいずれが多いか，またいずれが社会から要求されているかと問えば答は決っているはずである。いくら変骨やバカでも三役である限り，仕事をして泣きが入るのを嬉こぶ人間はおらない。事の起りから見れば，みんな三笑に始まっている。それが，いつしか一人が泣き出す，他の一人も貰い泣き。最後は三人が泣き合いとなってしまう。——これではいかんと覚るところがあって，不敏不才ながらも，わが身のため建設界のために三笑主義を旗印にかかげることとなった。施工業界の方に聞けば，三笑主義は昔からあったとのこと。以後回を追って筆者の眼がおよぶ範囲はこの三笑主義に限ることといたしたい。（U）

■建築と精度

一般に日本の建築の施工精度はcmのオーダーであった。もっとも，昔は何分何厘という言葉もあって，たとえば木造建築ではその精度で切り揃えられた　たるき　が軒先を美しく飾ったものである。最近では建築のモジュール化の効果も現われて，新しい建材の寸法がmm単位で正確に造られ，表示されているのは快いことである。

最近，公用でトルコ国へ出張し，中近東諸国の建築現場を見る機会を得たが，地震国でありながら地震荷重を考慮していない設計もさることながら，その施工精度たるや日本人の常識や感覚をはるかに下廻った，実にひどいものであった。とくにトルコの寒村では，彼等は家を建てるのに物差しも使わなければ，下げ振りも用いない。墨出しをするでもなく，ただ彼等の慣習に従がってコンクリートブロックや石や日乾し煉瓦を目測で積み上げていくだけである。古代ペルシャ建築が不整形な建築平面をもつものが多かった理由も，この辺にあるのではないだろうか。（K）

■博覧会建築のイメージ

われわれの若いころ，味も素っ気もない，できるだけゼニをかけないようにした建物を評するときに，〝工場みたい〟といわれたものである。それと同じような意味で，〝博覧会建築〟といえば，チョット見は派手だがハリボテのお粗末な建物の代名詞となっていた。

ところが，工場建築は最近はなかなかイカスものが多く，むかしの工場建築のイメージを脱している。ところで，博覧会建築はどうであろうか。近く開かれる万国博がそれに答えてくれるはずだが，先日も，安っぽいハッタリ建築を建てて天下に醜をさらすくらいなら止めたほうがいいと無駄口をたたいたら，「お前の博覧会建築のイメージは，地方自治体や電鉄の〝大博覧会〟からきている。いやしくも国家的事業だ。予算も時間もチャンとかけて立派なものが造られる」と一笑に附され，大いに恥をかいたが，大いに安心もした。（Y）

■なぜ思い切って洋風にしないのか

便器には洋風の腰掛式と和風のしゃがみ式とがある。私共の会社の納入個数から見ると，多少洋風増加の傾向にはあるが，和風80%，洋風20%と断然和風が多い。洋風は和風に比べて，建築上からも，保健上からも，維持管理の面からも断然すぐれているのに，どうしてこんな数字がでるのだろう。その理由はいろいろあるかも知れないが，便所なんかどうでもよいという惰性が大きいのではなかろうか。公共住宅部品審議会（KJ）では原則として洋風を採用し，最近の公共アパートはほとんど洋風であり，しかも非常に喜ばれている。家庭では洋風で，オフィスでは和風じゃ，能率も上るまい。私共の会社は従業員が7,500人もいるが，全部洋風であり，何の文句もないどころか，大変，特に女子従業員には，喜ばれていることを付加えておこう。（S）



建築用塗料

関西ペイント株式會社

ARCHITECTURE AND SOCIETY

建築と社会

Vol.48 第1号

表紙：都市と建築と人間シリーズ
その1. 個人住居と集合住宅

表紙デザイン：表紙デザイン小委員会 & 菅谷 淳

©

■1967年・第48集・1月号・目次

年頭所感 想い出多き年となるように……東畑謙三……27
委員会活動 日本建築協会常設委員会・本年の抱負……37
コンクール 第12回工高生デザインコンクール入選作
設計課題：博覧会場に建つゲート……38
レタリング I, J……41
読者の頁 明治時代をしのぶ写真（須藤欣二）……45
建築と社会ニュース……47
スケッチブック 最近竣工の新建築9点……49
クラスメート 20. 大阪市立都島工業昭和13年卒(乾亮三, 平原鴻資, 奥山清治郎ほか)……51
建築の眼 担当…浦辺鎮太郎・金多潔・矢野豊作・桜川貞雄……53
海外写真 エル・エスコリアルの宮殿（スペイン）……撮影：徳永正三……57
作品作風 国立劇場……設計監理 基本設計 岩本博行他13名……58
実施設計 建設省営繕局
工事監理 建設省営繕局
施工 (株) 竹中工務店

国立劇場特集

国立劇場の基本設計について……岩本博行・花房文一郎……68
国立劇場の舞台機構……山田寿……70
国立劇場の舞台照明設備について……大野純一……72
録音録画・中継装置について……佐野義人……77
国立劇場建築工事の施工……永田安弘……80
国立劇場の運営について……寺中作雄……82
国立劇場建設計画年表……84
日本の国立劇場……小泉嘉四郎……86

技術の頁 53. 材料部門：国立劇場外壁コンクリートに用いた
ケミカルステイニング……久保田浩典……87
月報 日本建築協会月間の動き（昭和41年11月分）……89

編集人 松井昭光
印刷 昭和42年1月20日
発行 昭和42年1月25日
発行人 福中定三郎
発行所 (社)日本建築協会
大阪市東区北浜3—37
電 大阪231—9648
振替口座 大阪39975
印刷者 網野栄
印刷所 (株)研文社
大阪市北区堂山町66
電 大阪361—2091
売価 1部 300円・送料共

KENTIKU TO SHAKAI No.1 Vol. 48, January 1967

(Architecture and Society)

A Journal of "The Architectural Association of Japan"

Cover design: J. Sugaya

Editor: *Akimitsu Matsui*
Publisher: *Teisaburo Fukunaka*
Published by
The Architectural Association of Japan.
37, 3-chome, Kitahama, Higashi-ku, Osaka, Japan.
Price: *single copy price ¥300*

CONTENTS

New Years Impression	27	by *Kenzo Tohata*
Committees Activities of The Architectural Association of Japan	37	
Students' Projects Accepted for Design-Contest of "The Gate of Exhibition Ground"	38	
Lettering: Alphabet I, J.	41	
Column for Readers	45	
News for Architecture and Society	47	
Column of New Buildings	49	
Class-mates	51	
Essayes ("Kentiku no Me")	53	by *S. Urabe, K. Kaneda, T. Yano & S. Sakuragawa*
Photograph: Palace at El Escolial near Madrid, Spain	57	photo: *Masami Tokunaga*

WORKS OF NEW ARCHITECTURE ASSESSED

National Theater of Japan	58	basic designer (Competition winner): *Hiroyuki Iwamoto* executive designer: *The Ministry of Construction* builder: *Takenaka-Komuten Co., Ltd.*

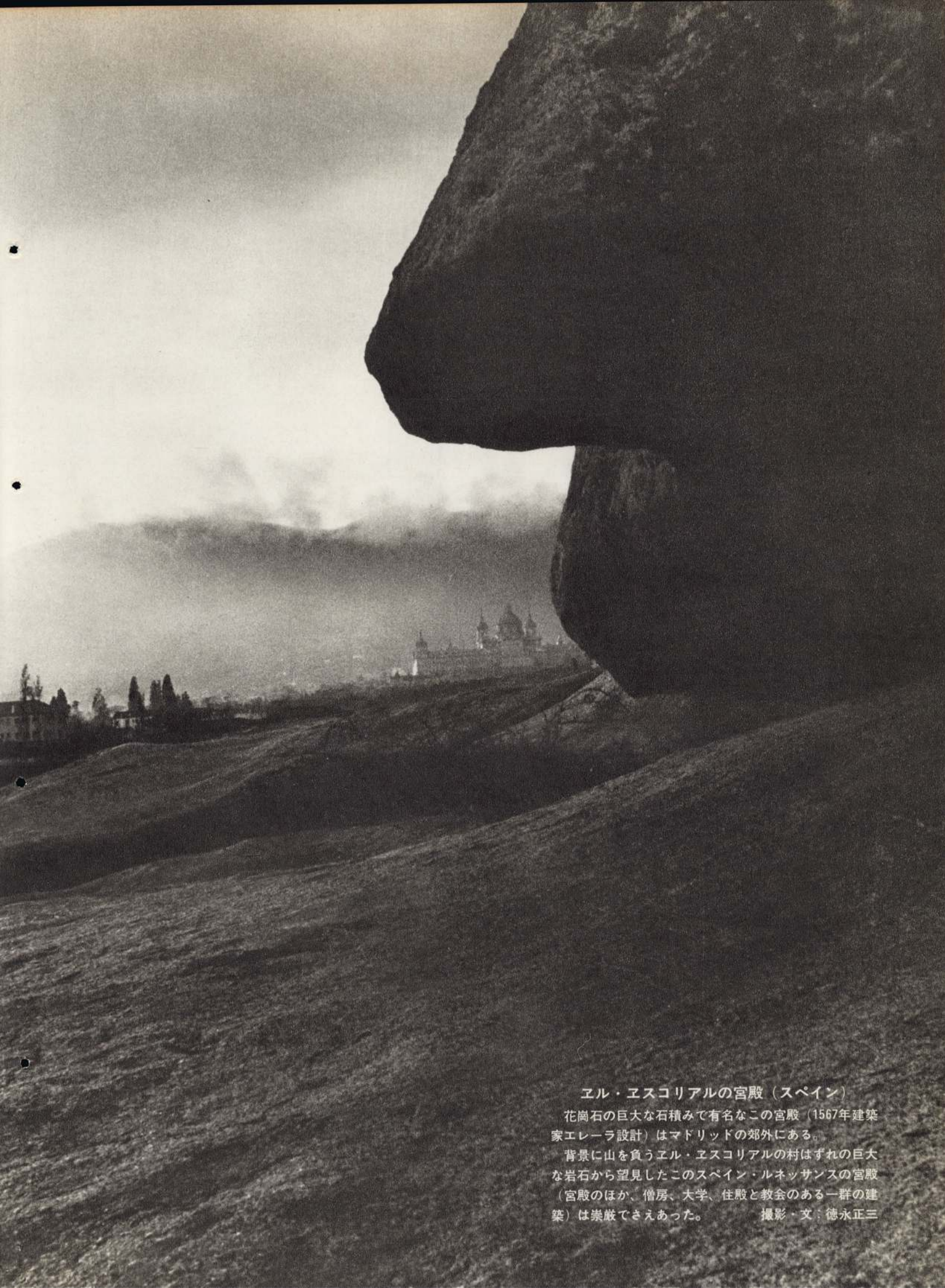
SPECIAL FEATURE: On The NATIONAL THEATER OF JAPAN

Basic Design of "National Theater"	68	by *Hiroyuki Iwamoto & Bunichiro Hanafusa*
Mechanism of Stages in "National Theater"	70	by *Hisashi Yamada*
Lighting Equipment for Stages in "National Theater"	72	by *Junichi Ohno*
On The Recording, Video Recording & Remote Equipments	77	by *Yoshito Sano*
On The Construction of "National Theater"	80	by *Yasuhiro Nagata*
Concerning Operation of "National Theater"	82	by *Sakuo Teranaka*
Chronicle on "National Theater"	84	
On the National Theater in Japan	86	by *Kashiro Koizumi*

COLUMN OF ENGINEERING

The Chemical Staining Used in Exterior Precast Concrete Finishing of "National Theater"	87	by *Hirosuke Kubota*

BULLETIN *27,89*



エル・エスコリアルの宮殿（スペイン）

花崗石の巨大な石積みで有名なこの宮殿（1567年建築家エレーラ設計）はマドリッドの郊外にある。

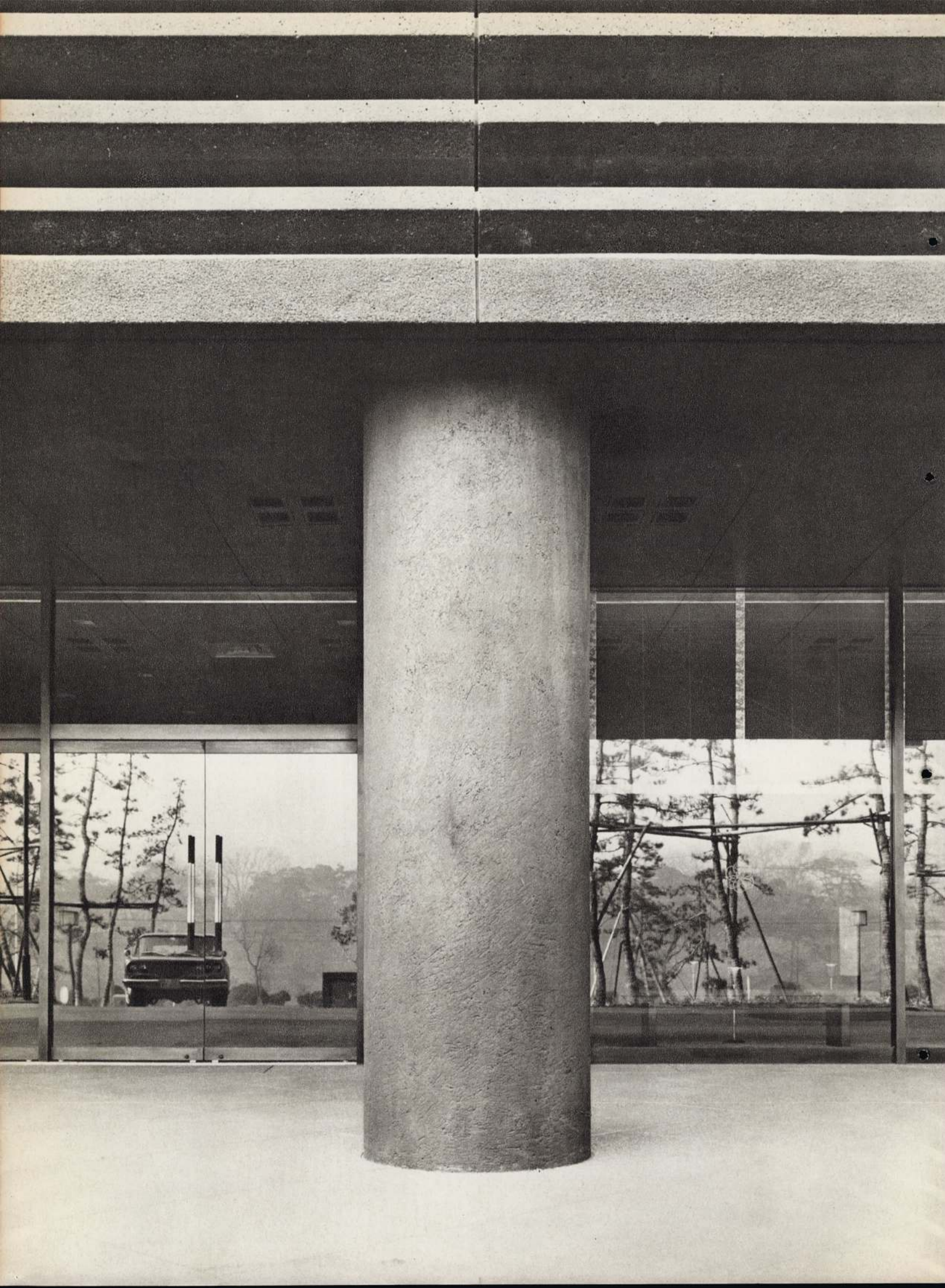
背景に山を負うエル・エスコリアルの村はずれの巨大な岩石から望見したこのスペイン・ルネッサンスの宮殿（宮殿のほか、僧房、大学、住殿と教会のある一群の建築）は崇厳でさえあった。　　撮影・文：徳永正三

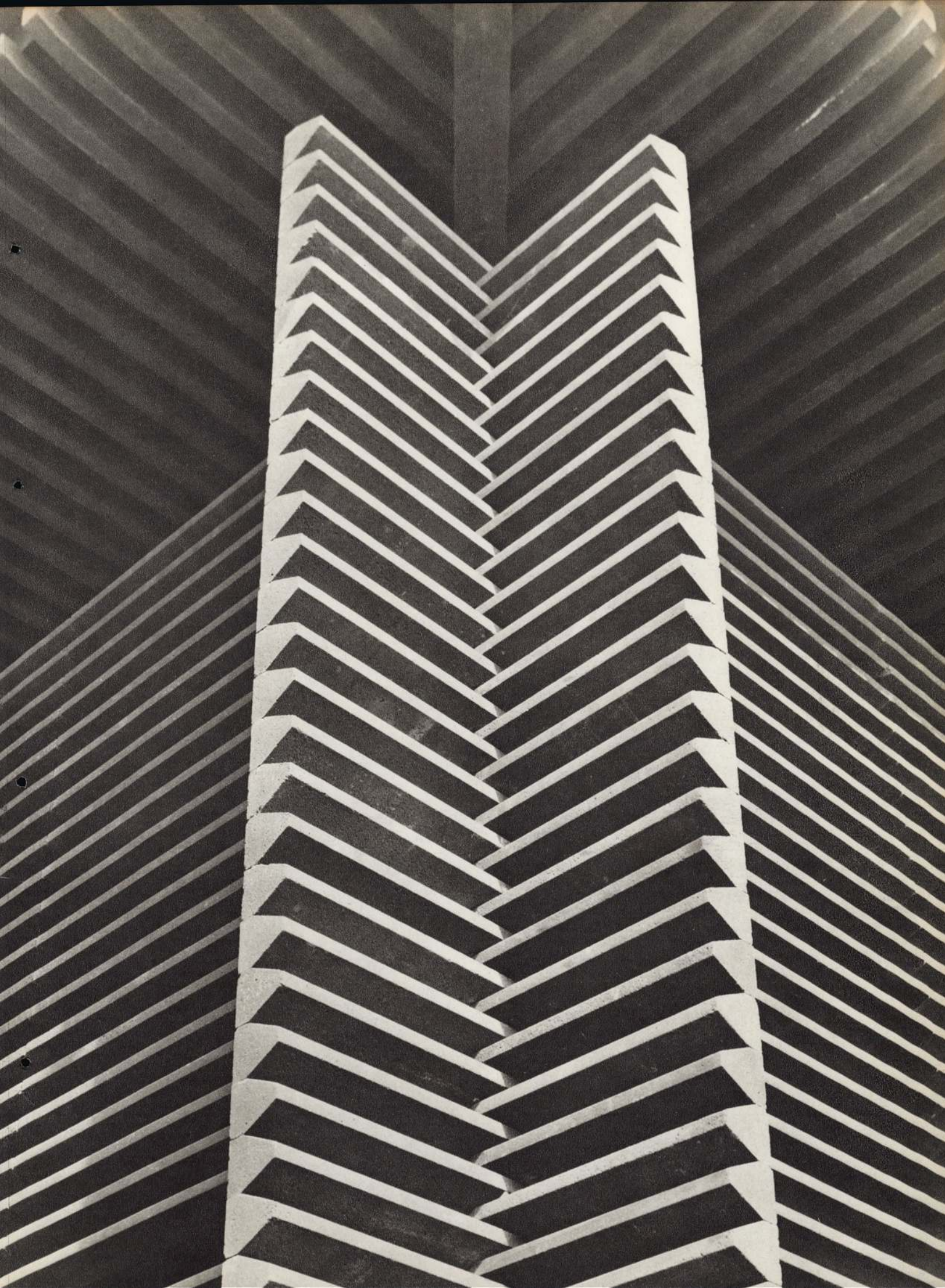
国立劇場特集



（宮内庁提供写真）









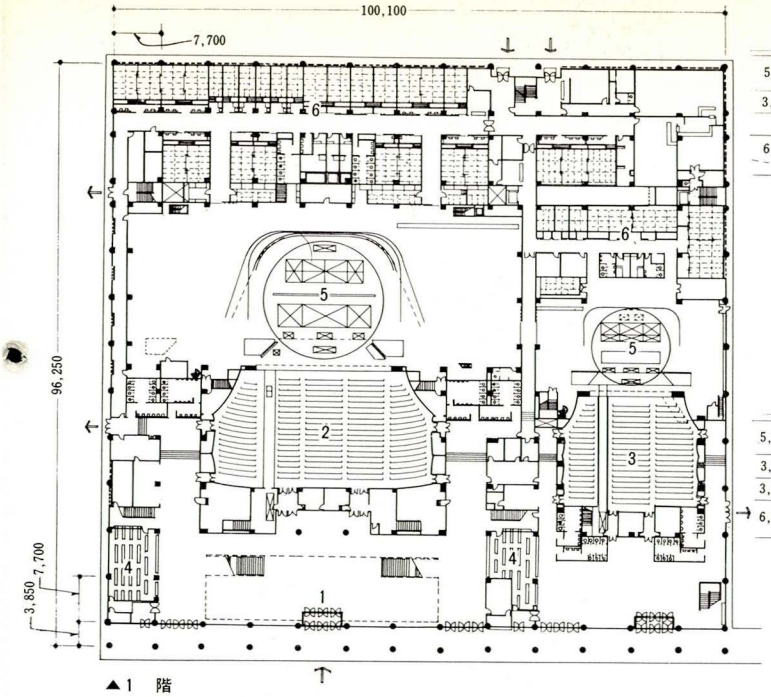
大ホール



小ホール

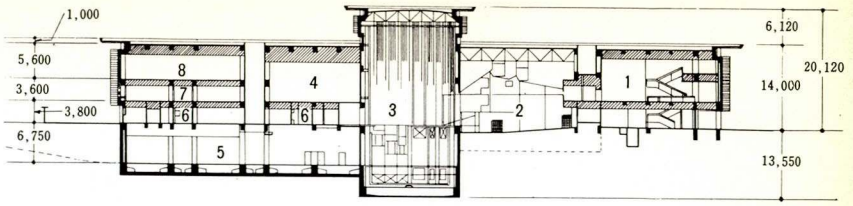


大ホールロビー



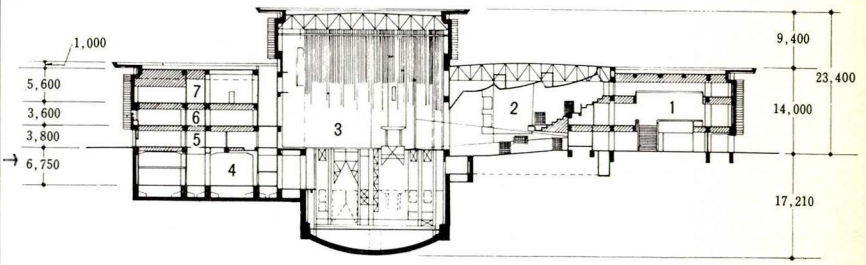
▲1　階

1.玄関広間　2.大ホール客席　3.小ホール客席　4.クローク　5.舞台　6.楽屋



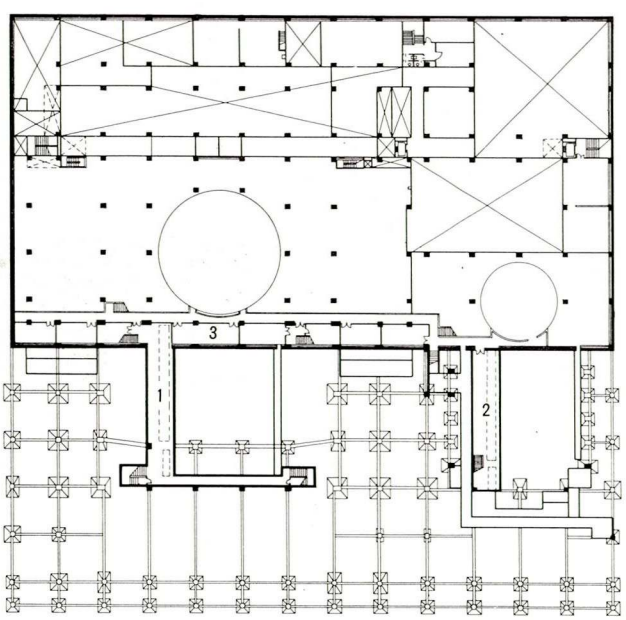
▲小ホール断面

1.食堂　2.客席　3.舞台　4.総稽古室　5.大道具製作室　6.楽屋　7.事務室　8.資料展示室



▲大ホール断面

1.ラウンジ　2.客席　3.舞台　4.機械室　5.楽屋　6.事務室　7.図書室

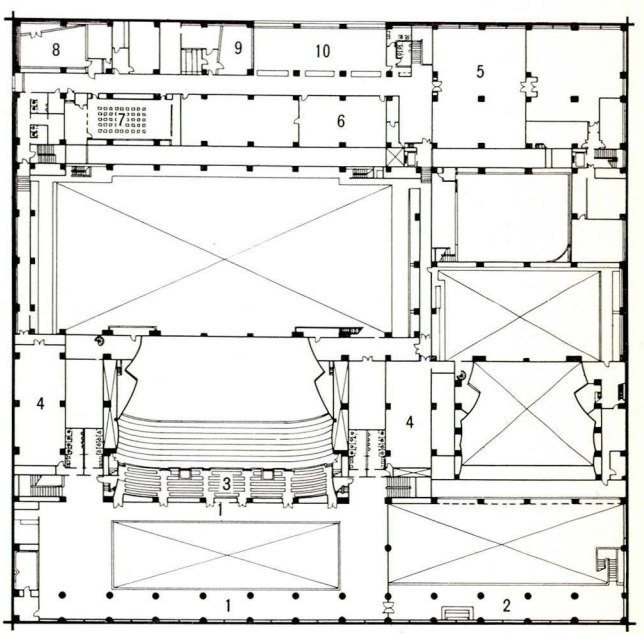


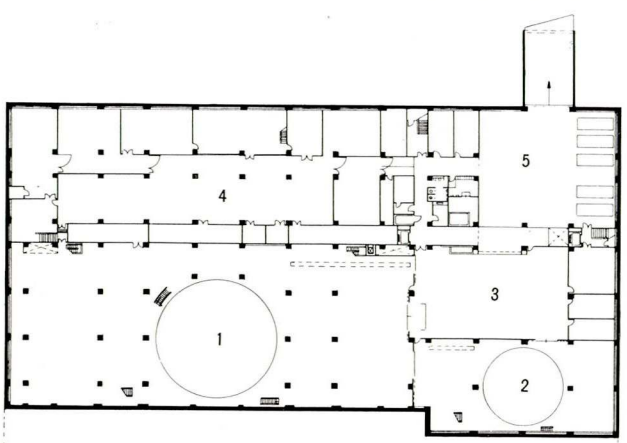
◀中地階

1.大ホール鳥屋連絡通路
2.小ホール鳥屋連絡通路
3.小道具倉庫

3　階▶

1.ラウンジ
2.喫茶軽食堂
3.客　　席
4.客席空調機室
5.資料展示室
6.図書閲覧室
7.試 写 室
8.録 音 室
9.試 聴 室
10.資料関係事務室



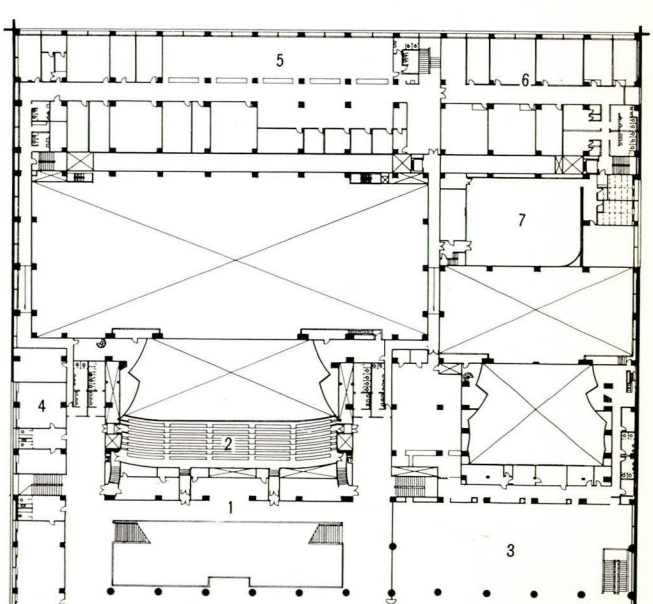


◀地　階

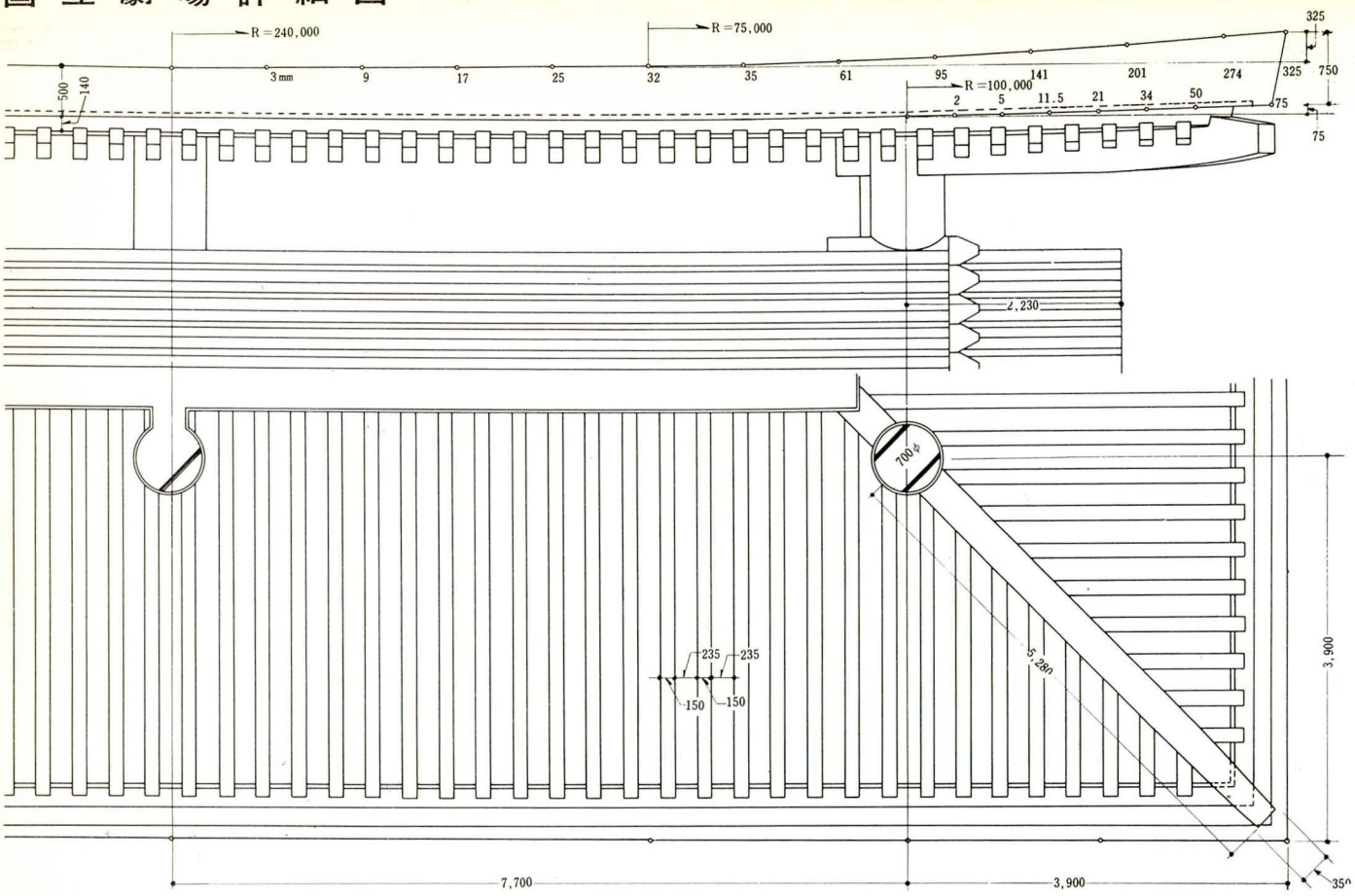
1.大ホール奈落
2.小ホール奈落
3.大道具製作室
4.機械室
5.ローディング

2　階▶

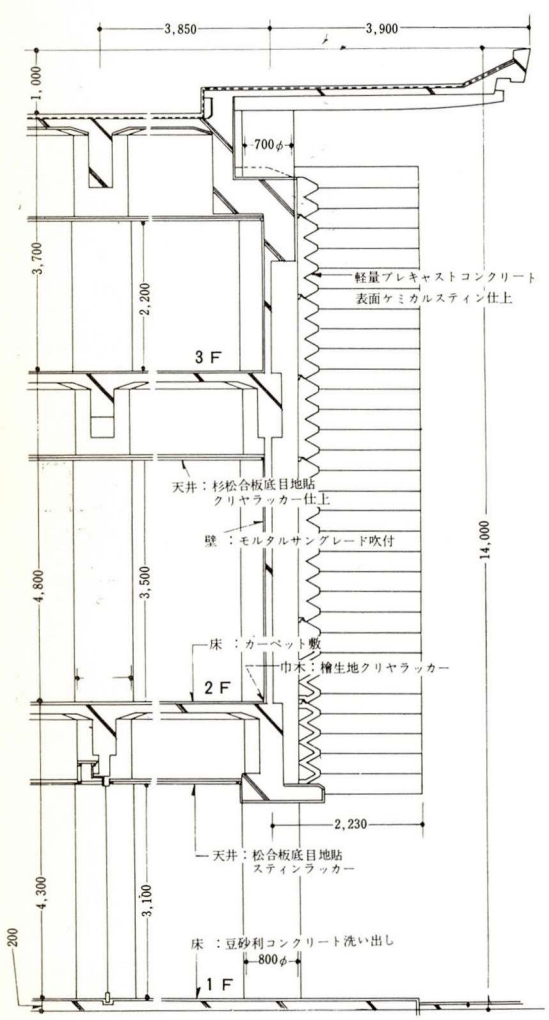
1.ラウンジ
2.客　　席
3.食　　堂
4.特 別 室
5.管理事務室
6.養成関係諸室
7.総稽古，録画スタジオ



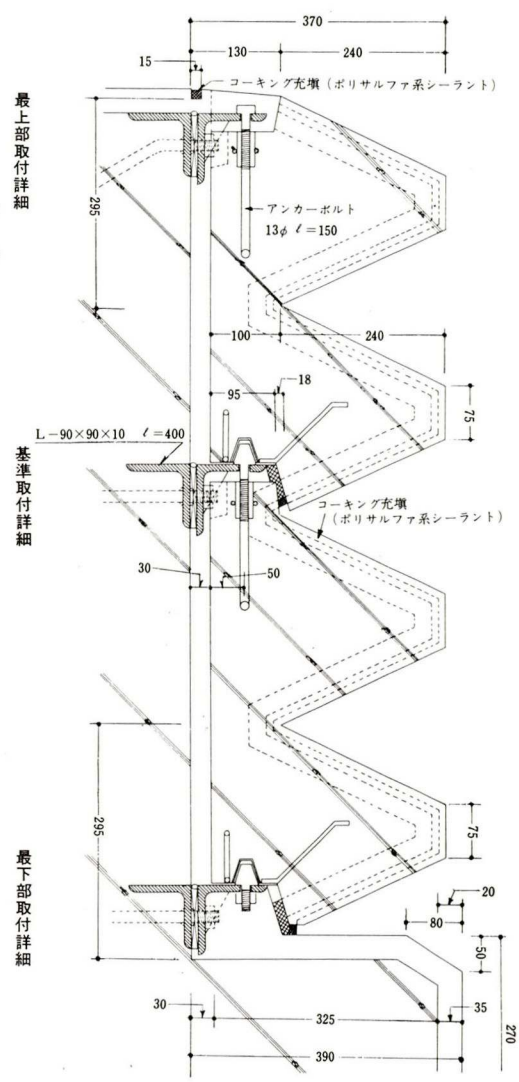
国立劇場詳細図



庇，棰型詳細図



矩計図



校倉詳細図

国立劇場

設計監理 基本設計：岩本博行他13名
実施設計：建設省営繕局
工事監理：建設省営繕局

施　工 竹中工務店

所在地 東京都千代田区隼町13番地

敷地面積 30,047.83㎡

構造規模 鉄骨鉄筋コンクリート造
地上3階・地下2階
延面積：26,567.00㎡
建築面積：10,807.10㎡
軒高：一般部分　14m
最高部分　23.4m

内　容 大劇場（客席数 1,746）・小劇場（客席数630）資料展示室・図書室・録音録画室・試写室・演劇舞踊演習室・管理関係室・駐車場

工　期 昭和39年8月～41年10月

表面仕上「ケミカルステイン」については本誌「技術の頁」参照

国立劇場特集

1．基本設計
2．舞台機構
3．舞台照明設備
4．録音録画・中継装置
5．施工
6．運営
7．建設計画年表



国立劇場の基本設計について

(株)竹中工務店設計部長　岩　本　博　行
同　設計部　花　房　文一郎

国立劇場は，わが国の伝統芸能の公開をはじめとし，芸能伝承者の養成，芸能に関する調査研究，記録の作成資料の保存展示等，芸能に関するあらゆる施設を備えている。

配　置　計　画

敷地は皇居をめぐる桜田堀に面し，景観にめぐまれた三宅坂の旧パレスハイツ跡で3万4000㎡と広い面積であるが，実際には地下に2本の高速道路が，南北，東西に通り，北側には高速道路の換気塔が建っている。

建物は一つのブロックにまとめ，高速道路を外して，すなわち前面道路より50m程後退して敷地のほぼまんなかに置き，松の木立を配した前庭と後庭をつくって，三方を塀で囲み，お濠端の比類ない景観に展開させることにより，現代のあわただしい世の中にあって，古典芸能を観賞する雰囲気をかもしだすための場をつくろうと意図した。200台の駐車場は北側の塀の外に配置して，大道具等の搬出入およびサービスの進入口は，西側特別区道から地下道によるので，この環境を邪魔することはない。（しかしこれはその後いろいろの条件でそうはいかず，塀も作られなかった。）

平　面　計　画

まず所要諸室の面積から1スパンを7.7mのグリットに決め，東側に公開施設を，西側に資料，調査，養成を含めた管理施設を光庭を挟んで有機的につなぎ，全体を約100m四方の方形の1ブロックにまとめた。

東側の公開施設は大小のホールを併列させ，その間に共通の管理部門を設け，大小ホールから最も近い2階に共通の食堂，喫茶がある。

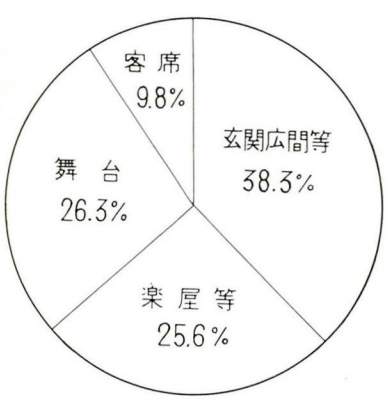
西側の管理施設は，1階に大小ホールの楽屋を配置し，しかも床山，衣裳，小道具，浴室，理髪室，楽屋の食堂まで同じ階にあり，床下巾も広く，舞台面と同一レベルで出演者の便利なように考慮した。2階には管理，養成関係を置くことにより，管理部門は他の部門とそれぞれ最も連絡しやすい中枢に位置することになった。3階には資料，調査関係をまとめて置いた。

すなわち各々の施設が，もっとも連絡がよいように同じ階において処理できるように配置した。地階には，機械室および奈落と大道具製作関係を設けてあるので，大小ホール舞台との連絡は良好である。諸材料は西側特別区道から地下をもぐって搬入されるが，この地下道は敷地地盤面と特別区道の高低差を利用して設けられているので，楽に搬出入ができる。

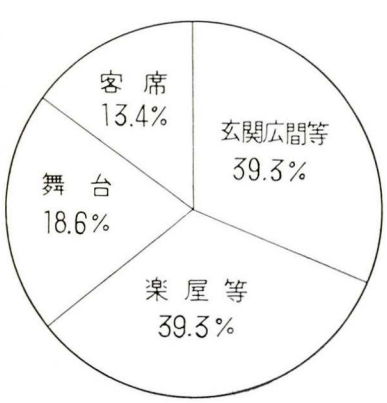
なお，この劇場は客席部分に比して，舞台，楽屋，広間等が広くとってあるのが特徴である。（図参照）

断　面　計　画

平面の配置で，内部空間の大きいもの，同種類のもの天井高の同じものと高さ関係の



大ホール面積割合



小ホール面積割合



調整を整理して，構造を簡明にした。劇場のポイントとなる観客席の床勾配は大ホールの場合，1階では視差3cmとして舞台面をにらみ，2，3階席は，花道のスッポンの位置を焦点として段床の勾配を決めた。小ホールの床勾配も視差3cmで舞台面を焦点としてある。

大小ホールとも伝統芸能のための劇場であるから，その目的に合せて断面形も邦楽演奏または台詞が明瞭に聞えるように，残響時間を一般劇場より短い1秒前後を目標に音響計画をして，空間を決めた。

また舞台の葡萄棚までの高さも，大小ホール共プロセニアムの高さの3倍と非常に余裕のある高さをとってある。

総じて，動線関係は，垂直関係の行動を少くし，水平関係の行動を主として配置計画をしたので，断面関係の処理は簡単である。

デザイン

伝統芸能を保存振興するために公開を行なう劇場であるから，伝統的な日本のかたちと，底に流れる国民感情の簡明直截な表現を根本として，現代的視野に立ってデザインした。

すなわち外観においては，正倉院を想わせる壁面処理であるが，人工軽量骨材を使ったプレキャストコンクリートで校倉式を表現し，古建築の軒裏を想起する椎型をもった庇と小壁，柱もすべて同一仕上材料で単純にして密度の高い重厚な表現をもって，日本の伝統的精神を表現した。

外部の色は，日本の風土に溶けこんだ，あたかも年代を経た古い木の色の持つ重厚な感じを出すために，特に研究に苦心し，特殊な化学薬品を何工程かに分けて塗り，コンクリートのアルカリと化学変化させ，安定した素材としての色を出している。外部はこの焦茶色で全面的に統一した。

内部に入っては，古典芸能を演ずる劇場にふさわしく観客に対して舞台の感動をより効果的に伝えるため，材料要素を極限にまで整理，純制して日本的な簡明なデザインとした。劇場が開かれたときを想像した場合，視覚に訴える要素は非常に多い。人が入り，美しい日本の着物，人形，家具，絵画，彫刻，植木，照明これらの要素が調和して，劇場内の雰囲気が醸成されて空間が生きてくるということを期待して，建築の仕上は派手にすることなく，控え目にした方が，より効果的だと判断した。この思想で大小ホール，ロビー，食堂等一切を貫いた。

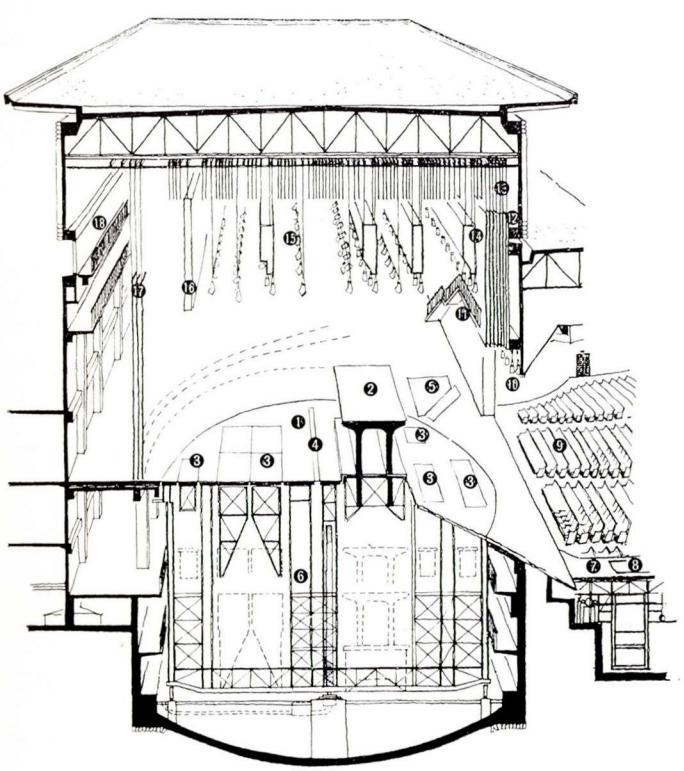
すなわち杉柾合板の天井と，日本的な部戸と格子を配した聚落壁と，桧生地仕上の巾木，壁と同色のカーペットを敷き込んだ床で空間を日本的なものにデザインした。

国立劇場の舞台機構

建設省営繕局監督課　山田　寿

概　要

ここにある大・小二つの劇場は，ともにわが国の古典芸能上演を主体とした舞台機構であるが，小劇場は特に文楽の上演も考慮されている。舞台の額縁（プロセニアム）は固定式で，音響的にも残響時間が短くなっているので，プロセニアムの高さが高くなければならないものや，音楽が主体となるものには使用しにくいが，その外のものなら古典芸能以外の演劇にも，できるだけ便利なように作られている。例えば歌舞伎舞台の特徴の一つである花道も，これが不必要な演劇の場合には動力で床下に下げ，その部分を客席とすることができるし，明治以後歌舞伎の音楽伴奏の場となった感がある上手・下手の大臣囲も舞台袖に移動し吊物昇降装置で吊り上げ格納しておくことが可能である。そのほか，既存の商業劇場に較べ多くの長所を備えているが，次にその主な点について説明する。



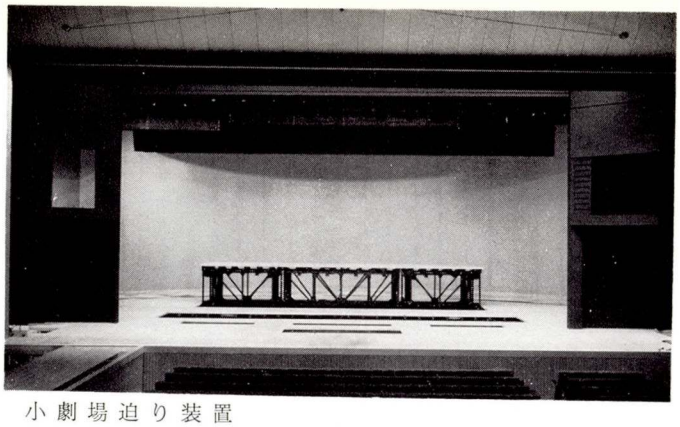
舞台の断面図　1.回り舞台　2.大迫り　3.迫り　4.ドブ迫り　5.チョボ床　6.奈落　7.花道　8.すっぽん　9.客席　10.プロセニアムボーダーライト　11.プロセニアムブリッジ　12.防火戸　13.どん帖　14.フライブリッジ　15.ボーダーライト　16.スクリーン　17.ホリゾント　18.ギャラリー

回転舞台

大劇場の回転舞台は直径が20mあり，日本では一番大きく，舞台間口に対する比率も最も大きい方である。これが大きいということは，回り舞台上に2杯または3杯に装置を飾り，回転による舞台転換を行なう場合，上手・下手に飾り付けを継ぎたす部分が少なくてすみ，場面をスムースに変えることができる。またこの回転舞台内に16台の迫りが組み込まれており，回転体内の数としては最も多い。これを回す方法は外周に細いピッチで取り付けた丸棒と建物床に固定された駆動機のギヤーをかみ合せ，底についている24個の車輪でレールの上を回転させる。回転舞台の高さは約13mであるが，これは楼門五三桐にでてくる南弾寺の楼門のような2階建の屋台を奈落で組み，迫り上げてくるような場合に，この程度が必要となる。

小劇場の回転舞台は直径が約13mであるが，舞台間口に対する比率などは大劇場の場合とほぼ同じである。ただ小劇場の場合は文楽を上演する関係で，人形を操る太夫の活動する場として舞台前方に幅約2m位を36cm下げてある。回転舞台もそこは同じように下がっている。文楽以外のときは，この部分に置床を置いて使用する。またその支持方法と回転方法も大劇場と異り，中央に直径2mの支持台があって，これに2個の大きなベアリングを取付け，回転舞台を支えている。駆動方法は，回転体の外周に取り付けた堅木とこれに巻き付けたワイヤーロープとのフリクションによっており，このような支持回転方法は日本ではもちろん初めてであるが，世界的にもあまり例のない方法であろう。

大・小劇場とも，正面停止と180°回転による裏面停止の場合は微調整装置で停止位置を正確に保つことができるが，これは舞台面に臨時のレールを敷き，回転舞台の臨時レールに，車輪付の屋台を滑り込ませたり，引き出したりして舞台転換を計る場合に用いられる。もっとも屋台の停止位置があまり正確な必要が無い場合や，暗転で停止位置の修正が自由に行なえる場合には，レール無しで車輪付の屋台（ステージワゴン）を移動させても十分場面転換は行なえる。この点ここの大劇場は舞台袖が相当広いので，ステージワゴンを多数セットしておき，次々に短時間で簡単に舞台を変えることができる。



小劇場迫り装置

迫り装置

大劇場は回転舞台に16台，下手大臣囲前に1台，花道迫りの中に2台，大小様々な迫りが有り，そのうち，大迫り3台と中迫り8台は，それぞれが1組になっており，単独でも昇降するが，高さをそろえたり，いろいろに高低差を付けたりしたものを電磁クラッチで拘束し，同時に昇降させることもできる。これは大きな道具を奈落から上げたり，屋台作りに便利なばかりでなく，演出によっては，演技者の出入りなどにもいろいろ変化を与えることができよう。

小劇場の道具迫り6台も同様に単独または拘束運転が可能である。大劇場は大迫りと中迫りがスクリュー駆動，その他はワーヤーロープにより駆動伝達をする。小劇場は道具迫りがチェーン駆動，その他はワイヤーロープによっている。迫りに乗り込んだ演技者の衣服などがスクリューに巻き込まれないようにスクリュー前面は鉄板で覆ってある。また各迫りの出入口付近はI.T.V.カメラで監視しており，その状態を舞台の総合操作盤にあるテレビで受像できる。出入口にある安全棒は人の乗り降りや，道具の積み降しの際は上げておかねばならぬが，これが上っていると，舞台の操作盤では運転できないようになっている。



小劇場吊物装置

花道迫りにある「すっぽん」は2台1組であるが，歌舞伎の仙台萩で鼠が花道に逃げ込んで来て，入替りに仁木弾正が下から迫り上るような場面では，「すっぽん」床が下に降りて仁木弾正が乗り込んでいる姿が2階席から見すかされないよう可動式の蓋ができるようになっている。この場合，鼠が逃げ込む方の「すっぽん」も可動蓋をしておく。

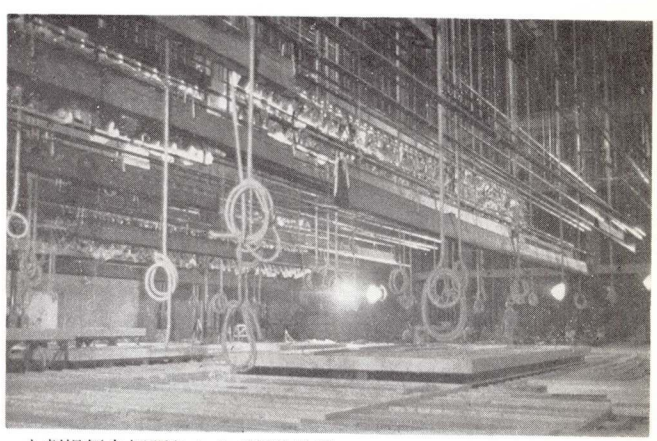
吊物装置

照明，幕，背景，道具などを昇降させる吊物装置は大劇場に90数本，小劇場に50数本あるが，それぞれこの程度の奥行の舞台としては最高の数で，そのほとんどが電動昇降である。吊物を昇降させる舞台の高さはプロセニアムの高さの3倍で舞台面から約18mある。

どん帖は大・小劇場共それぞれ3本あり，正倉院にある図柄や，桃山時代の図柄を綴織したものである。昇降速度は2段または3段に変えることができる。舞台と客席を仕切る防火扉は火災の際に自由に排煙ができるように下の方に排煙扉を備えている。

舞台の袖の方には奈落で製作された背景を舞台に吊り上げる大道具搬入装置と「どぶ」溝があり，相当に巾の広いものでも吊り上げることができる。その奈落には外部からトラックが自由に出入できる。種々の色の照明を当てて舞台に蒼空の感じを出すには，ホリゾントバックを用いるが，当劇場は大・小劇場共昇降式のホリゾントバックである。（ほかに巻取式のものとか，球形の曲面を持ったものなどがあるが，巻取式は布にしわが寄りやすいし，球形面であると，他の吊物装置が使いにくいという不便がある。）

大劇場の場合は，このホリゾントバックの前に継目無しの沙幕があって一層自然の空の感じを表現できる。この沙幕の使用



大劇場舞台板張りおよび吊物装置

は日本では初めてであるが，欧米の一流劇場では常識化しているものらしい。小劇場は回転舞台の外側を半円筒形に囲んだ大ホリゾントの外に，舞台の前方だけを囲む中ホリゾントがあり，演出上で小廻りの利くようになっている。花道の突当りにある揚幕の内（鳥屋）には奈落から大道具を吊り上げるためのホイストがある。

映写幕も車の付いた可搬式で普段は横にずらして昇降装置で吊り上げておき，必要なときだけ降して定位置に移動する。スクリーンの映写面は大劇場は幅と高さを自動調整でき，小劇場は幅だけ調整できる。これらの吊物用の巻揚機はすべて舞台袖のキャットウオークと「すのこ」の上に取り付けられており，上演中の操作は舞台面の総合操作盤において，迫りや回転舞台と共に行なわれる。

国立劇場の舞台照明設備について

建設省営繕局設備 電気設計第1課係長
大野純一

国立劇場は，周知のとおり，わが国伝統芸能の公開上演を主目的として設立されたものであるが，このほか伝統芸能の伝承者の養成，資料のしゅう集，広報活動などを行なったり，貸劇場として使われたりもする。このような多様な使用法を考慮し，またわが国唯一の国立劇場として，そして国際的な建築物として地位を考え，本劇場の舞台照明設備については，極めて高度なものを設備している。

以下本劇場の舞台照明設備について紹介する。

1. 設備内容

1-1 大ホール

イ）舞台面

本フットライト		60W	120灯	12回路	
フロアコンセント					
舞台前	1口用	30A	10ケ	5〃	
両サイド	4口用	30A	18ケ	36〃	
〃	1口用	50A	4ケ	4〃	
盆中	3口用	30A	4ケ	20〃	
〃	4口用	30A	10ケ		
迫上中	2口用	30A	10ケ		
〃	4口用	30A	1ケ		
舞台奥	4口用	30A	2ケ	12〃	
ロアホリゾントライト		200W	96灯		中ホリ用
		200W	176灯		大ホリ用

ロ）舞台上部

プロセニアムボーダライト	200W	100灯	16回路	
プロセニアムスポットライト	1000W	60台	20〃	
第1ライトブリッジ				
第1ボーダライト	200W	88灯	16〃	
第1エリヤライト	1000W	60台	30〃	
コンセント	50A	5ケ	5〃	
第2ライトブリッジ				
第2ボーダライト	200W	100灯	16〃	上，中，下，別昇降
第2エリヤライト	1000W	60台	30〃	
第3ボーダライト	200W	100灯	16〃	〃
ボーダコンセント	20A	12ケ	6〃	
第3ライトブリッジ				
第4ボーダライト	200W	100灯	16〃	〃
第3エリヤライト	1000W	60台	30〃	
サイドホリゾントライト用コンセント	20A	16ケ	8〃	
中ホリゾントライト	500W	144台	24〃	〃
第5ボーダライト	200W	112灯	16〃	〃
ボーダコンセント	20A	12ケ	6〃	
第6ボーダライト	200W	112灯	16〃	〃
ボーダコンセント	20A	12ケ	6〃	
サイドホリゾントライト用コンセント	20A	8ケ	8〃	
第4ライトブリッジ				
第7ボーダライト	200W	108灯	16〃	
第4エリヤライト コンセント	20A	30ケ	20〃	
サイドホリゾントライト用コンセント	20A	16ケ	8〃	
特殊効果器		10台		
第8ボーダライト	200W	88灯	16〃	
ボーダコンセント	20A	12ケ	16〃	
アッパーホリゾントライト	500W	416台	64〃	
トーメンタルスポットライト	1000W	16台	16〃	昇降式
第1タワースポットライト	1000W	16台	8〃	〃
第2タワースポットライト	1000W	16台	8〃	〃
ギャラリーコンセント	30A	20ケ	10〃	〃

ハ）フロント照明

第1サイドフロントスポットライト（2FL）	1000W	26台	16回路	
ACアークスポット	50A	4台	4〃	
第2サイドフロントスポットライト（3FL）	1000W	20台	10〃	
ACアークスポット	50A	4台	4〃	
第1シーリングスポットライト	1000W	50台	25〃	マグノカラー26台付
コンセント	50A	6ケ	6〃	
第2シーリングスポットライト	1000W	50台	25〃	マグノカラー24台付
	1500W	16台	8〃	
キセノンピンスポット	1000W	6台	6〃	
センタースポットライト				
ACアークスポット	50A	6台	6〃	
キセノンピンスポット	1000W	6台	6〃	
万能効果器，複式				
揚幕DCアークスポット	75A	2台	2〃	
監事室 〃	75A	2台	2〃	
中継室 〃	75A	2台	2〃	組立可搬式

ニ）花道照明設備

本花道照明				
フットライト	60W	160灯	8回路	80灯2列
サイドスポットライト	1000W	6台	3〃	第2サイドフロント上手
天井スポットライト	500W	8台	4〃	客席大天井
	300W	6台	2〃	客席2FL下天井
揚幕スポットライト	1000W	2台	1〃	
仮花道照明				
フットライト	60W	56灯	2〃	可搬式
サイドスポットライト	1000W	6台	3〃	第2サイドフロント下手
天井スポットライト	500W	8台	4〃	客席大天井

ホ）移動器具

フレネルレンズスポットライト	500W	30台		
〃	1000W	40台		
〃	2000W	20台		
平凸レンズスポットライト	500W	20台		
〃	1000W	40台		
狭角フレネルレンズスポットライト	1000W	40台		
フットスポットライト	500W	10台		
フラットライト	1000W	15台		
ストリップライト 100W×12灯			20本	
〃 100W× 8灯			30本	
〃 100W× 4灯			10本	
細目ストリップライト 40W× 6灯			5本	
附属品			1式	

ヘ）出待照明設備

楽屋出待照明	60W	48灯	8回路	上，下，入口各24灯1組

1-2 小ホール

イ）舞台面

本フットライト		60W	72灯	12回路	
フロアコンセント					
舞台前	1口用	30A	4ケ	2回路	
〃	2口用	30A	2ケ	2〃	
両サイド	3口用	30A	8ケ	18〃	
〃	4口用	30A	6ケ	12〃	
〃	1口用	50A	4ケ	4〃	
盆中	4口用	30A	4ケ	17〃	
〃	3口用	30A	4ケ		
迫上中	2口用	30A	5ケ		
	4口用	30A	1ケ		
舞台奥	4口用	30A	2ケ	8〃	
ロアホリゾントライト		200W	108灯		

ロ）舞台上部

プロセニアムボーダライト	200W	64灯	12回路
プロセニアムスポットライト	1000W	18台	18〃
第1ライトブリッジ			
第1ボーダライト	200W	56灯	12〃
第1エリヤライト	1000W	40台	20〃
第2ライトブリッジ			
第2ボーダライト	200W	72灯	12〃

第2エリヤライト	1000W	40台	20〃	
第3ボーダライト	200W	72灯	12〃	上，中，下，別昇降
ボーダコンセント	20A	12ケ	6〃	
サイドホリゾントライト用コンセント	20A	8ケ	8〃	
中ホリゾントライト	500W	96台	24〃	〃
第3エリヤライト	1000W	30台	20〃	
サイドホリゾントライト用コンセント	20A	16ケ	8〃	
第4ボーダーライト	200W	72灯	12〃	〃
ボーダコンセント	20A	12ケ	6〃	
第3ライトブリッジ				
第5ボーダライト	200W	64灯	12〃	
第4エリヤライト				
コンセント	20A	20ケ	10〃	
サイドホリゾントライト用コンセント	20A	16ケ	8〃	
特殊効果器	10台			
アッパーホリゾントライト	500W	184台	40〃	
トーメンタルスポットライト	1000W	16台	8〃	
タワースポットライト	1000W	16台	8〃	

ハ）フロント照明

第1サイドフロントスポットライト（2FL）	1000W	12台	8回路	
ACアークスポット	50A	2台	2〃	
文楽廻し照明スポットライト	1000W	3台	1〃	第1フロントサイド下手
第2サイドフロントスポットライト（3FL）	1000W	12台	8〃	
ACアークスポット	50A	2台	2〃	
第1シーリングスポットライト	1000W	24台	12〃	マグノカラー18台付
第2シーリングスポットライト	1000W	28台	14〃	マグノカラー16台付
キセノンピンスポット	1000W	4台	4〃	
センタースポットライト	1500W	8台	4〃	
ACアークスポット	50A	4台	4〃	
キセノンピンスポット	1000W	4台	4〃	
万能効果器　複式				
センター照明室				
DCアークスポット	75A	2台	2〃	
中継室　〃	75A	2台	2〃	組立可搬式

ニ）花道照明

フットライト	60W	80灯	4回路	
サイドスポットライト	1000W	4台	2〃	第2サイドフロント上手
天井スポットライト	500W	10台	5〃	客席大天井
揚幕スポットライト	1000W	2台	1〃	

ホ）移動器具

フレネルレンズスポットライト	500W	10台	
〃	1000W	20台	
〃	2000W	10台	
平凸レンズスポットライト	500W	10台	
狭角フレネルレンズスポットライト	1000W	10台	
平凸レンズスポットライト	1000W	20台	
フットライト	500W	5台	
ストリップライト 100W×12灯		10本	
〃 100W× 8灯		20本	
〃 100W× 4灯		5本	
細目ストリップライト 40W× 6灯		5本	
附属品		1式	

ヘ）出待照明

楽屋出待照明	60W	48灯	8回路	上，下，入口各24灯1組

1-3 総稽古録画室

イ）稽古用照明設備

第1ボーダライト	150W	56灯	8回路	
第2ボーダライト	150W	56灯	8〃	
第3ボーダライト	150W	56灯	8〃	
ホリゾントライト	500W	48灯	8〃	
フロアコンセント 4口用	30A	2ケ	8〃	

ロ）録画用照明設備

移動パンダグラフ 2口用	30A	15台	20回路	
首振りパンタグラフ 2口用	30A	25台	25〃	
壁付コンセント 2口用	30A	5台	5〃	
〃 4口用	30A	1台	4〃	
ホリゾントライト	500W	17台	6〃	
けい光灯ホリゾントライト 40W×3灯		16台	8〃	角度調節付
けい光灯ベースライト 40W×3灯		20台	10〃	

ハ）移動器具

ソーラースポットライト	500W	15台	
〃	1000W	15台	
〃	2000W	10台	
スクープライト	500W	10台	
〃	1000W	15台	
バンクライト 300W×6灯		6台	
ストリップライト 100W×8灯		10台	
〃 100W×4灯		5台	
効果器		1台	
附属品		1式	

1-4 回路操作調光設備

A）大ホール

イ）電源

電気方式　AC，100V　3相4線式
主幹容量　600KVA

ロ）負荷回路

a）客席照明

客席ダウンライト	19.8KW	17回路	AC	調光回路
客席間接灯	18.9KW	14〃	AC	〃
客席残置灯	9.2KW	8〃	AC-DC-EC	〃
不滅灯	3.4KW	6〃	AC-DC-EC	
非常灯	6.45KW	18〃	AC-DC	
〃	0.4KW	2〃	DC	
一般灯コンセント	35.34KW	54〃	AC	

b）舞台照明

i）負荷回路

選択回路	1205.8KW	610回路	選択調光回路
ACアーク回路	54.0KW	18〃	直一選択調光切替回路
ピンスポット回路	18.0KW	18〃	〃　〃
花道照明回路	36.76KW	27〃	固定調光回路
万能効果器回路	30.0KW	3〃	直回路

ii）操作方式

選択回路・花道照明回路 } 回路分岐電磁開閉器　遠方操作方式

ピンスポット回路・ACアーク回路・万能効果器回路 } 配線用しゃ断器　分岐開閉器

選択回路・ACアーク回路・ピンスポット回路 } 回路全選択方式

ハ）調光方式

a）客席回路

半導体調光方式

客席ダウンライト	SCR 6KW×6台	電動調光
客席回接灯	SCR 6KW×4台	〃
客席残置灯	SCR 6KW×3台	〃

押ボタン操作……照明操作室，映写室の2ケ所操作

b）舞台回路

i）半導体調光方式

花道照明回路	SCR 6KW×2台	固定調光
〃	SCR 3KW×7台	〃
〃	SCR 1KW×9台	〃

ii）調光操作

プリセットフェーダ	200ケ	4段
グループプリセットフェダ	6組	2段
グループマスタフェーダ	4組	
クロスフェーダ	1組	

〔手動，自動（3分～30分自動操作万能，時間設定式）〕

システムフェーダ　1ケ

○SCRユニットとプリセットフェーダはエクスターナルプラグによる選択方式
○プリセットフェーダは調光自照フェーダ式

○グループプリセット選択は3段記憶装置付押ボタン選択式
○卓上プリセットフェーダのグループマスタ選択はＰＦＧスイッチ切替式

iii）操作設備

回路制御盤
選択回路，花道照明回路用操作スイッチ……回路点滅
負荷配置表示灯盤（モニター盤）
エクスターナルプラグ
計器類

プリセット盤

プリセットフェーダ	200ケ×3段分
グループプリセットの選択押ボタン	200系統分

照明操作卓

プリセットフェーダ	200ケ×1段分
直調切替用スイッチ	200ケ
グループプリセットフェーダ	12ケ
グループマスタフェーダ	4ケ
クロスフェーダ	1ケ
花道照明用プリセットフェーダ	
〃　〃　マスタフェーダ	
直回路用プリセットスイッチ	20ケ×4段

直回路，調光回路プリセット段切替
マグノカラ操作スイッチ（プリセット2段方式）
どん帳，スクリーンカーテン照明操作スイッチ
客席調光操作スイッチ
調光モニターランプ

映写室付操作盤
客調押ボタン
どん帳，スクリーンカーテン照明押ボタン

揚幕操作盤
本花道照明用調光操作盤
仮花道照明用調光操作盤

B）小ホール

イ）電源

電気方式	ＡＣ100Ｖ，3相4線式
主幹容量	350ＫＶＡ

ロ）負荷回路

a）客席照明

客席ダウンライト	6．2KW	9回路	ＡＣ	調光回路
客席間接灯	13．5KW	10〃	ＡＣ	〃
客席残置灯	3．6KW	5〃	ＡＣ-ＤＣ-ＥＣ	〃
不滅灯	1.38KW	4〃	ＡＣ-ＤＣ-ＥＣ	
非常灯	4.39KW	16〃	ＡＣ-ＤＣ	
〃	0．4KW	3〃	ＤＣ	
一般灯コンセンス	20.24KW	38〃	ＡＣ	

b）舞台照明

i）負荷回路

選択回路	680.32KW	378回路	選択調光回路
ＡＣアーク回路	36．0KW	8〃	直一選択調光切替回路
ピンスポット回路	8．0KW	8〃	〃　〃
花道照明回路	15．8KW	12〃	固定調光回路
万能効果器回路	20．0KW	2〃	直回路

ii）操作方式

選択回路，花道照明回路 } 回路分岐電磁開閉器　遠方操作方式

ピンスポット回路，ＡＣアーク回路，万能効果回路 } 配線用しゃ断器　分岐開閉器

選択回路，ＡＣアーク回路，ピンスポット回路 } 回路全選択方式

ハ）調光方式

a）客席回路

半導体調光方式

客席ダウンライト	ＳＣＲ 6KW×2台
客席間接灯	ＳＣＲ 6KW×2台
客席残置灯	ＳＣＲ 6KW×1台

押ボタン操作……照明操作室，映写室の2ケ所操作

b）舞台回路

i）半導体調光方式

花道照明回路	ＳＣＲ 6KW×1台	固定調光
〃	ＳＣＲ 3KW×3台	〃
〃	ＳＣＲ 1KW×5台	〃
選択回路，ＡＣアーク回路，ピンスポット回路	ＳＣＲ 6KW×80台 3KW×25台	選択調光

ii）調光操作

プリセットフェーダ	100ケ	4段
グループプリセットフェーダ	6組	2段
グループマスタフェーダ	4組	
クロスフェーダ	1組	

〔手動，自動（3分～30分自動操作，時間設定式）〕

システムフェーダ	1ケ

○ＳＣＲユニットとプリセットフェーダはエクスターナルプラグによる選択方式
○プリセットフェーダは調光自照フェーダ式
○グループプリセット選択は3段記憶装置付押ボタン選択方式
○卓上プリセットフェーダのグループマスタ選択はＰＦＧスイッチ切替式

iii）操作設備

回路制御盤
選択回路，花道照明回路用操作スイッチ……回路点滅
負荷配置表示盤（モニター盤）
エクスターナルプラブ
計器類

プリセット盤

プリセットフェーダ	100ケ×3段分
グループプリセット選択押ボタン	100系統分

照明操作卓

プリセットフェーダ	100ケ×1段分
直調切替スイッチ	100ケ
グループプリセットフェーダ	12ケ
グループマスタフェーダ	6ケ
クロースフェーダ	1組
システムフェーダ	1ケ
花道照明用プリセットフェーダ	
〃　〃　マスタフェーダ	
直回路用プリセットスイッチ	20ケ×4段

直回路，調光回路プリセット段切替
マグノカラ操作スイッチ（プリセット2段方式）
どん帳，スクリーンカーテン照明操作スイッチ
客席調光操作スイッチ
調光モニタランプ

映写室付操作盤
客席調光操作押ボタン
どん帳，スクリーンカーテン照明操作押ボタン

揚幕操作盤
花道照明用調光操作盤

C）総稽古録画室

イ）電源

電気方式	ＡＣ，100Ｖ　3相4線式
主幹容量	150ＫＶＡ

ロ）負荷回路

a）稽古用照明	57．2KW	40回路	全選択調光方式
b）録画用照明			
白熱灯照明	122．0KW	60回路	全選択調光方式
けい光灯照明	12.96KW	18回路	一括70%調光方式

ハ）調光方式

半導体調光方式

白熱灯用調光器	ＳＳＳ	6KW×40台	選択調光
けい光灯用調光器	ＳＳＳ	ＦＬ40W50灯× 3台	一括調光

調光操作

プリセットフェーダ	40ケ×3段
グループフェーダ	4ケ
クロスフェーダ	1組
けい光灯用フェーダ	1ケ

○プリセットフェーダのグループ選択はＰＦＧスイッチ切替式

操作設備

照明操作卓

白熱灯負荷直調切替操作スイッチ	100ケ
負荷表示灯盤（モニタ盤）	
けい光灯回路点滅スイッチ	18ケ
計器類	
プリセットフェーダ	40ケ×3段
グループフェーダ	4ケ
クロスフェーダ	1組
けい光灯調光フェーダ	1ケ
直回路点滅スイッチ	15ケ

2. 舞台照明の特性

国立劇場で舞台照明設備として，特に設計上注意し，従来劇場においての欠点および不備の点を考慮し，条件のゆるされる範囲で設備したところを概略説明いたします。

2-1 舞台照明器具

(1) プロセニアムボーダライトおよびプロセニアムスポットライト

舞台上部照明設備で，いつも問題となる所はプロセニアム附近における各種設備の寸法，取合いで，特にこの部分には，照明上からも最も照度を要求される所でありながら，他設備の防火シャッタ，どん帳などが優先する場合が非常に多く，またとくに本劇場のように歌舞伎を主体とする引幕，虹梁などが，この場所に設備され，照明設備はどうしても後部に追込まれてしまい，そのため舞台前部の演技面のベースライトが不足することが非常に多い。したがって，この欠点をできるだけ補うため，防火シャッタとプロセニアムアーチとの間を利用して設備した。

(2) ボーダライト3区分昇降

従来，劇場ではボーダライトは1列昇降式になっている。この場合舞台面における大道具組立の状態により，いつも一様な高さからの照明では不都合な場合があり適当に高さが調節できることが望まれていた。しかし全ボーダライトの必要はなく，特に舞台中心より前部において，その傾向が多く，歌舞伎においては，屋台等の組立がぴんぱんに行なわれるため，照明の調節が微妙に左右する場合が多い。この点を考慮し，大ホールは第2ボーダライトより第6ボーダライトまで，小ホールでは第3ボーダライト，第4ボーダライトを3区分した。

なお，小ホール第2ボーダライトも3区分に昇降することが最も望ましいのであるが，大道具吊物との兼用バトンとしての利用を考えることになったため，やむをえず1列1昇降とした。

(3) ライトブリッジとボーダライトの別昇降

従来，ライトブリッジにはエリヤライトとボーダライトを取付け，一括昇降するような構造になっていた。しかし，照明の性質から見るとエリヤライトとボーダライトとは，その目的が異なり，従って，その照明高さなどは必然的に変らなければ十分な効果が得られないものである。この欠点を考慮し，ボーダライトをライトブリッジから別に昇降するようにし，ライトブリッジはエリヤライト用操作ブリッジと考え，吊下げスポットの操作が簡単にでき，しかし通路として利用できるようブリッジの構造および吊下げ方法を従来と変えた。しかし全ブリッジにこの方法を採る必要はなく，第4ブリッジは共吊りとした。

また，小ホールの第2ブリッジの部分，すなわち大臣後部は同ホールの使用目的から，文楽，歌舞伎，新劇等多目的に考えられるため，大道具，吊物照明が互いに必要とする場所となり，従って照明だけの理想とする方法は取り難く，ライトブリッジの巾も小さくして大道具バトンを吊下げるようにした。また同場所にある第2ボーダライトは大道具バトンとしても利用できるように昇降式とし，文楽などの背景が吊下げられるよう考慮した。

(4) アッパーホリゾントライト

当劇場は大小ホール共曲りホリゾントであるため，その照明方法も，とくに正面と両側面を均等にしかも平滑にするよう考慮しなければならない。したがって正面部分はアッパーホリゾントライトとし，できるだけ等距離から照明できるようなライトバトンで500W4段吊りとし，その各々の灯具の投射角度が自由に変えられるよう設備した。また両側面にのびたサイドホリゾントに対しては簡易方法と正式方法の二重設備とした。

簡易方法としては，他の吊物に障害にならないような方法で照明する方法とし，各エリヤライト，または，ホリゾントライト等の両端に電源回路を設け，簡易的に照明ができるように設備した。

正式方法としては，サイドにのびたサイドホリゾントの弧の内の吊物は照明バトンを除いて使用しないことを前提として，利用できる大道具バトンに可搬式配線樋を吊下げて，照明器具を3段吊下げられるよう設備した。なお，照明器具は沃素電球とし，その効率を高め，数量からも従来にない方法で設備し，十分なホリゾント照明効果をえようとしている。

(5) タワースポットライトおよびギャラリコンセント

サイドギャラリは従来固定式とし，一定の所からしか照明できなかったが，当劇場では上下昇降式とし，照明の高低ができるように設備した。

(6) シーリングライト

客席フロント照明として，シーリングライトは前舞台のベースライトとなるもので，舞台照明の演技面には必要不可欠の設備である。従って，できるだけ強力に，かつ，滑らかな照明が必要となってくる。当劇場では，従来劇場のシーリングライト設備より多く設備した。しかも，その大半をオーバルレンズスポットとし投光面が楕円になるよう特殊設計したもので，舞台床面に投光した場合に円形になるようなスポットライトとしてある。

(7) センタースポットライト

大ホールセンタースポット室は建築設計上，また場内音響による天井カーブのため，十分な照明効果が得られないため，第2シーリングライトにフォロー用ピンスポット1500W16台の灯具を設備した。

(8) 花道照明設備

花道は客席の一部が舞台として使用されるため，当然客席内部よりの投光が必要になる。しかも一般観客に目立たずに逆光または観客の目に入らないよう考慮しなければならない。照明はその目的に対し，あらゆる方向から投射されるのが理想とされているが，それぞれの条件に伴い，制約はよぎなくされるものである。

プロセニアム内の一般舞台のように一定方向よりしか見られない場合と異なり，周囲全部が観客の目となる花道の場合においては，その照明も当然理想とする所は得難く，従来の劇場では，せいぜい，サイドフロントよりのフォロースポットと床面からのフットライトを設けることですまされてきた。当劇場では客席大天井よりのベースライトおよびサイドフロントスポット室からのベースライトおよびフォロースポット，それにフットライトを設備した。なお，天井スポットとサイドフロントスポット室からのライトは全部オーバルレンズスポットとし，花道方向に長く花道巾方向には，その投光面が狭くなるよう矩形投光される特殊スポットとして設備した。

(9) 総稽古録画室

この部屋は総稽古および録画室として使用するため，その両方が可能なよう照明設備をすることを条件として設計した。すなわち，劇場での稽古に必要な照明として，ボーダライト，ホリゾントライト，その他にフロント照明電源回路を設け，舞台での雰囲気を一応出せるようにした。また同室を録画用として使用する場合は，テレビスタジオとしての設備が必要であり，そのセット状態によって任意に仕込みができるよう，自由な回路構成，およびスポットライト，ベースライトの設定ができることが必要である。従って一般のテレビスタジオとしての設備をするためには同室では稽古上不便であるため両者の用をなすべく設計されている。すなわち，投射投光の角度が自由にできるよう首振りパンタグラフを設け，一点吊りでその可動範囲を大きくとることにした。また，移動パンタグラフにより必要に応じてレールの上を走らせて任意の場所に各種ライトが設定できるようにした。

移動器具には，テレビスタヂオ用としての器具を主に考え，1000Wスポットライトでも，劇場用と異なり，投光距離の短い同室において適当であるよう広角用スポットライトを設けた。一般用ベースライトとしてバンクライト，スクープライト等テレビスタジオ用に必要な器具も設けるよう考慮した。なお，けい光灯(40W 3 灯用)を36台設備し，内20台をベースライト用とし，16台をホリゾントライト用として設備した。

2-2 回路操作調光設備

(1) 半導体調光器

大小ホールおよび総稽古録画室とも半導体調光器を用い，大小ホールはS.C.R，総稽古録画室ではSSS半導体調光器を使用している。

(2) 仕　様

従来の半導体調光器の欠点を補うべく新しい方式をとっている。調光特性カーブは単独にプリセットフェーダでは目盛に対する照度特性を2乗カードとして設定し，視感度曲線上からできるだけ直線に近似するようにした。

また，グループ設定および全般セットによるクロスフェーディングには0～100%を放射状になる掛算カーブ（従来の半導体調光器のカーブを改善したもの）とし，また，グループマスターフェーダによる各設定フェーディングは単独特性カーブの2乗カーブの線をたどって，各設定%で止まっていく加算カーブ（従来のオートトランス式調光器の改良カーブ）との2種類が得られるような機構として設備されている。

(3) クロスフェーダ

クロスフェーディングに対しては歌舞伎等の場面変化に対する時間の長短に任意にできるように手動と電動とを設け，特に電動の場合は変化時間が3分～30分間に適当に前間設定ができるようになっており，その動作はラチェット式によるクイック動作によりフェーダの接点間の誤差のないような構造となっている。

(4) グループプリセットの選択

従来の半導体調光設備では，プリセットフェーダのグループプリセット選択は各場面共一定のグルーピングしかできなかったが，当劇場においては，その各場面が任意のグループにセットできるように設備した。特に操作盤の大きさ等は小さくするために，そのプリセット選択は1点押釦式とし，各段共別々にグループセットでき，しかも記憶チェックができるよう，プレビューランプを内蔵させる構造とし，操作卓上のチェックボタンにより，各グループの選択状態を確認できる構造とした。また，グループプリセットの解除も一点押釦式とし，完全引外しができる構造とした。

(5) プリセットフェーダ

プリセットフェーダは，そのフェーダ目盛板が自照式として各調光度にもとづく，モニターランプを内蔵させ，しかも使用段のみ点灯として一目で確認できるようになっている。

(6) エクスターナルプラグ

半導体調光器と操作信号回路との接続について任意に選択できるようエクスターナルプラグ選択方式となっている。エクスターナルプラグを設けた目的はつぎのとおりである。

① 将来半導体調光器が増設された場合，操作系統がこれ以上はん雑になることは誤操作をまねくもとになるため，操作系統の増設はせず，半導体調光器のみの増設により任意に調光操作ができるように選択接続方式をとった。

② 現状調光設備においても，半導体調光器2～3台を操作信号1系統で操作しなければならない場合のためである。

③ 将来自動制御を行なう場合，同プラグにて外部信号を導入できるようにする目的できる。　（以上）

録音録画・中継装置について

建設省営繕局設備課　佐野義人

Ⅰ．舞台機構監視用ＩＴＶ設備

舞台機構監視用ＩＴＶ（工業用テレビ）は舞台のまわりに設置し，回転および迫り舞台，鳥屋迫り，花道迫り（スッポン）などの機構の状態を遠方監視するものである。

なお，これにより出演者の危険防止とより効果的な舞台操作を可能にするよう意図されたものである。

ＩＴＶカメラは，奈落の迫りの乗口を，大ホールの場合計８台，鳥屋連絡路およびスッポンを各１台で監視しており，それらの出力画像は舞台下手の舞台機構操作盤において自由に切替え，１台のモニターで監視することができる。映像信号切替器は10個の映像入力から任意の１個の出力を選択でき，その切替操作は機構操作盤に設けられた選択ボタンを用いて行なわれる。これらのボタンは舞台機構操作グラフィック・パネル上の各機構操作器の位置に直感的な対応の得られるよう組み込まれている。こうすることにより，所要の機構の状況を確認し，次いで機構操作に移ることができる。なお，同じ映像は監督室でも視られる。

ＩＴＶカメラは１インチ・ビジコンおよび映像入力段を除き半導体化し，簡易同期信号発生回路，自動感度調整回路，通話回路を含めて，小型軽量である。カメラの調整は操作器によってターゲット電圧，ビーム電流，ビーム焦点などを行ない，なお，電源の入断についても可能である。

1．舞台機構監視用ＩＴＶ設備主要機器

品　　名	数 量	摘　　要
ＩＴＶカメラ	12	操作機を含む（小ホール４台）
モニタ映像信号切替器	1	10入力１出力操作ボタンを含む
ピクチュア・モニタ	3	９形

2．主要機器の定格

ａ．ＩＴＶカメラ

カメラは１インチ・ビジコン・カメラで，主要回路はトランジスタ化したものである。走査方式はランダム・インターレース電源同期方式で，性能は被写体照度30～100,000 ℓxである。

ｂ．ピクチュア・モニタ

筐体は金属製で外形寸法は巾240mm，高さ260mm，長さ219mm程度で，カードラックおよびタリーランプ付である。水平解像度は400本以上である。

Ⅱ．舞台進行監視用ＩＴＶ設備

この設備は各ホールにおける舞台進行状況および客席の模様を監視し，劇場の運営の円滑化を図るためのＩＴＶ設備である。すなわち，ステージ上の状体は舞台上の移動カメラ，客席内の状体はホール側面に設けたカメラにより撮像し，その進行状況などマスター内の選択切替機構を経て，それぞれの楽屋，衣裳，音響，照明その他裏方関係諸室のモニターによって報知し，ステージの進行，ホールの管理を理想的に行なうものである。

各カメラの出力は，マスターのＩＴＶ操作卓に設けられた映像分配ユニットによって３分岐され，うち２本はモニター映像信号切替器，１本はＩＴＶ操作卓前面のモニターに供給される。ＩＴＶ操作卓にはＩＴＶカメラ操作器，旋回装置およびズームレンズのリモート・コントロール操作器が組込まれている。

ＩＴＶカメラの定格は舞台機構監視用と同じであるが，ただその出力が放送規格の信号と等価に扱かえるよう，マスターの同期信号の同期分配ユニットによる出力で駆動されている。これによりＶＴＲ（録画）も可能である。また，レンズはズームレンズを使用し，旋回装置を有することも舞台機構監視用と異なる。

ピクチュア・モニターは次のとおりである。

ａ．マスター用　19形　　７台

ｂ．裏方，ビル監視等用　19形　　40台

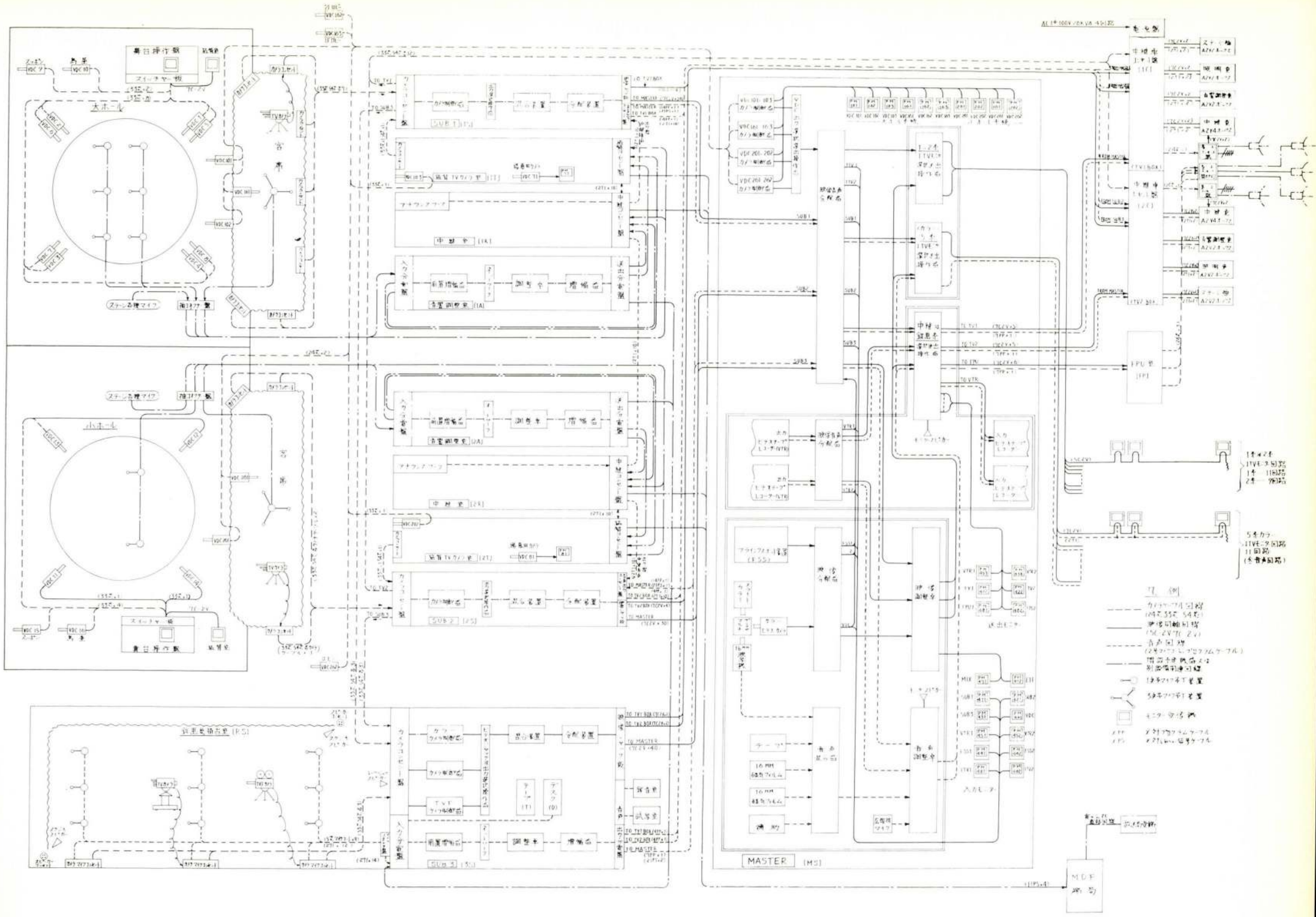
Ⅲ．録画，中継，広報用設備

１．サブ１設備は大ホールの音響調整室内に設けられ大ホールにおける催しの録画あるいは放送局による中継の際使用される。

将来はイメージオルシコンカメラを専属し，後に述べるサブ３設備と同程度の映像，音声調整装置を設備する計画で，当面はサブ１の入力および出力に関するコンセント盤およびジャック盤に限り設けてある。

放送局の中継に供用する場合は，第Ｖ項ＴＶ放送中継専用設備で述べるとおりであり，音声信号の取扱についてもＴＶ放送中継専用設備の項で述べるとおりである。

録画の場合，大ホールに移動された録画室常備のイメージオルシコン・カメラは，大ホール・カメラ・コンセント板に接続され，サブ１のカメラ・コンセント盤および３項に述べるサブ３のカメラ・コンセント盤において適当な接続を行なってサブ３のカメラ制御器に接続され，あとの映像切換操作はサブ３の設備で行なわれるものとする。



映像音声装置総合系統図



録画総稽古・サブ3（副調整室）



録画総稽古・主調室

音声信号については，大ホール音響調整室出力がその送出盤を経由し，サブ3音声調整卓に接続され，適当に混合調整されサブ3の出力となる。

2. サブ2設備は小ホールの中継室内に設けられ，小ホールにおける催しの録画あるいは放送局による中継の際使用する。

サブ2に設けるカメラ・コンセント盤の容量以外はサブ1の場合と同様今回はコンセント盤のみ設け，機器は設備しない。

3. サブ3（録画室副調整室）の設備は，録画室（総稽古室）において行なわれる演技の撮像，映像，音声信号の混合調整を行なうためのものであり，主として劇場設立の主旨である古典芸術保存育成のための録画に使用する。

録画室のイメージオルシコン・カメラは録画室内のカメラ・コンセント板に接続され，カメラ制御器により4. a項テレシネ設備，4. b項テープ録画設備よりサブ3に供給されるテレシネ出力，VTR出力とともに映像信号切換器に接続され，適当な切換，混合の過程を経て，演出効果を含んだサブ3出力となり出力映像ジャック板を経てマスターに送られる。

音声に関しては，録画室内マイク・コンセント板あるいは，マイク吊下装置に接続されたマイクロホンの出力を録画室内のマイクコネクタ盤を経由しサブ3内の入出分電盤に現われる。この入出分電盤にはその他テープ録音再生機，円板再生機，ホール音響，テレシネなどの出力が上げてあり，これらの適当な接続によって音声調整卓に入力を与えるようになっている。音声調整卓で混合調整された出力は，再び入出分電盤からマスターを始め録音室，試写室，テープ録音再生機などに送られるようにしてある。本設備はアナウンス・ブースを含み，放送形式の番組作成が可能であるとともに，ステレオ用テープ録音再生機も備え，録音室の補助としての機能も有している。

4. マスター設備

a．テレシネ設備はマスターに設置され，主に録画および広報活動に使用するテレシネ関係素材をサブ1～3（当面サブ1のみ）ならびに録画中継用および効果調整用の選択送出機構に対し供給するための設備である。

b．テープ録画設備はマスターに設置され，ホールあるいは録画室における演技を保存記録のため録画し，養成，広報の目的で必要に応じ再生するための設備である。

可搬形テープ録画装置は主に専用ビディコン・カメラと組み合せ，演技の練習用に使用されるが，他の映像信号も録画可能である。

Ⅳ．ホール内および録画室設備

1. 大ホールにおける催しの録画あるいは放送局による中継の際に使用するカメラ・コンセントはホール周辺に8カ所配置されている。

録画する場合はサブ1に調整設備がないため，Ⅲ4項マスター室に信号を送り，ここでVTRにより録画する。

2. 小ホールは大ホールに準ずる。

3. 録画室（総稽古室）に常置使用されるイメージオルシコン・カメラはカメラペデスタルを用いカメラワークを容易にしている。使用レンズについては，録画室内では80～540mm（f 4.0）80～540mm（f 7.3）である。

音声に関しては，床および吊マイクロホン・コンセントを室内に設け，これらに接続されたマイクロホン出力はサブ3側壁に設けられたマイク・コネクタ盤に集められ，接続コードによる適当なパッチングによりサブ3の入出力分電盤を経て，マスター室の音声調整卓に接続される。

Ⅴ．放送中継専用設備

大ホール用放送中継専用設備。この設備はテレビ放送局所有の中継車，録画車などの局外中継設備を用いて大ホールで公演されている演技を中継し，あるいは録画する際に供用される。

放送局持込のTVカメラはホール周辺8個所に配置してあるカメラ・コンセントに接続し，音響調整室内（サブ1）のカメラ・コンセント板を経て中継車コンセント盤に至り，ここで中継車内のカメラ制御器と接続される。中継車内で処理された本線出力は同車内のFPU送信制御部に供給され，24心カメラ・ケーブルにより中継車コンセント盤経由で屋上コンセント盤に至り，ここでFPU送信機によりそれぞれの演奏所に伝送される。

音声についてはステージ袖のコネクタ盤より音響調整室入力盤を経由し，中継室音声コンセント盤に至りここで持込みの音声ミクサで混合調整され，サブ1の出力コンセント盤を経て中継車コンセント盤に至り，中継車と接続する。なお，中継室音声コンセント盤には音響調整室出力も入れてある。

国立劇場建築工事の施工

建設省営繕局監督課　課長補佐　永　田　安　弘

限られた工費で建てられる現代建築では，その芸術性は技術的裏づけを待たなければ発揮することは困難である。

現代技術においてはそれによる生産性の高低がその評価の重要々素である。

建築生産の技術的方式には設計段階できめられるものと，施工段階で決定する余地のあるものとある。

そして建築技術の生産性で在来の方法と比較して向上しているかどうかは，部品の工場製作を多くし，現場での手間を機械化し，総作業時間を減少させ，工期を短縮し，工費を削減し，精度を高め得たかどうかによって判断される面が多い。

国立劇場工事で設計段階において，在来の平均的工法と比較して生産性を高めるように考慮されたと結果的に認められるものは，

1.　外装用として，外面大部分を被覆する工場製作可能な総重量1500 t におよぶ校倉組型軽量コンクリートブロック工事

2.　内装材料の種類のてい減による工事の単純化への指向

の二つである。

これに対し，施工段階で決定された生産性向上への努力としては，

1.　駆体その他の個所に使用されるコンクリート打設にコンクリートポンプを使用し，コンクリート搬送を機械化し，短時間に大量の搬送を小人数で行ない，その品質管理を容易にしたこと，これは同時にコンクリート打設の際に配筋を踏み荒されることも少なくしえた。

2.　内装工事に最も多く使用されたセメントモルタル塗りにおいて，調合ずみのモルタルの搬送および下塗・中塗段階での塗付けをポンプ操作によって行ない，工程を簡略化し，手間を省き，モルタル接着力の増強に役立てたこと。

3.　主要部分とみなされ，特に精度を要し，また大量に必要であった庇，樋のコンクリート円型枠を工場製作し工費のてい減に役立てたこと。

この他既に慣用されている部品の工場製作または機械化工法もここでは多く使用されたが，設計段階，施工段階で考えられた建築の生産性の向上への配慮を工費的にすべて合算すると，建築費（除設備工事費）の総額の約80％におよぶ。

さて次に本建築を特色づけ，かつ手法としては手工業的ではあるが，施工，維持管理の点では極めて経済的であるという将来への技術発展の指向性を含むとみなされる校倉組ブロックの着色の概要を示そう。

まずコンクリートブロックは

セメント	軽量人工細骨材	軽量人工粗骨材	W/C	AE剤	スランプ
125kg	7.5切	7.5切	30％	50cc	2.5cm

の割合で調合されたが，これを成形後表面をサンドブラスト掛けし，その目荒しされた面に硫酸第一鉄と硫酸マンガンの混合水溶液を塗布し，十分浸透せしめた後，やや湿った状態で，更に過マンガン酸カリウムと苛性ソーダの混合水溶液を塗布すると酸化第二鉄と二酸化マンガンを主成分とする黒褐色の沈着色素が得られる。この反応を完結させた後，水洗により過剰な苛性ソーダと水溶性生成物を除去する。

沈着色素は極めて安定したものであるから，将来一般塗料のように一定期間後再塗装する必要はない。

（なお，詳しくは「技術の頁」欄のケミカル・ステイニングを参照のこと　編集者注）

一般工事概要

1.　地　業　工　事

P．Cコンクリートパイル400φ

杭長9～21m　　総本数約　1,270本

ディーゼルハンマーにより打込み

2.　鉄筋コンクリート工事

コンクリート打設総量：約 22,000m³

型枠：約 24,500㎡　　鉄筋：2,150 t

コンクリートポンプ性能：

最大吐出量：25m³/h（4～25㎥/hの範囲で可変）

輸送距離（水平）　400m

（垂直）　50m

残コンクリート排出方式：水洗式，圧気式いずれも可能

輸送管径　150mm　　175mm

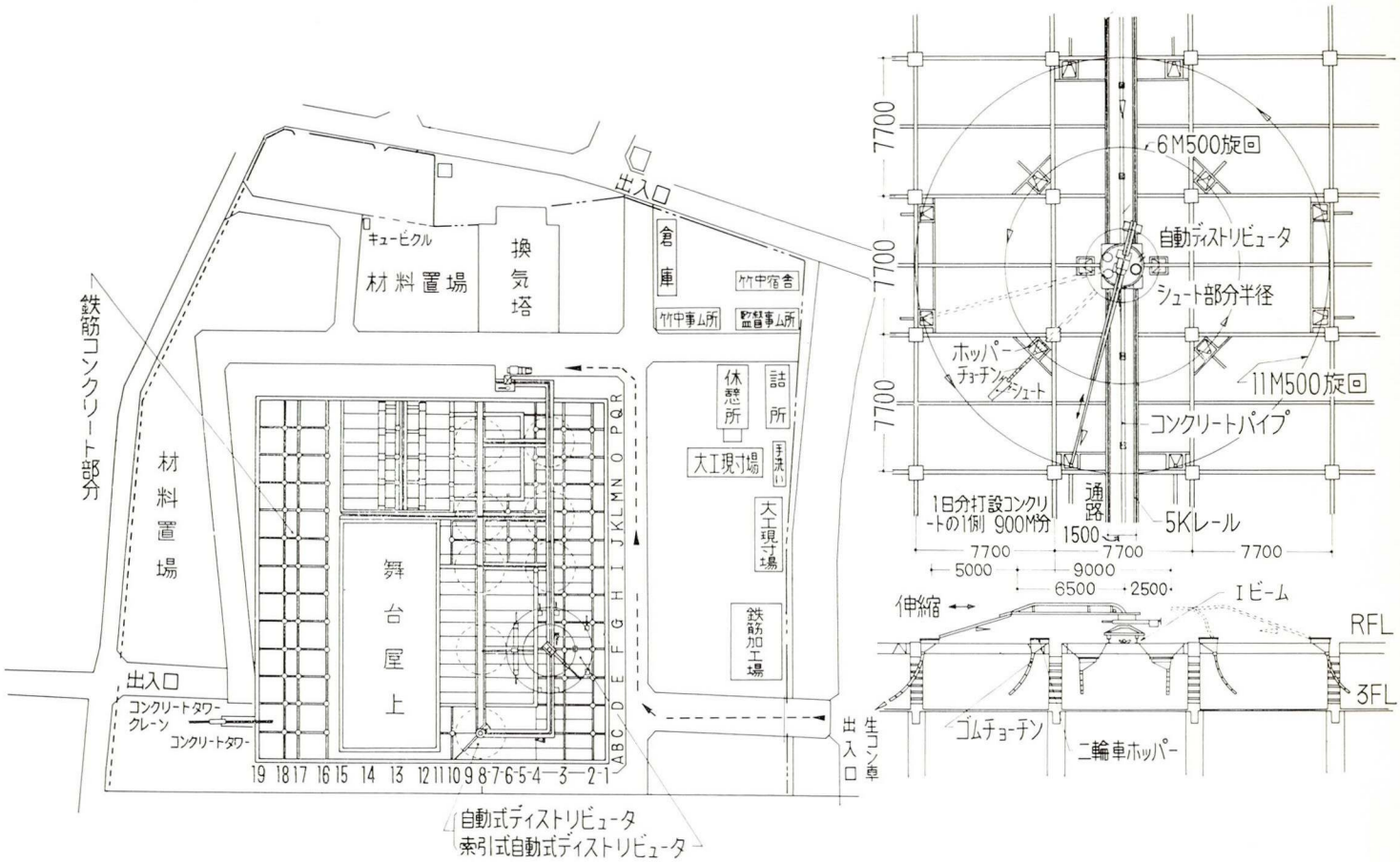
3.　鉄　骨　工　事

鉄骨総量：約 1,000 t

移動クレーンにより組立て

主な鉄骨

大ホールトラス　ℓ=26.950m　W=8.000 t　　16台



大ホールプロセニアム　ℓ=23.100m　W=12.000 t　1台

ローディングトラス　ℓ=19.250m　W=14.000 t　2台

4. 防水工事

アスファルト防水：一般屋根

シート防水　：光庭，庇

5. 左官工事

モルタルポンプ性能

モルタル吐出量：0～40ℓ/分

搬送距離：水平 135m，垂直 40m

機械と手仕事の比較例

〔壁モルタル塗仕上の場合(100㎡)〕

種別 / 工程	機械（トリコータ） 左官(人)	手元(人)	手塗り 左官(人)	手元(人)
下地処理	0.5			
吹付 } 清掃 }	0.5	0.5	5.0	2.0
中塗 } 定規ずり }	4.0	0.5	7.0	3.0
上塗，定規ずり，金ごて押え }	6.0	0.5	10.0	2.0
小計	11.0	1.5	22.0	7.0
合計	12.5		29.0	
比率(人/m²)	0.125人/m²		0.29人/m²	

6. 主要各室仕上表

室名	床	巾木	壁	天井
ラウンジ側廊 特別室 玄関広間他	フェルト下地 カーペット敷	桧生地仕上	モルタル塗 サングレード吹付	杉柾合板 底目地張生地仕上
中継室 放送室 試聴室その他	塩化ビニールタイル張	桧V.P塗	有孔リードボード ラテックスエマルジョンペイント塗	同左
客用男女便所 化粧室その他	大理石張	——	大理石張	杉柾合板 底目地張り 生地仕上
便所，湯沸室	モザイクタイル張	——	97㎜角タイル張	ゾノライト張 ラテックスエマルジョンペイント塗
講義室 事務室他	塩化ビニールタイル張	モルタル塗 V.P塗	モルタル塗 ラテックスエマルジョンペイント塗	同上
脱衣室	桧フローリング張	桧 V.P塗	ひる石プラスター塗 V.P塗	桧板打上
楽屋	畳敷き	——	プラスター塗 砂オクラテックス ラテックスエマルジョンペイント塗	杉柾合板張り
大小ホール 客席	フェルト下地 カーペット敷き	桧生地仕上	モルタル塗 サングレード吹付	杉柾合板張



国立劇場の紋章
デザイン：吉田五十八

国立劇場の運営について

国立劇場理事長
寺中作雄

徳川末期に，江戸の目抜の場所にあった中村，市村，河原崎の三座が出火焼失したとき，芝居小屋なぞという風俗壊乱の巣窟ともいうべき悪所を「御城近き市中に差し置き候ては御趣意にも相もとり候事に候」というような次第で，問題の三座はお上の命令で，浅草の裏田圃，浅茅が原ともいうべき場所へ転座仰せつけられたのであった。水野忠邦の天保の改革（天保13年，1842年）である。劇場は遊廓同様の悪所と見られ，俳優は乞食か犬猫扱いにされて，編笠なしでは表も歩けなかったのが，丁度今から百二十年前のことなのだ。

今や政府自ら38億という巨費を投じて，皇居の景観をまん前に望む場所に，国立劇場を建て，政府の手で歌舞伎俳優を集めて興行を打とうというのであるから，百二十年の変遷まことに皮肉なものがあるといわねばならない。

国立劇場法第１条には「国立劇場は，主としてわが国古来の伝統的な芸能の公開，伝承者の養成，調査研究等を行ない，その保存および振興を図り，もって文化の向上に寄与することを目的とする」と規定されている。世界に国立劇場を持つ国は三十数カ国におよび，一国数館をもつ国も少くないから，恐らくその数五十館に余るものがあると思われるが，わが国立劇場のごとく，その設立目的が古来の伝統芸能の保存，振興にある旨を明記したものは珍らしい例であろう。従ってこのことが，わが国立劇場の基本的性格をなし，他国の国立劇場に比して大きな特徴をなすものといえるであろう。

わが国ほど長い伝統を持った古典芸能を今日に伝えている国も，他には多く例を見ないであろう。雅楽の歴史は平安朝以来実に一千三百年におよび，鎌倉室町の武家時代文化を代表する能楽は六百年の伝統を誇り，また人形浄瑠璃と歌舞伎は約三百五十年の古い伝統をもつ古典演劇である。それらが相互に有機的なつながりを持ちながら保存継承されて今日におよんだというのは世界の芸能史上に類例を見ないところで，実に貴重なわが国の文化的資産であることはいうまでもない。

国立劇場はこれらの貴重な伝統芸能の公開と伝承者の養成，その調査研究等の事業を併行して行なうとともに，それらの事業の余裕を見て，劇場施設の一般利用を図ることも劇場の副次的な目的として運営されるのである。

1. 伝統芸能の自主公演

何といっても自主公演の重要なものは歌舞伎公演ということになる。歌舞伎は平年度年間大劇場で九回，小劇場で一回位を企画しているが，予算その他の都合で，大劇場で九回以上の場合も考えられるし，またその内の数回は古典歌舞伎以外の新歌舞伎または新作物の上演ということも考えられる。また次代国民の中に歌舞伎の愛好者を育てる意味で，中，高等学校生徒のための歌舞伎教室的公演ということも企画される予定である。

歌舞伎公演の方針としては，⑴できるだけ原典を尊重し，原典のもつ味わいを出すことを本旨とすること。⑵なるべく通し狂言を建前とすること。要は，従来の歌舞伎が俳優中心主義に流れすぎていた点を反省し，俳優の演技とともに，脚本主義（レパートリー・システム）を加味して演目選定に当ること。その意味で，⑶意欲的古典作品の復活上演を研究企画すること。⑷つとめて観客に分りやすくするように努め，歌舞伎を親しみやすいものにすること。⑸配役は適材適所を旨とすること。⑹俳優の仕勝手を排し，演出の統一を図ること。⑺伝統的な歌舞伎の技法を基盤とした戯曲の創作を奨励し，将来とも歌舞伎レパートリーの拡充に努めること。

以上のような一般方針に従って，初開場の公演演目に選んだのが，11月，12月の２カ月間を通ずる，「管原伝授手習鑑」の通し上演である。11月が，勘三郎，梅幸，仁左衛門，鴈治郎，三津五郎を中心に大序大内の場から車引まで，12月が幸四郎，中車，梅幸，勘弥，三津五郎を中心に，車引から切の大内山までを上演することになるが，その内大序，道行詞（ことば）の甘替（あまいが），切の大内山などは歌舞伎で初めて上演されるものであり，こうした完全通し上演は今まで企画されたことがないのである。

興行運営の面では，従来商業劇場では一日２回の２部興行が行なわれるのが普通であったが，国立劇場としては原則として夜だけの１回公演（土曜日のみ昼夜２回，日曜日昼間１回）に踏み切り，観客の便利とともに，俳優の休養と修練時間を取ることを考えたこと，また普通月の公演は１日から27日頃までびっしり行なわれていたが，国立劇場では，６日初日，27日終演の22日間，25回公演にし，前月末から稽古にはいって，月の５日まで，１週間の舞台稽古をみっちり行なわせるように計画したこと，そのために収入が減ずる犠牲をあえて忍んでも，公演には充分練り上げた演技を見せるように配慮したこと，さらに，こまかい点では開演時刻を午後５時とし（将来は６時，あるいは６時半としたい）できる限り観客の昼間の会社勤務に支障のないように配慮したことなどに，国立劇場公演の特徴を出したつもりである。

なお観客動員の方法として，会員制度の国立劇場観劇組織「あぜくら会」を出発させ，入会金五百円，毎月五百円・千円の月額会費を納めるＡ・Ｂ会員と，年に一万円，二万円，三万円の年額会費を納めるＣ・Ｄ・Ｅ会員の五種類で会員を募集したが，都内十三銀行の協力も手伝って，既に六，七千人の会員組織ができ上った現状である。会員の特典は入場料を二割引にする上に，電話申込による優良座席を確保してあげようというサービスである。

歌舞伎以外の自主公演としは，文楽を小劇場で年間60日上演するほか，邦楽邦舞を大，小劇場で各６回位，舞楽，能楽，管弦，声明，狂言，民俗芸能，琉球舞踊などをそれぞれ２日ないし４日ぐらい上演することとなるであろう。

2. 伝統芸能伝承者の養成

明年度あたりから実施の目算で，目下準備段階であるが，大体の計画はまず主として歌舞伎部門の養成から手をつけることとし，初等科および研究科の二科を置いて，初等科は中学卒，１級30人位，修業年限２年位，研究科は基礎教育修了者の専門教育に重点を置いて，修業年限３年位のものを考えている。

なお，実技者の養成のみならず，伝統芸能に関する作者，演出家，作曲家等の育成保護についても具体的な方策を考慮している。

3. 調査研究，資料収集等

自主公演上演修補演目の基本台帳の作成，整備，台本の校訂，定本作成等の調査研究に併せ，伝統芸能に関する図書，台本，小道具，衣裳，レコード，スライド，写真等の収集と，その展示を行なう。また文書，写真，レコード映画等による必要な記録作成にも力を入れるつもりである。

4. 劇場施設の貸与

劇場施設を自主公演に使用する以外の残余時間は，一般に貸与することとなるが，その貸与方法は，使用目的に応じて次の三種別に分け，使用料もその種別によって差をつけた。

第一種は，公開によって演劇等を上演する場合である。入場券などを発行して，不特定多数の者の観覧を許すものはすべてこの種別にはいる。国立劇場の信用と品位を保つことを配慮して承認制度を取り，新劇などの場合は，再演物で芸術作品としての国民的声望をおさめているものを中心として使用を承認することとしている。

第二種は非公開を建前として，芸能の試演などを行なう場合である。この場合は芸能研修の意味でなるべく広く使用されることを期待している。

第三種は芸能の理解と普及に役立つような講演会，講習会として使用される場合で，この場合は使用料も等しく低額に配慮している。

国立劇場建設計画年表

昭和年月日	設立経過および設計・建設経過
30. 7. 2	芸能施設調査研究協議会設置
31. 3. 8	同協議会答申—国立劇場としては理想として次の案が考えるが，さしあたり，古典大劇場，古典小劇場を建設 (1) 大劇場（古典中心）2,500人，　(2) 小劇場（古典中心）1,000人， (3) 音楽大ホール　2,500人，　(4) 音楽小ホール　700人， (5) オペラ劇場　2,000人，　(6) 能楽堂　500人
31. 4. 17	国立劇場設立準備協議会設置（閣議決定）
31. 5	敷地交渉はじまる。パレスハイツ案大宮御所案等検討
31. 8. 21	協議会第1次中間答申 (1) 大劇場（古典中心）2,500人，　(2) 小劇場（古典中心）1,000人
32. 6. 12	国立劇場設立促進国会議員連盟発足，当面敷地決定の促進にあたる
32. 7. 10	衆議院文教委員会において，国立劇場の早期実現方を次議する
33. 11. 12	パレスハイツ跡32,700m²（9,909坪）が国立劇場敷地に決定（国有財産中央審議会答申）
33. 12. 22	協議会第二次中間答申—（現代芸能界の修正意見強硬） (1) 第一劇場（古典中心現代も可）2,000人，　(2) 第二劇場（現代中心古典も可）1,300人，　(3) 能楽　700人
34. 4. 21	国立劇場に対する建築家会議より，文化財保護委員会および準備協議会に対し要望書提出
34. 5. 29	協議会修正答申 (1) 第一劇場（古典中心）1,500人，　(2) 第二劇場（現代中心）2,000人，　(3) 能楽堂　700人
34. 6. 26	協議会は修正答申に第三劇場を追加答申 (1) 第一劇場（古典中心）1,500人，　(2) 第二劇場（現代中心）2,000人， (3) 能楽堂　700人，　(4) 第三劇場（古典中心）　800人
34. 9. 8	上記の四劇場案については，財政および建築基準法等の問題で四劇場を同時に建設することは不可能との結論を得，準備協議会で答申の調整を審議し，次の案を得た 第一案　第一次計画　第一場劇（古典中心）1,500人，第二劇場（現代中心）2,000人，関係施設 第二次計画　（新たに敷地を求めて）第三劇場（古典中心）800人，能楽堂700人 パレハイツ跡敷地に第二劇場を建設することが不可能な場合は 第二案　第一次計画　第一劇場（古典中心）1,500人，第三劇場（古典中心）800人，関係施設 第二次計画　（新たに敷地を求めて）第二劇場（現代中心）2,000人，能楽堂　700人
34. 9. 30	文化財保護委員会と建設省との間に業務分担の覚書交換
34. 9. —	日本建築家協会長より準備協議会に国立劇場建設に関する要望書を提出
34. 12. 8	文化財保護委員会は特定行政の内意を伺う
34. 12. 19	文化財保護委員会は実施要綱決定 (1) 第一劇場（古典中心）1,300人，　(2) 第二劇場（現代中心）1,800人，　(3) 関係施設 西側民有地約1,310坪を敷地に追加する
35. 9. 22	準備協議会で実施要綱の現敷地における実施について検討した結果，日照，駐車場，建ぺい率等建築計画上困難が多いことが確認され，その実現が不可能なことを確認し同案を修正検討することについて了解
36. 2. 10	文化財保護委員会修正要綱決定 現地に次の施設を設立し，芸能に関する調査・研究および公開等を総合的に実施する中心機関とする (1) 劇場（古典中心1,800人），　(2) 関係施設（資料・調査・養成・管理）
36. 2. 16	準備協議会で文化財保護委員会修正，実施要綱了承される
36. 6. 30	文化財保護委員会修正実施要綱の建設案につき，建築基準法上の特殊処分（建築許可）につき東京都の内諾を得る
37. 4.	建設省に国立劇場設計競技事務局を設ける
37. 7. 7	建設案について大蔵省と折衝，建設規模，実施要綱概要を内定する (1) 劇場（古典中心）1,800人，　(2) 資料・調査・養成（700人程度収容の小ホールを含む）および管理関係 建築延面積約23,500m²，建設工事費約23億円（建築工事費，造園，駐車場，舞台機構，音響，照明設備費）
37. 7. 16	建設省より国立劇場設計競技審査員を次の9氏に委嘱 伊藤熹朔，内田祥三，河竹繁俊，岸田日出刀，高橋誠一郎， 谷口吉郎，細川護立，村野藤吾，吉田五十八

昭和年月日	設立経過および設計・建設経過
37. 7. 19	「国立劇場設計競技審査会」設置・第1回審査会
37. 8. 4	「審査規定」「設計競技募集要項」決定（第3回審査会）
37. 9. 1	「国立劇場設計競技募集要項」配布，登録開始
37. 10. 31	登録締切登録者数2,360名，「第1回質疑応答書」審議・決定質疑594問（第4回審査会）
38. 1. 14	「第2回質疑応答書」審議・決定，質疑124問（第5回審査会）
38. 2. 28	応募作品，受付締切，応募作品，307作品（内10作品外国より出品）
38. 3. 5	応募作品選考開始（第6回審査会）
38. 3. 23	入選作品決定（第11回審査会・第6次選考）
38. 3. 26	設計競技入選作品発表 1等　岩本博行ほか13名　賞金　350万円，　2等　松本陽一郎　賞金　150万円， 3等　山本俊介ほか6名　賞金　80万円，　3等　梅原武美ほか1名　賞金　80万円 佳作5点，吉村順三・佐々木博国ほか4名，宮谷重雄ほか5名，牧野良一・田中俊良　賞金各30万円
38. 4. 24	入選作品展示会・東京国立博物館　4月24～26日
38. 4～8	文化財保護委員会は大蔵省に面積その他改訂要求を行ない追加折衝をし，一部面積増の内諾を得る
38. 10. 28	1等入選者岩本博行ほか13名に設計顧問として設計協力に関する業務を嘱託する
38. 12. 2	日本放送協会技術研究所に国立劇場音響調査および設計に関する技術協力を依頼
38. 12. 18	舞台機構，照明の設計コンサルタントとして設計協力を次の7氏に依頼，第1回打合せ会を行なう 舞台機構，伊藤熹朔，金井俊一郎，菅原卓，竹柴蟹助，長谷川三之助 舞台照明，穴沢喜美男，遠山静雄
39. 1. 24	NHKの音響設計コンサルタントとして俳優，舞踊，音曲等実技者8名，評論・演出家5名，音響学者3名に設計協力方を依頼・打合せ会を行なう
39. 2. 13	音響関係コンサルタント，NHK，設計関係者と共に，歌舞伎座にて演技を見て実施検討会を行ない，音響・視覚等の調査・討議を行なう
39. 4.	実施設計（主体工事関係）完了 大劇場（客席数1,746），小劇場（客席数630），資料・養成関係諸室，管理関係室 地上3階，地下2階，延面積　26,988m²
39. 7. 16	建築主体工事施工者に竹中工務店が決定・着工（工期約14.5カ月）
39. 8. 8	国立劇場建築工事起工式文化財保護委員会主催
40. 4. 1	国立劇場設立準備会および国立劇場設立準備室の設置
40. 8. 4	衛生工事着工（工期約14カ月施工者須賀工業株式会社）
40. 8. 11	空気調整工事着工（工期13.5カ月施工者株式会社竹中工務店）
40. 8. 13	受変電設備工事着工（工期13.5カ月施工者株式会社明電舎）
40. 8. 16	電気工事着工（工期約13.5カ月施工者株式会社竹中工務店）
40. 8. 20	通信工事着工（工期約13.5カ月施工者三和電気興業株式会社）
40. 9. 2	エレベータ工事着工（工期約14カ月施工者日本エレベータ製造株式会社）
40. 9. 16	ガス工事着工（工期約12.5カ月施工者東京瓦斯株式会社）
40. 9. 16	建築仕上工事着工（工期約12.5カ月株式会社竹中工務店）
40. 9. 21	電話交換機設備着工（工期約12カ月施工者沖電気工業株式会社）
40. 11. 4	音響設備工事着工（工期約11カ月施工者株式会社竹中工務店）
40. 11. 6	舞台工事着工（工期約11カ月施工者株式会社竹中工務店）
41. 2. 4	映像中緒その他設備工事着工（工期約8カ月施工者東京芝浦電気株式会社）
41. 7. 1	特殊法人国立劇場発足
41. 7. 20	外構その他工事着工（工期約4カ月施工者株式会社竹中工務店）
41. 7～8	文化財保護委員会より，劇場椅子，じゅうたん，家具，大道具関係調度，幕類等を発注
41. 9. 30	建築，設備，舞台，音響，映像中断その他各工事竣功・引渡
41. 10. 30	外構その他（植樹，舗装，工作物等）工事竣功・引渡
41. 11. 1	開場式（こけら落し）文化財保護委員会主催，内閣総理大臣，文部大臣，建設大臣，衆参両議長等多数参加

日本の国立劇場

小　泉　嘉四郎



1966年の秋，皇居の濠端に国立劇場が竣成された。すなわち，日本の国もはじめて国立劇場を持つことになったわけである。

そもそものこと，この国の国立劇場設立運動は，明治初年の頃から１部の識者の間で提唱されて以来，その運動としての消長が数度繰返されてきたものである。私がいまだ学生の身で劇場通いをしていた頃（昭和10年前後）にも，故中村吉蔵博士を中心とする運動が盛り上ったことがあったが，その当時のわが国内での実感では夢か架空的とでもいったような印象を拭い切れ得なかった。そしてやがてこの盛り上りも暫時の後に勃発した支那事変のためにけし飛ばされてしまった。

このようなものであった舞台芸術愛好者の夢が，たまたま明治百年を迎えようとするときに当って現実のものとしてやっと結実したのである。このたびできあがった国立劇場については，その運営方針設定の問題なり，建築基本設計採用方法の問題，実施設計推進方式の問題などについて，究局的には実際にできあがったものの劇場としての使い具合について種々と検討すべき点もあることだろうが，私は先ず，日本にも国立劇場が生まれたというそのこと自体に大きな意義を見出したいと思っている。

しかしてまた，国立劇場というものは，ただに首都の一地点に一個処だけできあがっただけで，それで能事了れりというものではない。ヨーロッパの諸国に徴してもそれぞれ国内の主要都市に分布して数劇場が維持運営されている実状である。

このたびの第１番目の国立劇場の存在意義が真に発揚されるならば，さらにこの第１の轍（わだち）を改良進歩させて，第２，第３の国立劇場の建設が推進されることを期待したいのである。

私事にわたるが……「建築と社会」からこの原稿執筆の依頼を受けた後になって，思いがけなくも海外旅行の恵機が生起したので，近く渡航してつぶさに世界の国立劇場を実見調査することができることになった。それで日本の国立劇場についての内容の評価は，すべて帰朝以後のことにしたいと思っている。

そこで，原稿締切日の１カ月も以前に，約束枚数の半分にも足りない一文を急遽にまとめて責を塞さがせていただく次第である。

（1966.10.11）

国立劇場外壁コンクリートに用いたケミカルステイニング

（株）竹中工務店技術研究所
主任研究員・技術士　久保田　浩　典

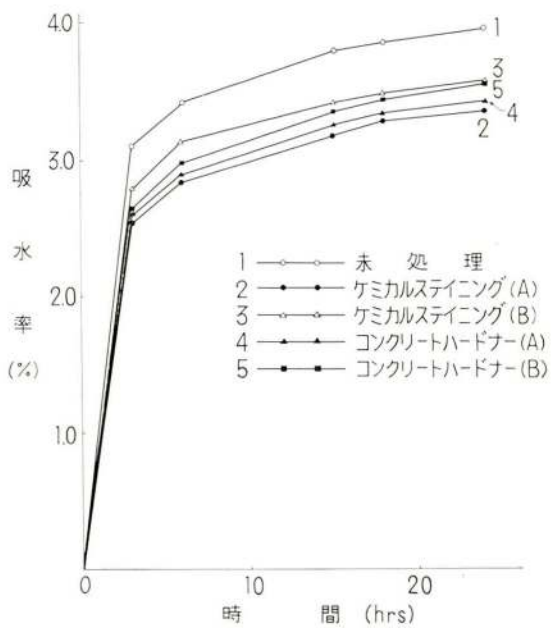
1. はじめに

国立劇場の外壁に用いられた校倉（あぜくら）様式のプレキャストコンクリートブロックは，建物のもつ古風なイメージにマッチした仕上げをどのようにして実現したらよいかが当初の大きな問題の一つであった。この建物のデザイン上のモチーフとなった正倉院の校倉は，千数百年の風雪を経たその古さからくる独特の風合いを持っており，われわれに強く迫ってくるものがあるが，近代的な鉄筋コンクリートに正倉院の校倉のイメージを再現させるには，もはや在来のペイント塗装や顔料混和や骨材露出仕上げなどの手法ではどれ一つ設計者の意を満たすものがなかった。設計において打立てられた思想を如何にして実践するかにはいろいろの考え方があるであろうが，常に技術的な背景がそれを可能にする場合と然らざる場合が生ずる。しかして設計におけるオリジナリティというものは，既存の技術の集積のみに甘んじていたのでは新しい思想も芽生えないであろうし，また技術の進歩も生まれないと思うのは独り筆者の愚見であろうか。ここで述べる国立劇場の校倉に取り上げられたケミカルステイニングの手法は，設計において意図された思想が新しい技術の誕生を促し，その発展が逆に設計者の意図するものにフィードバックして実りを与えた一つの例として，筆者ら関係者一同にいささかの満足をもたらしたものである。

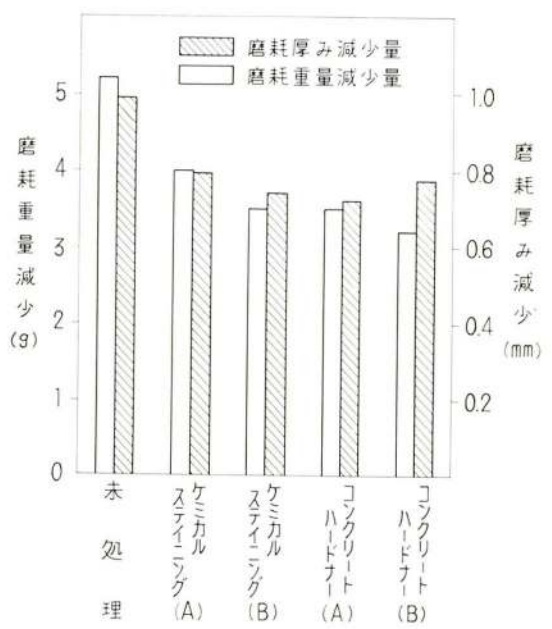
2. ケミカルステイニングというもの

ケミカルステイニング（Chemical Staining）とは，コンクリートの表面に化学反応（Chemical reaction）を利用して色づけ（Staining）することからそのように呼称したのである。筆者らは種々研究の結果この手法を合理的に行なう多くの原理とその方法を開発することができた。国立劇場に取上げられたのはこれらの成果の一部のものである。この方法はここで詳しく説明する余裕を持たないが，原理的にはコンクリートなりモルタルなりのいわゆるセメント硬化物中の水和反応生成物とある種の薬液（複数）とが化学反応を起すことによって色素を作り，きわめて微細な色素粒としてセメント硬化物の表面組織内に沈着させることによって達成される。

一般にセメント硬化物を着色する在来の手法は，ペイント塗装か，顔料を混和するか，有色の骨材による骨材露出仕上げとなす等の手法があるが，ペイント塗装の場合にはまず塗膜の耐久性と，下地からくる水分やアルカリ成分による塗膜障害が問題になる。顔料混和の場合には高価な顔料を内部の不必要な領域まで多量に分散させることになり，無駄である。また多くの顔料はセメント硬化物の強度発生に有害であり，同時にセメントのアルカリに耐えるものがごく少ない。骨材の露出仕上げは所望の骨材の入手の問題がつきまとい，これが経済的な問題にからまってくる。ケミカルステイニングは顔料混和法と異なり，表面だけの着色



図―1　ケミカルステイニングによる吸水性低下の一例



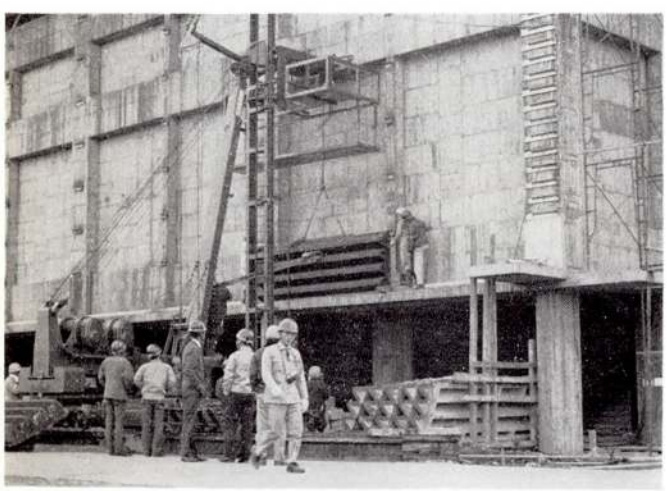
図―2　ケミカルステイニングによる耐摩耗性向上の一例
（Taber摩耗試験機1000サイクルの結果）

表—1　ケミカルステイニングの促進耐候性試験の一例

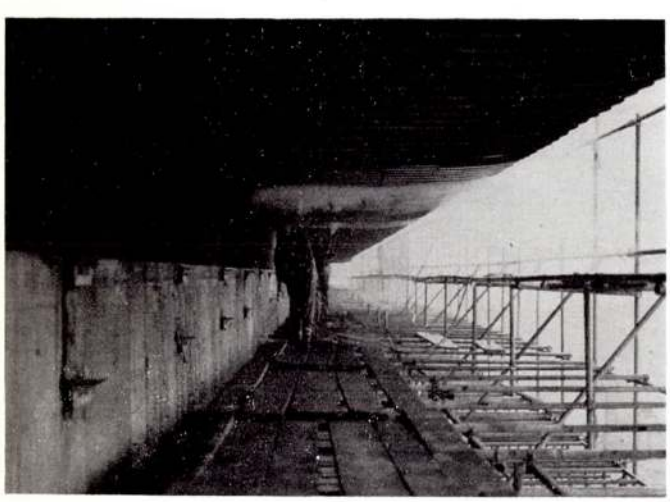
東洋理化㈱製サンシャイン型ウエザーメーターによる wheathering test（国立劇場で用いたもの）。	
平均放電電圧	50V
平均放電電流	60A
降雨	18 min/2Hrs
ドラム回転	1 r.p.m
ブラックパネル温度	63±3°C
供給源水圧	0.9kg/cm² P.H÷7
照射時間	1000 Hrs
結果 光増感作用により，若干顕色化され，表間の劣化は全く認められない。	

表—2　ケミカルステイニングの凍結融解繰返えし試験の一例

ASTM-C291-61Tによる300サイクル後における相対弾性係数	
ケミカルステイニングを行なったもの	97%
無処理のもの	94%
なお，ケミカルステイニングを行なったものの表面組織の劣化は認められない。	



写真—1　ケミカルステイニングを施した校倉ブロックの現場取付作業



写真—2　スチームクリーナーによる現場洗滌作業

で，着色層は薬液の浸透する表面組織内に限られる。またこの処理はセメント硬化物が十分に強度を発現してから施されるので，コンクリートの強度には何らの影響をも与えないばかりか，使用する薬液の種類によってはむしろ表面組織を緻密化し改質するので耐摩耗性や耐吸水性が向上し，凍結融解の繰返えしにも抵抗性を示すようになる。また発色生成物はセメントの水和生成物によって発色するのであるから，当然セメント成分によって褪色なり変色を起すこともない。

3.　国立劇場のケミカルステイニング

国立劇場で行なったケミカルステイニングはその対象物が大部分プレキャストコンクリートブロックで，一部分現場打ちコンクリートに対しても行なった。プレキャストコンクリートブロックは校倉様式に成形した人工軽量骨材（ライオナイト）を用いたブロックで，中の補強鉄筋には防錆処理を施してある。このブロックはケミカルステイニングの仕上げ効果をよくするためのいろいろな配慮がなされているが，これらは総て工場内の比較的管理された条件下で行なわれた。しかし部材の運搬中または軀体への取付中に汚れたり欠損した部分あるいは軀体へ取付後色ムラの目立つもの等には現場で手直しを施した。現場打ちコンクリートに対してはもちろん現場施工で総ての処理を行なった。この場合の色づけは暗褐色で，あたかも桧の校倉が長年の風雪を経て独特の味をかもし出したときに似た感じの色彩と texture を狙いとしたので，生成色素は赤茶色と黒色の補色効果を利用し，素地の texture は特殊な方法でラフに仕上げた。

ケミカルステイニングは最終工程として水洗による不要生成物の除去工程があるので，現場施工の場合に水洗作業の段取りが悪かったり，寒冷期の作業で乾燥に時間がかかるときは能率が低下する。しかし自然の降雨による洗滌効果の期待できるときは無理して洗滌しなくとも済む。この洗い落すべき不要な生成物はエフロレッセンスとなってコンクリートの表面に吹き出すが，これはコンクリートの内部から徐々に出る遊離石灰などの本来のエフロレッセンスと異なり，水で容易に溶ける。したがって洗い落しやすいものであるから必配はない。国立劇場では表面に十分吹き出したときを見計らってホースからの圧力水で洗い落すことができた。寒冷期や多量の洗滌水の使用を望まないときにはスチームクリーナーを使うと一層効果的にエフロレッセンスを除去することができる。

4.　お　わ　り　に

ケミカルステイニングは建築物のコンクリートばかりでなくセメント二次製品や土木方面のコンクリート工事にもその応用面が見出され，筆者らはすでに石綿スレート，テラゾーブロック，万代塀その他のコンクリートブロック，ヒューム管などのセメント二次製品にもその適用を試みている。また土木工事における道路や法面保護コンクリートに適用して風致の維持や，反射光によるドライバーの障害防止に役立てたり，護岸コンクリートに適用して漁業権の紛争問題に寄与せしめることが望まれている。このようにケミカルステイニングが意外な方向にその用途が見出されたことは，新技術開発の余録とでもいうものであろうか，とにかく拡がった風呂敷の破れぬことを念願してこの稿を終ることにする。

終りに，本研究の推進に当り終始貴重なアドバイスを賜った当社岩本設計部長はじめ関係者各位，国立劇場作業所佐藤所長ほか作業所員各位，現場作業に直接協力していただいた中外商工㈱に深い謝意を表し，併せてケミカルステイン開発研究の中心となって努力した阪口，坂根の両研究所員の労苦を称える次第である。

日本建築協会
◆月間の動き◆
■ 昭和41年11月分 ■

定時評議員会

28日　4時～5時　於会館集会室
出席者（評議員）神谷，森川正副議長ほか4名
委任状出席者　62名　計68名
（理事）白井，田中(政)，福中各氏
議事（1）昭和42年度評議員選出数決定に関する件
（2）名誉正会員推挙に関する件

理事会

10日　4時～5時半　於会館集会室
出席者　塚本，鷲尾副会長ほか6理事，井手京都，宮飼兵庫各支部長
議事（1）定時評議員会開催の件
（2）「建築と社会」大型化の件
（3）名誉正会員推挙の件
（4）忘年懇親会開催の件
（5）図書編集助手採用の件
（6）会館掃除夫採用の件
（7）大阪市街地再開発促進協議会調査研究専門委員会委員推せんの件
（8）入退会者承認の件
（9）報告事項

主計理事会

2日　4時～5時　於会館集会室
出席者 田中(良)，梶本，伴，田中(政)各理事
議事「建築と社会」大型化の件

事業委員会

忘年懇親会小委員会

2日　正午～2時　於会館集会室
出席者　尾亀主査ほか6委員
忘年懇親会の企画内容検討

若い会員の集い小委員会

14日　6時～8時　於会館集会室
出席者　窪田副委員長ほか3委員
第6回（42年2月）事業企画について協議

委員会

15日　5時半～8時　於会館集会室
出席者　増井委員長，尾亀，政岡，山本副委員長ほか15委員
議事（1）忘年懇親会企画について
（2）モントリオール万国博視察団の募集について
（3）昭和42年1月～2月の事業について
（4）建設資材データシートの準備委員会について
（5）その他

若い会員の集い

18日　6時～8時半　於会館集会室
出席者　ゲスト森口徹弥氏（大成建設）ほか30名
「モントリオール万国博建設工事の見聞談」16㎜映画，スライドと併用しての建設工事のお話しをきいた。

各種説明会小委員会

28日　5時半～8時　於会館集会室
出席者　岡本副委員長，松村幹事ほか5委員
建設資材データシートに関する4委員長会議の報告を中心に検討した

住宅委員会

委員会

9日　5時半～8時　於会館集会室
出席者 黒谷，野々村両副委員長ほか11委員
議事　今後の事業活動について

住宅小委員会

25日　5時半～8時　於会館展示室
出席者　黒谷副委員長ほか6委員
議事（1）欧米の住宅関係資料蒐集に関する件
（2）住宅委忘年会企画の件

編集委員会

委員会

11日　4時～7時　於会館集会室
出席者　長谷川委員長ほか6名
議事（1）12月号＝公害と都市・建築特集経過報告
（2）正月号＝国立劇場特集経過報告
（3）2月号＝建設機械特集経過報告
（4）3月号＝50周年記念号経過報告
（5）大型化の問題
（6）特集テーマについて

表紙小委員会

12日　12時半～2時　於会館集会室
出席者　深谷委員ほか3名
来年の表紙についての具体案の検討

出版委員会

建物及び設備の保全改訂版打合会

14日　正午～2時半　於会館集会室
出席者　榊，清水ほか4委員
執筆について打合せた

鉄骨のデザイン編集幹事会

28日　2時～5時　於役員室
出席者　鷲尾委員長，木田，宮川幹事
出版工程の調整を中心に検討した

法規委員会

委員会

24日　3時～5時　於会館集会室
出席者　佐野委員長ほか10名
議事　「基準法改正案」（大阪府建築士会案）の検討その他

士法改正打合せ会

30日　3時～6時　於会館集会室
出席者　佐野委員長ほか6名
議事（1）建築行政協会（11月25日）の報告
（2）建設省より提示の「現行建築士法の問題点」について，意見書作成のため協議した

建材委員会

委員会

25日　3時～5時　於会館集会室
出席者　政岡委員長ほか11委員
防露対策について（第2回）協議

会勢委員会

5日　1時～3時　於会館集会室
出席者　鷲尾委員長ほか9委員
議事　会勢の伸展について

50周年記念総務委員会

モントリオール万国博視察小委員会

2日　5時半～7時半　於会館集会室
出席者　矢野委員長ほか4委員，交通公社カナダ航空より2名
議事（1）視察団の企画細部について
（2）団員募集のスケジュールについて
（3）その他

特別見学会小委員会

10日　正午～2時　於会館集会室
出席者　中出委員長ほか3委員
特別見学会について協議

祝賀会小委員会

11日　5時～7時　於会館展示室
出席者　山本委員長ほか4委員
50周年記念祝賀会について協議

展覧会小委員会

14日　5時半～7時半　於会館集会室
出席者　佐野委員長，谷口幹事，上野委員
創立記念展覧会の企画について打合せ

運動会小委員会

21日　6時～8時30分　於会館集会室
出席者　窪田委員長ほか4委員

特別見学会小委員会

24日　5時半～8時　於会館集会室
出席者　中出委員長ほか4委員
議事（1）特別見学会の企画内容について
（2）こんごの小委員会運営について

表彰式小委員会

25日　5時半～7時　於会館集会室
出席者　岡本委員長，中原幹事ほか3委員
議事（1）表彰者の選考基準，範囲について
（2）記念品，表彰状について

50周年記念号座談会

15日　3時～5時半　於会館集会室



出席者　西山卯三氏ほか8名，
司会：滝沢，政岡
「昭和後期(終戦後～今日まで)を語る」のテーマで座談した

日本万国博コンストラクションガイド作成委員会

28日　正午～2時　於レストランパレス
出席者 鷲尾副会長，浦辺委員長ほか17委員
日本万国博覧会協会で印刷した日本文，英文を配布懇談

グループ世話人会

29日　5時半～7時半　於会館集会室
出席者　木村義雄氏ほか14名
議事（1）「建築と社会」持廻り配布方法について
（2）「建築と社会」合本ファイル利用について
（3）その他

見学会

奥能登見学会
奥能登の風光と民家を訪ねて
6日，7日
ゲスト　林野全孝氏
参加者　15名

工高生デザインコンクール表彰式

12日　2時～3時　於会館集会室
出席者　西沢審査委員長，清水「一の会」代表　辛木教育副委員長
入選者18名ほか
入選者に対し賞状，賞牌をまた最優秀作に対して「一の会賞」を授与した後，入選者を中心にした茶話会を開催，続いて大阪ガスビルディング，大阪化学繊維会館を見学した。
入選・最優秀賞
太岐口定男ほか5名共同作　東京工業高校
入選　田中国栄ほか3名共同作　新潟県立高田工業高校
〃　大崎正直ほか2名共同作　同　上
〃　前川　清　名古屋市立工芸高校
〃　加藤　友夫　同　上
〃　北岡　俊夫　大阪市立都島工業高校
〃　高井　実　同　上
〃　市川博章ほか2名共同作　早稲田大学工業高校
〃　宮原　徳文　鹿児島県立鹿児島工業高校
〃　小西　久雄　神奈川県立神奈川工業高校

信用ある技術と伝統の

アスファルト工事 専業大店

株式会社 久保商店

大阪市北区真砂町5番地　電話　大阪364代表 0206～9

室谷

内装資材専門店

室谷商事株式会社

本社　神戸市生田区北長狭通4－1　(英和ビル)
直通電話　神戸 (33) 0881～3
支店　大阪市北区絹笠町50(堂ビル5階 502号室)
直通電話　大阪(364) 2031～4
倉庫　神戸市葺合区八幡通1－5 (電話㉒2923)

ビル設備の補修は補修専門の

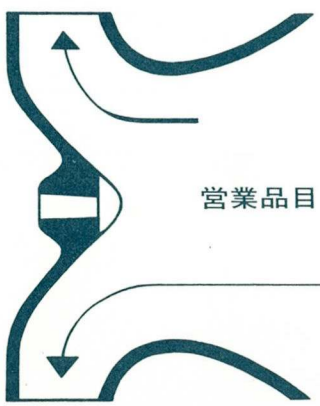
株式会社 岸工作所へ

- ボイラーや冷凍機の故障のとき　シーズンオフの手入れや検査等のとき
- ポンプやファンの故障のとき　シャフトやベヤリングの取替のとき
- エンヂンの故障のとき　ヂーゼルエンヂン・ガソリンエンヂン等の故障のとき
- 給水や排水管の詰ったとき　漏水したとき
- 衛生器具の故障破損のとき　陶器や金具の取替のとき
- 窓枠やシャッター・出入口の故障のとき　サッシュ・ドアーチェック・ブラインドの故障のとき
- タンクやピット・浄化槽の掃除のとき　鉄板タンクの錆落しやペンキ塗りのとき

本社　大阪市旭区今市町1－262
TEL 951－7192・951－0870(仮設中)
出張所　大阪市北区堂島浜通1－25　新大ビルC階
TEL 361-3225・341-5819・(夜間)951-0244

Taniyama

送風機



営業品目
- LAF形　リミットロード送風機
- TAF形　可変式軸流送風機
- SL形　ストリームライン送風機
- CL形　セントリーライン送風機
- プレートフイン・ヒーター・クーラー

株式会社 谷山鐵工所

本社工場/大阪市城東区野江東之町二丁目一番地
電話　大阪 (931) 代7803～9
東京出張所/東京都文京区湯島四丁目六番十七号
電話　東京 (811) 3435・3440

賀正

1967

建設業者有志

株式会社 **淺沼組**

取締役社長 淺沼猪之吉

本　社・大阪市天王寺区東高津町８番地の１　電話 代表 (762) ０２５１
支　店・東京・名古屋・札幌・仙台・福岡
営業所・秋田・水戸・千葉・立川・横浜・新潟・北陸・静岡・岐阜・津・奈良・京都・郡山・和歌山・神戸・高松・広島・新居浜

株式会社 **新工務所**（アタラシ）

取締役社長 新順一

本　店・大阪市北区曽根崎中一丁目四三　電話 代表大阪(341)9151番
支　店・東京都千代田区神田猿楽町二丁目七　電話 代表東京(291)3741番
営業所・神戸市葺合区八幡通五丁目六松井ビル内　電話神戸 (22) 3316番
・名古屋市中区錦三丁目十七番十一号　タイガー計算器ビル内
電話　名古屋 (971) 2253番

安藤建設株式会社大阪支店

取締役大阪支店長 鎌田幸二郎

大阪市西区江戸堀北通一丁目七番地　電話　代表 (441) 3788・9365
本　社・東京都中央区八重州四丁目七番地　電話 大代表 (272) ７４１１
支　店・名古屋・仙台・静岡・九州・広島
営業所・千葉・横浜・水戸・盛岡・新潟・神戸・沼津・札幌・宇都宮・北九州・熊本

株式会社 **大林組**

取締役社長 大林芳郎

本　店・大阪市東区京橋三丁目七五番地　電話　大代表 (941) ８６１番
支　店・東京・札幌・仙台・横浜・名古屋・神戸・岡山・広島・福岡・高松

株式会社 **奥村組**

社長 奥村太四郎

大阪市阿倍野区松崎町１の５１　電話 大阪 (621) １１０１ (大代表)
支　店　東　京・名古屋・広　島・高　松・北九州

鹿島建設株式会社

会長　鹿島守之助

社長　渥美健夫　常務取締役大阪支店長　長井策一郎

本社　東京都中央区八重洲五の三
大阪支店　大阪市東区瓦町五の七一（瓦町ビル）　電話大阪(202)代7461・8166

株式会社 神崎組大阪支店

取締役支店長　佐伯武男

大阪市北区曽根崎新地1丁目21　電話(341)7371～4番
本店・姫路市北条口86－3　電話代表姫路(23)2021－3

株式会社 熊谷組大阪支店

常務取締役支店長　泉治郎一

大阪市西区西道頓堀通二丁目一番地　電話(538)1841番（大代表）
本社　東京都新宿区筑土八幡町二二番地　電話(260)2111番（大代表）
支店　東京建築・東京土木・北関東・名古屋・広島・四国・福岡・札幌・仙台

株式会社 鴻池組

取締役社長　鴻池藤一

本店　大阪市此花区伝法町北3－67　電話代表(462)1631
支店　東京・名古屋・福岡・広島

佐藤工業株式会社

取締役社長　佐藤欣治・大阪支店長　山本良勝

本社・東京都中央区日本橋本町4－8　電話　東京(661)1231(代表)
富山市桜木町1番11号　電話　富山(31)6531(代表)
大阪支店・大阪市東区北浜1－25　電話　大阪(203)7221(代表)
支店・東京・名古屋・富山・札幌・福岡・仙台・広島

清水建設株式会社

会長　清水正雄
社長　吉川清一

本社・東京都中央区宝町二ノ一
常務取締役支店長　白井周二
大阪支店・大阪市西区土佐堀通り二ノ二　電話(443)5431大代表

島藤建設工業株式会社 大阪支店

支店長　月野定吉

本社　東京都渋谷区大和田町77番地　電話東京(462) 2121～8
支店　大阪市北区茶屋町31番地の2　電話大阪(371) 8001・9814・8848
(313) 4853

住友建設株式会社 大阪支店

取締役支店長　宮脇晴美

大阪市東区北浜五丁目二二番地(新住友ビル2号館)　電話(202)代表7421番
本店　東京都新宿区荒木町一三番地　電話(353)代表5111番

株式会社 錢高組

取締役社長　錢高輝之

本店　大阪市西区阿波座上通3丁目2番地　電話 大阪(531) 6431番(大代表)
支店　札幌・仙台・東京・名古屋・福岡
営業所　青森・秋田・盛岡・前橋・新潟・千葉・横浜・静岡・津
京都・神戸・岡山・広島・高松・松山・北九州・熊本・長崎・大分

大成建設株式会社

常務取締役
支店長　稲田芳郎

大阪支店　大阪市東区南本町4丁目20番地　TEL大阪(252) 1131大代表

大鐵工業株式会社

代表取締役社長　伊藤正恵

大阪市北区茶屋町38番地　電話㊸0171～5番
支店　天王寺・津・名古屋・米子・福知山

大日本土木株式会社 大阪支店

取締役支店長　山田豊

大阪市北区堂島北町九番地　電話(341)代表5931
東京本社　東京都千代田区神田松永町19番地
本店　岐阜市長住町二丁目三番地　電話 岐阜(2)代表6141
支店　東京・名古屋
営業所　神戸・京都・奈良・和歌山・岡山・福山

株式会社 竹中工務店

取締役社長　竹中錬一

本店　大阪市東区本町4丁目27　電話 大阪 (252) 1201番(大代表)
営業所　札幌・仙台・東京・横浜・静岡・名古屋・富山
京都・神戸・岡山・広島・高松・北九州・福岡

鐵建建設株式会社大阪支店

常務取締役支店長　勝田頼春

大阪市大淀区天神橋筋六丁目五番地(天六阪急ビル)　電話 (358) 0321(代表)
本社　東京都千代田区神田三崎町二丁目六番地　電話東京 (263) 3411(代表)

戸田建設株式会社大阪支店

取締役支店長　加納秀雄

大阪市北区真砂町三二番地　電話 (364) 1651(代表)
本　社・東京都中央区日本橋本町1丁目16番地の2
大阪支店営業所・京都・神戸・福井・金沢・富山

飛島建設株式会社大阪支店

常務取締役支店長　新島幸雄

大阪市東区島町2丁目28番地　電話 (942) 2481(代表)
本　社　東京都千代田区九段南2－3－28

西松建設株式会社関西支店

取締役支店長　上田明

本　社　東京都港区芝西久保桜川町13番地　電話東京大代表 (502) 0211番
支　店　大阪市東区釣鐘町2丁目41番地　電話大阪大代表 (942) 1131番

株式会社 間組大阪支店

取締役支店長　遠藤巖

大阪市東区横堀町二丁目七〇番地　電話 (203) 代表 2821
本　店・東京都港区赤坂青山南町一丁目一番地　電話 東京 (402) 代表8171
支　店・仙台・名古屋・大阪・福岡

株式会社 藤木工務店

本　店・大阪市東区両替町一丁目一三　電話 大阪 (942) 1461(代)
支　店・東京都新宿区三栄町二三番地　電話 東京 (357) 1611(代)
岡山県倉敷市旭町六六〇　電話 倉敷 (22) 3330(代)
香川県高松市丸ノ内十一番地ノ十二　電話 高松 (51) 7272(代)
出張所・福岡・京都・名古屋・津・岡山・新居浜・徳島

株式会社 藤田組 大阪支店

支店長　古賀文之介

大阪市北区堂島中二丁目三八番地　電話 (362) 代表7671
本　社・東京都渋谷区千駄ヶ谷四ノ六
支　店・横浜・名古屋・大阪・広島・九州・札幌

前田建設工業株式会社大阪支店

常務取締役支店長　島田光富

支店 大阪市東区石町2丁目7番地　電話大阪(942)1301(代表)
本社 東京都千代田区富士見町2丁目10番地の26号　電話東京(265)5551番(代表)

真柄建設株式会社大阪支店

常務取締役
支店長　漆村重一

大阪市天王寺区生玉寺町六番地の七　電話大阪(771)代表1272番
本　社 金沢市彦三町1丁目13番43号　電話 金沢代表 (31) 1266番
支　店 東京・大阪・名古屋
営業所 金沢・富山・福井・大津・京都・岡崎・神戸

株式会社 松村組

取締役社長　松村雄吉

本　社・大阪市北区空心町一丁目七〇番地　電話 代表大阪 (352) 1131
支　店・東京・札幌・名古屋・広島・福岡

三井建設株式会社大阪支店

常務取締役
支店長　竹内慶久

大阪支社 大阪市北区絹笠町一五番地　電話大阪 (361) 代表7651
本　社 東京都中央区日本橋室町二ノ一(三井ビル)　電話東京(270)大代表8651
支店所在地 札幌・横浜・名古屋・広島・福岡・大阪
大阪支店管轄営業所 京都・神戸・和歌山・滋賀・徳島

株式会社 森組

取締役社長 森 幸治

本　社 大阪市東区横堀2丁目14番地 電話 (231) 8283～7番
(支店) 東京・名古屋 (営業所) 奈良・和歌山・尼崎・神戸・岡山

株式会社 森本組

代表取締役社長 森本積善

本　社 大阪市天王寺区夕陽ヶ丘町三番地 電話 大阪 (779) 1451
支　店 東京・名古屋・広島
営業所 松江
出張所 神戸・奈良・紀南・河合・米子・椎田・興津・上松
伊勢・木曽川・安芸・八王子・下北山・和知

株式会社 あめりか屋

取締役社長 前野慶太郎

大阪市北区堂島上二丁目十一番地 電話 (344) 8231～9

株式会社 青山工務店

代表取締役 湯原来

守口市八雲西町2丁目150番地 電話 大阪 (993) 3951～4

株式会社 新井組

本　社 西宮市池田町9番18号 電話 西宮26—3111(大代表)
大阪支店 大阪市北区芝田町72 電話 大阪 341—5109・5891
支店・営業所 東京・名古屋・京都・神戸・岡山・広島・高松

株式会社 近畿建設

代表取締役 川崎敬三

本　社 大阪市西区靱本町4の103 電話大阪(代)(532)0081～5
滋賀支社 滋賀県栗太郡栗東町字上鉤中教田171 電話 近江守山3565

株式会社 井上組

取締役社長　井上福蔵

本社　大阪市都島区東野田町二丁目一五番地　大阪(351)0530　(352)4031～4
出張所　神戸市生田区加納町三丁目二番地　電話　神戸(33)1780

株式会社 今西組

取締役社長　今西壽雄

本社　大阪市天王寺区上本町七丁目二番地ノ一　電話(772)1251
支店　東京都新宿区内藤町一番地　電話(354)0581～5
出張所　神戸市生田区下山手通四丁目四番地ノ一　電話(33)6060
出張所　埼玉県所沢市大字中富字北見元秋津分990番地　電話所沢(22)6263

株式会社 岡組

取締役社長　岡三郎

本社　大阪市北区堂山町8 9　電話(312)0456(代表)0777(代表)
東京支店　東京都港区南青山4丁目21番25号　電話(404)6111(代表)
名古屋支店　名古屋市中区栄3丁目23番14号　電話(251)9705
営業所　神戸・尼崎・福岡・和歌山・北九州

栗本建設工業株式会社

取締役社長　中積治一

本社　大阪市西区北堀江通1の31　電話　大阪(531)5801代表
出張所　東京・神戸・松山・西宮・和歌山

株式会社 小坂井組

代表取締役　小坂井正夫

本店　大阪市北区太融寺町五六番地　電話代表(341)9331
営業所　京都市・西宮市

株式会社 大末組

取締役社長　山本末男

本社　大阪市南区大和町1番地　電話(211)代0555・代6343
松原工場　大阪府松原市丹南町635の1　電話松原(8)4050
東京支店　東京都千代田区神田駿河台2の9　電話(293)代5301
名古屋支店　名古屋市中区錦1丁目2番11号(岩田ビル)　電話(211)代5421
営業所　滋賀・和歌山・岡山・神戸・奈良・堺・横浜・立川・九州

大洋建設工業株式会社

取締役社長　木戸口信義

（本　店）大阪市天王寺区北河堀町五四番地　電話大阪㈹代表2672・3880
（支　店）和歌山　（営業所）東京・京都・堺　（出張所）泉大津・河内長野

株式会社 西田工務店

取締役社長　西田義郎

本　　社　岸和田市加守町６２６　電話岸和田貝塚③2881代表
大阪営業所　大阪市浪速区元町４丁目２２７　電話(632)４００１代表
出張所　和歌山・東京・堺・名古屋・神戸

総合建設　株式会社 長谷川工務店　ビル経営

取締役社長　長谷川武彦

本　　社　大阪市東区平野町５の４０　TEL (203) 5661(代表)
東京支店　東京都渋谷区栄通１の５　TEL (463) 5451(代表)
名古屋出張所　名古屋市中区伊倉町４の１(河越ビル)　TEL (20) 7956～8
神戸出張所　神戸市葺合区坂口通７の１　TEL (23) 7238

不動建設株式会社

取締役社長　庄野勝

本　　社　大阪市南区鰻谷仲之町５７番地　電話　大阪(271)4771
東京支社　東京都中央区銀座西４丁目１番地　電話　東京(567)1751
名古屋支店　名古屋市中区南大津通５丁目１１番地　電話　名古屋(251)7551
北海道支店　札幌市北四条西４丁目１番地　電話　札幌(26)6526
仙台支店　仙台市東一番丁１１番地　電話　仙台(25)4257
九州支店　北九州市八幡区白川町１丁目２番地の１　電話　八幡(68)5867
営業所　千葉・横浜・茨木・神戸・新潟

水野建設株式会社 大阪支店

常務取締役支店長　水野正三

大阪市北区太融寺町１２０　電話大阪(341)(代)3931～3933
工作場　寝屋川市大字高宮　電話　寝屋川(21)０３９５
本　店　京都市下京区西七条市部町77　電話(37)8052・8277・5360・7422・7425
営業所　横浜市・平塚市

望月建設株式会社

取締役社長　望月小太郎

本　社　大阪市北区堂島上一ノ一八　電話(341)614～5・(363)95代表
工作所　豊中市島江一丁目一　電話(392)４８３１～２番

株式会社 金剛組

代表取締役 金剛利隆

大阪市天王寺区椎寺町６６番地 電話 (779) 代表7731～5

東海興業株式會社大阪支店

常務取締役大阪支店長 小松英二

大阪市北区梅田町２７（サンケイビル） TEL (313) 代表0451番
神戸出張所 TEL (23) 5100番 京都出張所 TEL (35) 6747番

日東建設株式会社

社長 長久保俊夫
取締役大阪支店長 榎宝一

本社 東京都千代田区平河町一丁目二ノ十二 電話 大代表 (265) 4281
大阪支店 大阪市北区末広町１２（新末広ビル） 電話 (351) 0623～6

日本建設株式会社

社長 生田重政

本社 大阪市東区安土町４－５ TEL (261) 7591－6
支店 東京・名古屋・福岡・仙台・札幌・四国

長谷川組株式会社

取締役社長 長谷川為一

本社 大阪市天王寺区大道町四丁目一三〇
電話 (771)（代表）4148・4149・4140
工作場 大阪市生野区巽四条町１０３の２
電話 (791) 2744番

阪神土木工業株式会社

取締役会長 泉谷平次郎
取締役社長 藤原正一

本社 大阪市北区梅田町９３番地 電話 (312) 5691～5
西宮営業所 西宮市池田町４の３１ 電話 西宮(22)3433
神戸営業所 神戸市灘区御影町上東８０２ 電話 神戸(85)5362
出張所 芦屋・尼崎・京都・川西・寝屋川

不二建設株式会社

取締役社長　山口吾郎

本社　大阪市西区阿波座上通4－8　電話　大阪(06)541－5534代・9301代
支店　東京都新宿区淀橋4 4 1－4　電話　東京(03)377－5171代
出張所　名古屋・広畑・京都・大垣

矢島建設株式会社

取締役社長　矢島浩三

本社　東京都中央区銀座七丁目五番地　電話東京 (572) 代1436
大阪支店　大阪市南区北炭屋町八番地　電話大阪 (271) 代5837
取締役副社長
支店長　仁平信也
支店・営業所　仙台・名古屋・福岡・浦郡・和歌山

株式会社 米田工務店

取締役会長　米田治郎兵衛
代表取締役　米田良男

本社　大阪市天王寺区逢坂上ノ町7　TEL (771) 代表7771
営業所　神戸・福岡・西宮

賀正 1967

建材・設備業者有志

株式会社 エバレヂン工業所

特許　第421051号
エバレヂン合成樹脂防水剤
製造販売及防水工事施工

本社　大阪市東区北浜2丁目25（武田ビル）
電話 (203) 7071～5
東京営業所　東京都中央区日本橋村松町32田中ビル
電話 (851) 8808　(866) 4889

各種冷暖房用機器専門製作

木村工機株式会社

代表取締役　木村悦造

本社　大阪市東区上本町1丁目13番地　電話 (761) 6921番(代表)
東京営業所　東京都千代田区神田和泉町1番地ノ1(直江ビル)　電話 (862) 0741番(代表)
名古屋出張所　名古屋市中区錦1丁目4番27号(高野ビル)　電話 (211) 5048番(代表)
福岡出張所　福岡市大名1丁目12番52号(内藤ビル)　電話 (77) 0628番(代表)
工場　大阪府八尾市北久宝寺2丁目2番7号　電話 (3) 0621番(代表)

空気調和・衛生各種・流体配管施工

株式会社 **清水工業所**

取締役社長 清水愛明

大阪市 北区堂山町5 8 電話大阪(313)2691～6(代表)
東京出張所 東京都江東区北砂町6丁目1番23号 電話東京(646)6511～4番
群馬出張所 群馬県邑楽郡大泉町大字下小泉2110番地 電話 大泉(6)3394～5番
山陰出張所 島根県出雲市今市本町 電話 出雲1285
鳥取出張所 鳥取市立川町5丁目3の1

タナカ風呂

代表者 田中照雄

大阪市浪速区元町1丁目747 （但し国鉄湊町駅南へ50メーター西側）
電話 (641) 5313・6221・8128

工場 守口市大宮通り四丁目25 電話 (992) 3822

防水には プルーフテックス プルーフコートの併用を

何れも合成ゴム、合成樹脂系のエマルジョンで簡単に施工ができ完全防水の目的が果せます。

耐酸化学工業株式会社

大阪市北区高垣町80 電話 (361) 0178

鉄筋ラス・親子ラス・ダイヤラス

中川ラス製作所

代表者 中川安蔵

大阪市南区鰻谷仲之町31 但し十合百貨店北ノ辻東へ入ル南側
電話 (271) 5228～9・8248

アスファルト防水工事（日本アス協組員）・
ゴムプルーフ（シート）防水工事
N.S塗膜防水工事

日新工材株式会社

代表取締役 井場績

大阪市西区新町北通1－17 電話 (541) 3785～6・2721

エレベータ・コンベヤー
ホイスト・リフト・クレーン・エスカレータ

設計・製作・据付・修理

日本エレベータ工業K.K.

本社 大阪市大淀区天神橋筋六丁目 天六阪急ビル 電話大阪(351) 4927(代)
東京営業所 東京都台東区上野3丁目10番10号 電話東京(832) 5241(株)
工場 大阪市東淀川区小松中通5丁目6番地 電話大阪(328) 0363(代)

空気調和・冷暖房設備
給排水・衛生設備　設計・施工

株式会社 朝日工業社

大阪市東淀川区加島町３５７　電話 (302) 2271～9 (代)
大阪支社　同　上
東京支社　東京都港区芝浜松町２－７　電話 (434) 6171 (大代)
支　店　北海道・仙台・名古屋・広島・福岡
営業所　盛岡・釧路

創　業　暖冷房・換気・空気調和
大正二年　病院諸機械・給排水・衛生

株式会社 斎藤省三商店

東京店　東京駅前丸ビル６階６７６区
電話 東京 (201) ３７６１～４
大阪店　大阪市西区土佐堀通 大同ビル616号
電話 大阪 (443) ３３６１～６
札幌店　札幌市北十条西１８丁目３６番地
電話 札幌 (61) ４３７１～３
名古屋店　名古屋市中区栄３－５－２９ 千代田ビル514号
電話 中局 (261) ０６４１～３

空気調和・衛生設備
設計施工

株式会社 栄興商会

取締役社長　中山敏正

本　社　大阪市福島区上福島北２－１
電話 (451) ３３９１ (代表)
支　店　東京・仙台
出張所　神戸・広島・高知・千葉・八戸

冷暖房　6Sサッシ
給排水、衛生水道　環境衛生施設
電気　荷役運搬機械
厨房　化学鉱山機械

三機工業株式会社 大阪支店

取締役社長　大前玉男
取締役支店長　樋口勝栄

大阪市東区北浜２丁目２２番地　電話 大阪 (202) 代表3071
本店　東京都千代田区有楽町１丁目10番地
支店・出張所　名古屋、福岡、札幌、広島、仙台、富山、金沢、静岡、高松
工場　相模、六郷、高槻、中山、古賀

給排水・衛生
暖冷房・換気　設計施工

株式会社 大阪城口研究所

取締役社長　城口庸平

大阪市北区高垣町一・電話大阪371局7151 (代表)
京都市東山区大和大路正面上ル 電話京都56局4945 (代表)
神戸市生田区下山手通六ノ一・電話神戸34局 ５８９２

空気調和・衛生設備
設計施工

株式会社 三晃商会

本社	大阪市北区富田町１６	電話 (364) 代表7031
支店	東京都千代田区神田小川町2丁目1	電話 (292) 代表7751
	広島市紙屋町１丁目２番２２号	電話 (21) 代表4535
	福岡市大名１丁目８番１２号	電話 (76) 代表3795
出張所	名古屋市中村区広小路西通3丁目9	電話 (561) ２９４８
	富山市堀川小泉町２８６	電話 (31) ２２７４
	金沢市下新町８	電話 (34) ４０８９
	福井市西宝永町２丁目１１３	電話 (22) １５９６
	松江市東本町４丁目１４７	電話 (21) ５０９８

電気・暖冷房・水道・衛生設備
設計施工

大阪電気暖房株式会社

取締役社長　菅谷三郎

本店　大阪市西区江戸堀１－６０　電話 (441) 8231 大代
支店　東京・名古屋・福岡
出張所　京都・神戸・岡山・高松・広島・熊本・横浜
札幌・仙台・新潟・富山・金沢・福井

須賀工業株式会社

空気調和　衛生設備

大阪市西区土佐堀通１丁目１４　電話 441—5171
支店—東京・大阪・名古屋・京都・神戸・福岡
営業所—広島

空気調和装置・塗装設備
設計施工

株式会社 建材社

大阪支店

大阪市北区中ノ島二丁目 (新朝日ビル５階)
電話 大阪 (203) ３７２１ (代)
本社及東京支店　東京都中央区銀座西６丁目３ (朝日ビル８階)
営業所　名古屋市中区錦２丁目２ノ１３
出張所　札幌・広島・北陸・仙台

冷房・暖房・温湿度調整装置
換気・給排水・衛生設備
設計施工

第一企業株式会社大阪支店

大阪市北区北同心町１丁目５７
電話 (351) (代表) ２８０８
本社　東京都文京区本郷１丁目１２－５
電話 (811) (代表) ６２９４
支店出張所　名古屋・福岡・札幌・仙台・高松・広島

水道・衛生・暖冷房・其他管工事
設計並施工
(旧斎藤久孝事務所)

斎久工業株式会社大阪支店

大阪市北区常安町１１番地
電話 大阪 (443) ５０４１～５番

東京本社　東京都千代田区大手町２の８番地 (日本ビル)
電話 東京 (270) ７４１１番 (代表)

札幌営業所	札幌市南大通西4丁目1札幌道銀ビル	電話 札幌㉒5756
金沢営業所	金沢市高岡町２番１６号	電話 金沢㉑2074
福井出張所	福井市御幸２の１	電話 福井㉔2436
高松出張所	高松市２番丁９	電話 高松㉑5195
岡山出張所	岡山市大供３８０の１	電話 岡山㉔5486

温湿度調整装置、暖房
冷房、水道、搬送機設備
設計並ニ施工

第一工業株式会社大阪支店

大阪市北区富田町３０　電話 (361) ５１７７ (代) (364) ０９７７ (代)
本社　東京都千代田区丸ノ内３－２ (新東京ビル)
電話 (211) ８５１１・８５６１ (代)
仙台支店　仙台市新伝馬町６０
電話 (21) ４４９１
名古屋支店　名古屋市東区東門前町３－６
電話 (971) ３６２１

暖・冷房・空気温湿度調整装置
設計施工

高砂熱学

本社　東京都千代田区神田駿河台4丁目2番地
大阪支店　大阪市北区梅田8番地（新阪急ビル8階）
電話　大阪（312）4521（代表）

冷暖房・温湿度調整・水道
衛生・環境衛生施設
設計施工

山田工業株式会社

本社　大阪市西区京町堀1丁目62　電話（443）代表8161～9
出張所　東京都北区上十条1丁目9番22号　電話（911）3941
名古屋市中村区牧野町1の6　電話（541）0966
神戸市生田区北長狭通7丁目1の1　電話（34）1778・4386
広島市袋町6番4号　電話（47）7575・7588

Carrier
空気調和装置、各種冷凍機
設計・製作・施工

東洋キヤリア工業株式会社 大阪支店

大阪市北区堂島浜通1－25（新大ビル）
電話　大阪（344）1512（大代）
本社　東京都中央区日本橋本石町4－2（三井第二別館）
支店東京・名古屋　出張所九州
工場埼玉県北足立郡・東京都足立区

温湿度調整装置・冷暖房・換気装置
ファン・ヒーター・クーラー
スチール・アルミ・サッシ・ドア・シャッター
設計・製作・施工

理研鋼機株式会社

大阪支店　大阪市東区高麗橋5－45（興銀ビル別館）
電　大阪代（202）7745番
本社・工場　東京都北区神谷3の10の3
電　東京代（901）3191番
本社・分室　東京都港区麻布笄町155（第5興和ビル）
電　東京代（409）0151番
支店　名古屋・仙台　連絡所　福岡

温湿度調整・暖冷房・換気給排水・衛生設備
設計並施工

日本管工業株式会社

代表取締役　市川繁雄

本社　京都市南区西九条豊田町20番地の1
電話（68）5101～5・夜間専用（69）1045
大阪営業所　大阪市北区天満橋筋1－37（天満橋北詰）
電話（352）3501～3
四日市営業所　四日市市浜田西末広町　電話53）7431～3
津営業所　津市栄町2－111　電話⑧3610

各種電気工事設計施工

浅海電気株式会社

取締役社長　浅海正雄

本社　大阪市北区老松町ノ丁目22
電話　大阪（362）8701
東京支社　東京都港区赤坂1丁目5番7号
電話（481）8621代表
支店　名古屋・札幌・福岡
営業所　旭川・横浜・浜松・姫路・高松

暖冷房・空気調和・環境衛生工事一切
設計施工

日本熱学工業株式会社

社長　牛田正郎

本社　大阪市北区万才町50
大阪事業本部附　電話　大代表（312）8671
東京事業本部　東京都新宿区三栄町18
電話　大代表（353）9151
名古屋事業本部　名古屋市中村区下広井町3－15（中京電気ビル）
電話（581）9376～8
各事業部　京滋、下関、新潟、金沢

電気工事設計施工

工藤電気株式会社

取締役社長　西村庄市

大阪市北区野崎町六九　電話・大阪（313）代表3456
東京支店　東京都中央区西八丁堀二丁目十二
電話（551）8330・8303
営業所　名古屋・神戸・岡山・広島・北九州

給・排水・衛生・消火・暖冷房設備

株式會社 西原衛生工業所大阪店

大阪市大淀区中津南通4丁目11　電話大阪㊽3531番

電気工事・計装工事
設計施工

栗原工業株式会社

取締役社長　栗原信英

大阪市北区高垣町16番地（東阪急ビル7階）
電話　大阪（313）1101（大代）
支社　東京・名古屋
出張所　舞鶴・広島・八幡・福岡・富山

給水　衛生　空気調和設備
設計施工

平山工業株式会社

取締役社長　平山京平

大阪市西区江戸堀2丁目2番地
電話　大阪（441）代1994　（443）代0331

電気工事設計施工

株式会社 三興社

代表取締役　林　敏夫

本社　大阪市北区絹笠町50（堂ビル7階）
電話　㊿3671（代）
支店　東京都中央区日本橋箱崎町3丁目2番地
電話　㊶1478（代）
出張所　川崎・相模原・堺・福山

電気・暖冷房・空調工事設計施工

三宝電機株式会社

取締役社長 嘉納伝三

本社 大阪市北区絹笠町五〇（堂ビル三階）
電話 (364) 1471 (代)
支店 東京都中央区明石町6－23（辻孝ビル）
電話 (542) 5641
営業所 名古屋市北区城見通二丁目二〇番地
電話 (991) 5131～3
出張所 神戸市・堺市・高槻市・姫路市

選択制御監視装置
MU型動力制御盤
グラフイック盤
高低圧受配電盤

空調衛生設備監視盤
各種動力自動制御盤
分電盤・各種警報盤
設計・製作

森井電業株式会社

取締役社長 森井定勝
専務取締役 佐野春吉

本社 東京都港区芝三田綱町一番地
電話 東京 (451) 代表 9611
東京支店 東京都品川区南品川町4丁目1番3号
電話 東京 (474) 3221 (大代表)
大阪支店 大阪市北区常安町16番地
電話 大阪 (443) 代表8381 夜間(441) 0502
出張所 名古屋・広島・福岡・仙台
工場 東京・大阪・福岡・名古屋

電気工事・計装工事設計施工

中央電気工業株式会社

取締役社長 今村騰

本社 大阪市北区梅ヶ枝町五六番地
電話 大阪代表 (341) 8131～7
支店 東京・名古屋・四日市・神戸・和歌山
営業所 松山・京都・草津

各種電気工事設計施工

株式会社 ヤマト電気商会

取締役社長 山本永造

本社 大阪市北区西堀川町15番地
電話 大阪 (364) 代3056
東京営業所 東京都港区新橋5－34－6 相馬ビル5階
電話 東京 (434) 3848・(431) 8435
出張所 大阪南・北海道・名古屋・四日市・福山・福岡

電気設備 ε 設計施工

朝陽電気株式会社

代表取締役 山本博三

本社 大阪市北区中之島3の3 朝日ビルディング
TEL 代表 (448) 1361
営業所 大阪市西区上佐堀通り4の8
TEL 代表 (448) 1361
営業所 京都市中京区西ノ京中合町20の11
TEL 代表 (81) 9296

電気工事設計施工
並架線金具製作販売
（日本工業規格表示工場）

八千代電設工業株式会社

取締役社長 梶本秀尾

大阪市東区森之宮東之町 電話 大阪 ㊾ 6531 (代)～8
支店 名古屋 営業所 東京 出張所 岡山・北九州

電気設備工事設計施工

東光電気工事株式会社 大阪支社

支社長 姉川正男

大阪市東区高麗橋五丁目二八番地 電話大阪 (202) 0325～9番
本社 東京都千代田区西神田1丁目8番地
支社 札幌・仙台・丸ノ内・名古屋・福岡
出張所 旭川・白河・横浜・静岡・富山

電気工事 中 設計・施工

中本電気株式会社

取締役社長 中本正明

本社 大阪市城東区野江東之町三丁目一五
電話 大阪 (931) 代表7341～5
0388・2193
資材倉庫 大阪市城東区野江東之町三丁目一一 電話大阪(931)7004
奈良営業所 奈良県御所市御国通り360 電話御所 ② 2607・4259

電気工事設計施工

富士電業株式会社

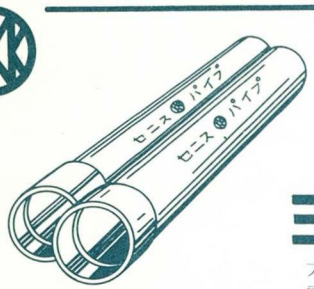
取締役社長 田中実

本社 大阪市西区北堀江上通1丁目65
電話大阪 (541) 0564～7・7148～9
営業所 東京・名古屋・広島・福岡

General Electric（G. E）社製
冷暖房機「ゾンナル」その他各種冷暖房機
温水ボイラー「ハイテンプ」（西独WEBSTO社技術提携）

西日本総販売元
岩佐物産株式会社
本　社　大阪市北区老松町３－56（西天満ビル）　電話（364）2238（代表）
東　京　東京都中央区霊岸島１－１０　電話（551）1079・1617
名古屋　名古屋市南区大磯通２－７　電話（821）３５５８
四　国　八幡浜市大黒町３　電話八幡浜 514・1４

営業品目
●樹脂防水ゴーレヂン
●樹脂防水ゴーレックス
●化粧壁材ソリジットスタイン吹付
●樹脂砂壁エバーサンド吹付
合同特許建材工業株式会社
本社営業所・大阪市東住吉区駒川町３－５４　電（791）代7814～6
代理店・東京都品川区東大崎３の２３９　電東京（491）9698



陶管・練瓦・ヒューム管
ベンチレーター・マンホール
株式会社
三幸商會
大阪市北区与力町一ノ一〇
電話　大阪（358）４０３１

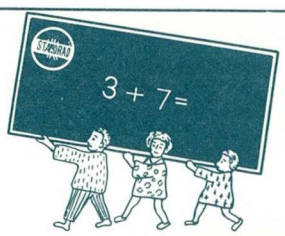
耐酸ツボ各種
天窓瓦福林産地直売
建築陶器の百貨店

株式会社
吉田芳雄商店
大阪市北区旅篭町１８
電話（361）3450・（364）２３４５

奉仕感謝の店
タイル・衛生陶器
株式会社
川岸窯業商店
大阪市西区靱本町２丁目９８　靱本町電停前
電話　大阪（532）０４６１～４番

FUTABAYA DECORATORS, LTD.
建築物・船舶等造作工事
家具建具・室内装飾工事　設計施工　（創業大正７年）
内外装飾織物・窓掛・敷物・壁紙類一式
二葉屋装備工業株式会社
取締役社長　若林繁吉
大阪市大淀区本庄川崎町２の６
電話・大阪（371）3321～3・3630

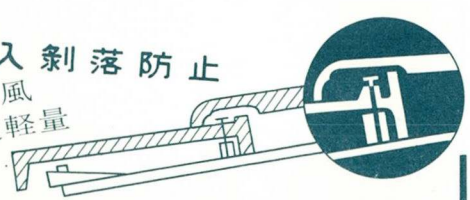
株式会社
矢橋大理石商店
大阪出張所
大阪市東区高麗橋二丁目九　野村ビル五階
電話　大阪（231）４２５７－８番



Standard Board&Slate
フタバ黒板
大阪市東住吉区桑津町三丁目１０１番地　電話大阪（717）4561～２

社寺数奇屋用瓦……大仏瓦
内外装用窯変美術タイル……大仏タイル
（株）大仏
本　社　京都市東山区今熊野大仏池田町９の９　（56）3555 3725
大阪営業所　大阪市北区空心町１丁目２８　（351）0703
名古屋営業所　名古屋市瑞穂区堀田通１丁目30　（881）2703
東京営業所　東京都渋谷区上原１丁目29の４　（467）1641
工　場　京都清水・山城・瀬戸

特許　白蟻
松平式白蟻殺滅予防所
所長　防除士　松平藤佐根
奈良市南城戸南方町２８　電話（22）4098
奈良市登大路二番町（博物館前）　電話（22）4098
出張所　奈良市春日町尾田組内　電話6011・6012
本部　高知県宿毛市宿毛町２６３９

雨水浸入剝落防止
耐震耐風
安定軽量

ナニワ緩勾配瓦
３寸緩勾最適軽量水止付（空葺）瓦
ナニワ瓦株式会社
大阪市浪速区元町二丁目四番電話(641)2525

カーテンウォール
サッシ・ドア
アッセンブルフロアー
グリルウォール
ワイヤーモール
天井パネル
軽量間仕切
防潮扉
エヤームーバー
その他

●超高層時代をになって、カーテンウォールの果す役割はますます大きくなりました。　東京カーテンオール工業の、この分野における特異な技術は広く業界に認められていますが、アルミ、ステンレス、ブロンズ等を使用した美しい金属外装で都市に一層の美観をそえることも、またビルディングドレスメーカーとしての東カテの使命です。

TKK 東京カーテンオール工業
本社及工場　東京都荒川区西尾久4丁目12－12　電話（893）0111大代
大阪支店　大阪市北区富田町18番地（島根ビル）　電話（364）9154代
名古屋支店　名古屋市東区武平町4～16～5（住商ビル）　電話（941）2577代
営業所　東京都中央区八重洲5－7（八重洲三井ビル）　電話（272）0401代
出張所　福岡・札幌・新潟・仙台

近代建築の要求する

＊特許 小俣式 ステンレス・アルミニウム 防火シャッター

設計
製作
施工

小俣シャッター工業株式会社大阪支店
大阪支店　大阪市北区若松町30　電話大阪(364)9004・9016・4825
本社工場　東京都北区田端町1138　電話東京(893)5211～5

シヤッターの総合メーカー

豊かな経験と
最新の技術…

東洋シヤッター

東洋シヤッター株式会社
本社工場　大阪市西淀川区佃町4－33　TEL（471）8331代表
支店　東京（771）1171・名古屋（331）6171・大阪（352）4571
営業所　横浜・滋賀・京都・神戸・福岡・他全国主要都市

網入光り波型ガラス（スレート小波／スレート大波）　長サ965m/m　1,818m/m

ダイニチ・アーモライト 波板・平板

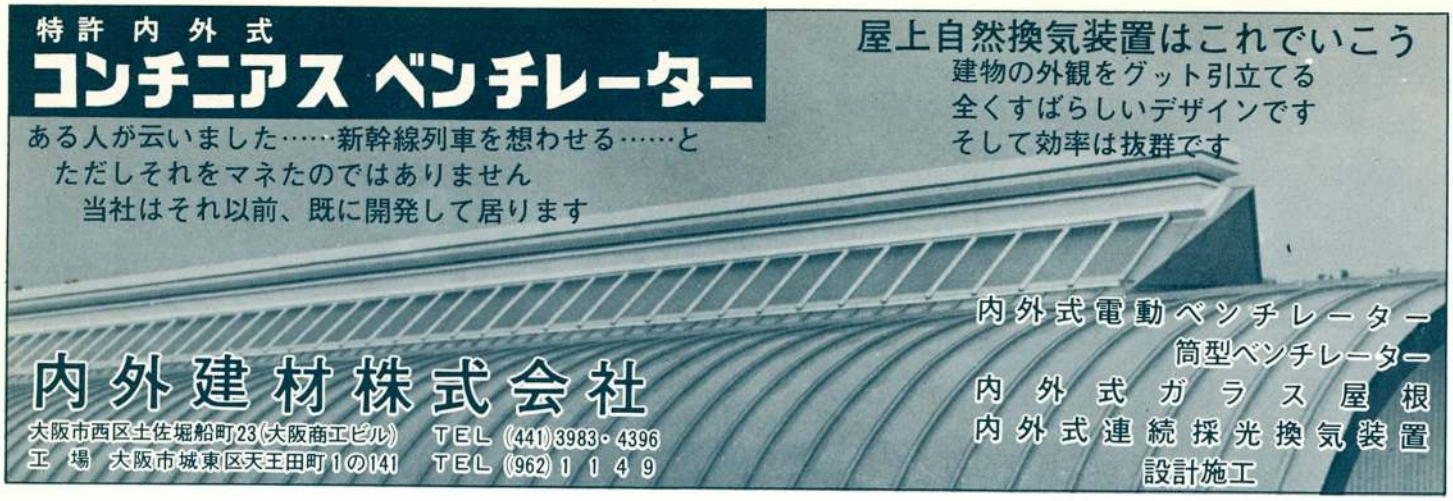
（硝子繊維強化ポリエステル板）各種波、寸法（長尺物有）

製造販売　大日本硝子工業株式会社
大阪支店　大阪市北区玉江町2ノ4（三菱倉庫ビル）　電話（441）1389・3389・3281
本社　神奈川県相模原市小山字久保224　電話（72）3101～4

特許内外式
コンチニアス ベンチレーター

ある人が云いました……新幹線列車を想わせる……と
ただしそれをマネたのではありません
当社はそれ以前、既に開発して居ります

屋上自然換気装置はこれでいこう
建物の外観をグット引立てる
全くすばらしいデザインです
そして効率は抜群です



内外式電動ベンチレーター
筒型ベンチレーター
内外式ガラス屋根
内外式連続採光換気装置
設計施工

内外建材株式会社
大阪市西区土佐堀船町23(大阪商工ビル) TEL (441)3983・4396
工場 大阪市城東区天王田町1の141 TEL (962)1149

カーテン
ブラインド
アコーディォンドア
クロス
ジュウタン
木工練付
内装



床貼
Pタイル
カラローン
リグノイド
ロンリューム
ビノリューム
リノリューム

特許 気光式通風器 製造

田辺工業株式会社
大阪市西区江戸堀2－79 TEL〈441〉7437～9

OKUYAMA KAKOGYO
OAM
WATER PROOF

陸屋根防水には
奥山式特許絶縁工法を

カッパー防水帯
コーパータイト

パーフェクトな 冷工法

デラタイト

奥山化工業株式會社
東京都中央区銀座西8の3 電話 (571) 2703～4・2370・4064・0264
大阪出張所 大阪市都島区都島中通り5－4 電話 (921) 2497
名古屋出張所 名古屋市南区若草町33 電話 (811) 3660

●お申越次第カタログ進呈

簡易で生均質なコンクリート

関西生コンクリート協会

大阪市北区兎我野町67番地の1(梅田グリーンビル6階)
電　話（312）３２６７(直)　（312）８８３１(交)

麻生コンクリート工業株式会社	営業所 工　場	電話(441) ０２３４～７番 堺(泉北一区)	堺小野田レミコン株式会社	営業所 工　場	電話　堺（38）5405～６番 堺
大阪アサノコンクリート株式会社	営業所 工　場	電話　（361）３３５１(代) 津守・淀川・魚崎・城東(河内)	西脇生コン株式会社	営業所 工　場	電話(203) ２３２１番(代) 堺・西宮・大東・茨木・京都・春日出
大阪宇部コンクリート工業株式会社	営業所 工　場	電話　（361）１３６１(代) 大阪(新福崎町)・吹田・桜島	ツルガ生コンクリート工業株式会社	営業所 工　場	電話(361) ６２３５～７番 大阪(春日出)
大阪徳山生コンクリート株式会社	営業所 工　場	電話(202) ０５３１番(代) 大阪(南海岸通)・大東	豊国生コンクリート株式会社	営業所 工　場	電話（312）３６３７～９番 尼崎・大阪(守口)
大阪生コンクリート株式会社	営業所 工　場	電話(361) １２３１番(代) 佃・千島・向日町・神戸和歌山・大東・姫路・堺	枚方生コンクリート株式会社	営業所 工　場	寝屋川　（31）　４４２１ 枚方
関西小野田レミコン株式会社	営業所 工　場	電話　（341）８３３１(代) 尻無川・京都・神戸・塩山茨木	藤井コンクリート工業株式会社	営業所 工　場	八尾　（２）３３８５～７ 八尾
近畿生コン株式会社	営業所 工　場	電話　京都（58）5111～２ 京都(山科)	三菱セメント株式会社大阪支店	営業所 工　場	電話　（313）０４３１(代) 尼崎・大阪(北福崎東)城東(門真)阪南(松原)
堺宇部コンクリート工業株式会社	営業所 工　場	電　話　堺（41）0461～３ 堺	八幡高炉コンクリート株式会社	営業所 工　場	電話 堺（3）２３２３～５ 第一・第二(堺)・千里

全国的に大好評の…新興の繊維壁材！

◉お部屋のムードは壁材の美しい調和で……

建設省建築研究所試験合格品

（一種繊維壁材）	・チェリーコート	・ママウオール	・ほたるかべ	・麝香
・いすゞかべ	・パビロン	・ふくよかべ	・清流	・金蘭
・カセロンウオール	・パーマエース	・ありあけ	・錦上壁K	（三種繊維壁材）
・スーパーウォール	・瑞雲	・ニコニコ	・蛍光壁	・龍鳳
・センカウオール	（二種繊維壁材）	・明光壁	・日本壁	・金龍
・あけぼの	・錦上壁	・昭和壁	・すずらん	（特殊壁）
・新興壁	・大阪壁	・新日本壁	・桃山	・大和壁

（防火繊維壁材としてご使用の節は上記商品にシンケン防火剤を混入のこと）

●シンケン防火剤　●防錆剤エバコン　●耐湿剤オートン　●化学糊スーパーシンケン糊　（全国有名建材店に有）

株式会社　新興建材工業所

大阪市西区四ツ橋　ＴＥＬ(538)2951代(541)5757代
営業所　東　京・大　阪・明　石・広　島・福　岡

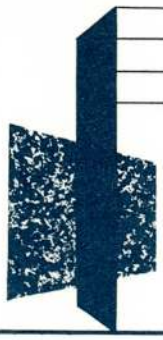
建築と社会
第48集
業種別
広告目次

昭和42年1月号

基礎 kk武智工務所 ……表3
鉄骨筋 住友金属工業kk ……表2
関西生コンクリート協会 ……109
コンクリートブロック シポレックス販売kk ……48
防水 奥山化工業kk ……108
kk久保商店 ……91
合同特許建材工業kk ……106
日新工業kk ……24
日本アスファルト防水工業協同組合……25
kk日本セメント防水剤製造所 ……表3
三星産業kk ……21
kk油脂化工社 ……表3
石 kk矢橋大理石商店 ……106
タイル衛陶 kk川岸窯業商店 ……106
kk吉田芳雄商店 ……106
屋根葺張壁 朝日石綿工業kk ……表4
kk大仏 ……106
ナニワ瓦kk ……106
金属 kk三幸商会 ……106
内外建材kk ……108
左官 kk新興建材工業所 ……109
山本窯業化工kk ……23
建具 岩住サッシkk ……表4
小俣シャッター工業kk ……107
ダイケンサッシkk ……17
東京カーテンウォール工業kk ……107
東洋シャッターkk ……107
日本建鉄kk ……表3
日本エルミンサッシkk ……43
kk日本シャッター製作所 ……26
建具金物 永和工業kk ……46
kkゴール ……52
日本ドアーチェック製造kk …22
硝子 旭硝子kk ……18
大日本硝子工業kk ……107
塗装 関西ペイントkk ……54
内装壁・天井 kk奥村重兵衛商店 ……44
田辺工業kk ……108
室谷商事kk ……91
内床装 東洋リノリュームkk ……16
家具装飾 二葉屋装備工業kk ……106
保全 kk岸工作所 ……91
設備機器 岩佐物産kk ……106
ダイキン工業kk ……19
kk谷山鉄工所 ……91
松下電器産業kk ……50
空調・衛生設備 kk朝日工業社 ……103
kk栄興商会 ……103
kk大阪城口研究所 ……103
大阪電気暖房kk ……103
kk建材社 ……103
斎久工業kk ……103
kk斎藤省三商店 ……103
三機工業kk ……103
kk三晃商会 ……103
須賀工業kk ……103
第一企業kk ……103
第一工業kk ……103
高砂熱学工業kk ……104
東洋キャリア工業kk ……104
日本管工業kk ……104
日本熱学工業kk ……104
kk西原衛生工業所 ……104
平山工業kk ……104
山田工業kk ……104
理研鋼機kk ……104
電気設備 浅海電気kk ……104
近畿電気工事kk ……20
工藤電気kk ……104
栗原工業kk ……104
kk三興社 ……104
三宝電機kk ……105
中央電気工業kk ……105
朝陽電気kk ……105
東光電気工事kk ……105
中本電気kk ……105
富士電業kk ……105
森井電業kk ……105
kkヤマト電気商会 ……105
八千代電設工業kk ……105
雑 フタバ黒板 ……106
松平式白蟻殺滅予防所 ……106

恒例の年賀広告（建設・建材・設備業者）の目次は省略させていただきます。ただし92頁から102頁まで記載してあります。

日本建鉄の PS型レデイメードサッシ



アルミサッシドア

日本建鉄株式会社

本　社　東京都千代田区大手町２～８　TEL東京(270)6511(大代)
大阪支店　大阪市北区梅田町４７(新阪神ビル)　TEL大阪(361)6758(代)

日本建築協会優良證明

セメント増強防水剤

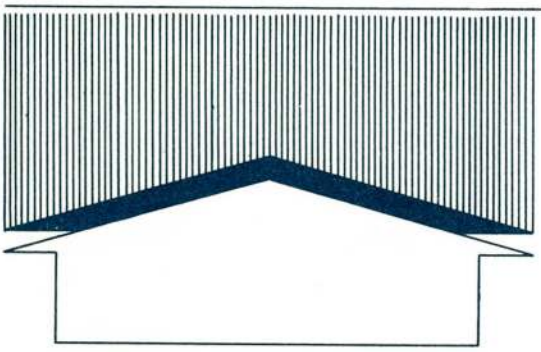


ウォータイトB号

株式会社 日本セメント防水剤製造所

仕様書型録贈呈

本　社　大阪市東区船越町２－３１(船越ビル)　電話(941)2626・2628
連絡所　宝塚市高台上の池　電話　宝塚(36)2153
出張所　電話　東京(431)8648・名古屋(321)1331・仙台(23)0721・札幌(87)1111
ウォータイト式防水工事代行店　電話　大三工業 高松(2)0016　安藤工事 福岡(28)5207　豊永建材 広島(61)6371



●モルタル・コンクリート用

マノール

●防水工事責任施工

製品

●セメント混和剤のトップ……

(エスコート)

- ●防水剤
- ●急結剤
- ●A号
- ●接着剤
- ●剥離剤
- ●気泡剤

株式会社 油脂化工社

本　社　東京都品川区大井１－１５　電話(774)4111(代表)
大阪営業所　大阪市東成区西今里町2－48　電話(971)0063.4765～6



●基礎施工の悪條件を克服する

武智式 日信三角杭

特　許●第２３３７４４号
特　許●第２５０１０８号
実用新案●第２５－１０９４２号
実用新案●第３７－３６１０６号

株式会社 武智工務所

本　社　大阪市東区高麗橋２－２０(高麗新ビル)
TEL 大阪(202)3233(代)・7501(代)
名古屋営業所　名古屋市中村区船入町１－12(服部ビル)
TEL 名古屋(582)３０３６(代)
大阪工場　大阪市住吉区北加賀屋町５－２７
TEL 大阪(672)３２２３・３２２４
名古屋工場　愛知県海部郡弥富町佐古木
TEL 弥富(７)１１９１・１１９２

建築と社会

Vol.48
第1号

昭和二十四年三月十九日　昭和四十二年一月二十日印刷
第三種郵便物認可　昭和四十二年一月廿五日発行
（毎月廿五日発行）

屋根●外壁●内壁●天井に

不燃 建設省認定 No.3008

朝日の不燃建材を



工場・倉庫・住宅に

法定不燃材
朝日波形スレート
朝日フレキシブルボード
朝日大平板
朝日ステンドスレート
朝日ネットインスレート

ビル・工場に

朝日耐火パネル
朝日防火パネル
朝日グラスインパネル
朝日フェザーパネル
朝日コルゲートインパネル

吹付石綿
朝日プロベスト

ASK
朝日石綿工業株式会社

大阪支店／大阪市北区神山町43　電話(312)8521(代表)
本　社／東京都中央区銀座7—3　電話(571)9361(代表)
営業所／東京・横浜・静岡・名古屋・富山・大津・姫路
岡山・広島・門司・福岡・長崎・延岡・高松
新居浜・札幌
工　場／東京・横浜・山梨・大阪・水島・玉島・門司
宮城



岩住の
アルミ
ステンレス
スチール

サッシ・ドア
カーテンウォール
スパンドレル

岩住サッシ株式会社　スチール工場●尼崎市守部字下河原15
電話代表（401）6751

岩住アルミサッシ株式会社　アルミ工場●大阪市西淀川区千舟東2丁目31
電話代表（471）5123

ご入会のお申込みは……「建築と社会」発行所
社団法人　日本建築協会　大阪市東区北浜三ノ壱
電話大阪（三三）九六四八・九六四九・九六四〇　振替口座大阪三九七五番

定価　一部　三〇〇円
（送料共）